

平成25年 (2013年)

久米島町議会会議録

第7回臨時会 (10月21日)	1日間
第8回定例会 (12月17日～18日)	2日間

久米島町議会

目 次

目 次	I
平成25年第7回久米島町議会臨時会会期日程	III
平成25年第8回久米島町議会定例会会期日程	IV
平成25年第8回定例会一般質問通告一覧表	V

〈平成25年第7回久米島町議会臨時会（10月21日）〉

第1号（10月21日）

出席議員	1
議事日程第1号	2
開会	3
日程第1 会議録署名議員の指名	3
日程第2 会期の決定	3
日程第3 議案第57号 平成24年度久米島町一般会計補正予算(第5号)について	3
日程第4 議案第58号 鳥島漁港波除堤整備工事請負契約について	6
日程第5 議案第59号 銭田橋改修工事(H25-1)請負契約について	8
閉会	10

〈平成25年第8回久米島町議会定例会（12月17日）〉

第1号（12月17日）

出席議員	13
議事日程第1号	14
開会	15
日程第1 会議録署名議員の指名	15
日程第2 会期の決定	15
日程第3 議長諸般の報告	15
日程第4 一般質問	15
散会	85

〈平成25年第8回久米島町議会定例会（12月18日）〉

第2号（12月18日）

出席議員	87
議事日程第2号	88
開会	89
日程第1 会議録署名議員の指名	89

日程第2	議案第60号	平成25年度久米島町一般会計補正予算（第5号）について ..	89
日程第3	議案第61号	平成25年度久米島町下水道事業特別会計補正予算（第3号） について	109
日程第4	議案第62号	平成25年度久米島町水道事業会計補正予算（第2号）に ついて	110
日程第5	議案第63号	久米島町火災予防条例の一部を改正する条例について	111
日程第6	議案第65号	久米島町税条例の一部を改正する条例について	113
日程第7	議案第64号	久米島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	114
日程第8	議案第66号	マンホール形式ポンプ自家発電設備工事請負契約について ..	114
日程第9	議案第67号	あらたに生じた土地の確認及び字の区域の変更（編入）に ついて	116
日程第10	議案第68号	仲里中学校12号棟改修建築工事請負契約について	117
日程第11	発議第11号	道州制導入に断固反対する意見書について	118
日程第12	決議第2号	「しまくとうば」の普及促進に関する宣言決議について ...	119
日程第13		閉会中の議員派遣について	121
閉会		121

平成25年 第7回久米島町議会臨時会 会期日程

開 会 平成25年10月21日（月）
 閉 会 平成25年10月21日（月） 会期 1 日間

月 日	曜日	会議区分	開 議 時 刻	摘 要
10月21日	月	本 会 議	午前10時00分	<ul style="list-style-type: none"> ○開会 ○会議録署名議員の指名 ○会期の決定 ○議案審議 <li style="padding-left: 20px;">議案第57号 議案第58号 議案第59号 ○閉会

平成25年 第8回久米島町議会定例会 会期日程

開 会 平成25年12月17日（火）
 閉 会 平成25年12月18日（水） 会期 2日間

月 日	曜日	会議区分	開 議 時 刻	摘 要
12月17日	火	本 会 議	午前10時00分	<ul style="list-style-type: none"> ○開会 ○会議録署名議員の指名 ○会期の決定 ○議長諸般の報告 ○一般質問 ○散会
12月18日	水	本 会 議	午前10時00分	<ul style="list-style-type: none"> ○開会 ○会議録署名議員の指名 ○会期の決定 ○議案審議 <ul style="list-style-type: none"> 議案第60号 議案第61号 議案第62号 議案第63号 議案第64号 議案第65号 議案第66号 議案第67号 議案第68号 ○発議第11号 ○決議第2号 ○閉会

平成25年第8回定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	頁
1	玉城安雄議員	1. 公立図書館の建設について	15p～22p
		2. 窓口サービスの向上について	
2	翁長学議員	1. 畜産産業に対しての町の協力を	22p～28p
		2. 農業用ダムの計画を	
3	仲村昌慧議員	1. 仲村 昌慧 離島の石油製品価格について	28p～32p
		2. 県道の安全管理について	
4	饒平名智弘議員	1. 離島甲子園の参加継続について	32p～38p
		2. 儀間、久米島保育園について	
5	山里昌輝議員	1. 福祉行政について	38p～43p
6	棚原哲也議員	1. 農業の生産拡大及び流通課題の支援要請に対しての進行状況を伺いたい	43p～52p
		2. 島内の公園等の整備及び遊具等の安全点検について	
		3. 産業振興課は農林水産課、商工観光課に再分課したほうがいいのではないかと	
		4. 奥武島西海岸の砂洲の移動及びイーフビーチの砂の移動について県と連携して潮流の調査費の早期確保を	
		5. 高速船の導入について	
7	島袋完英議員	1. 文化協会・民俗芸能保存会への事務局職員の配置を	52p～59p
		2. 具志川村当時の下水道工事について	
		3. 久米島版お見合い大作戦の設定について	
		4. 具志川改善センターの改修後の運営実績は	
8	平良義徳議員	1. 観光産業について	59p～66p
		2. 「あじま一館」の運営について	
9	崎村正明議員	1. 学力向上に向けて今後の取り組みは	67p～74p
		2. 久米島高校へ進学させる取り組みは	
10	喜久村等議員	1. 久米島空港内に自動現金支払機の設置について	74p～77p
		2. 那覇発の航空便の変更が多い	
		3. 防風林の植林と管理について	
11	宇江原総清議員	1. 鳥島射爆撃場の早期返還について	77p～85p
		2. コンクリート護岸の撤去と潮害防備保安林等の植栽について（河川等も含む）	
		3. 仲里漁港の一文字の撤去、シールガチの改修について	

平成25年（2013年）

第7回久米島町議会臨時会

1日目

10月21日

平成25年第7回久米島町議会臨時会

会議録 第1号

招集年月日	平成25年10月21日 (月曜日)			
招集の場所	久米島町議会議事堂			
開散会日時 及び宣言	開会	10月21日 午後3時00分	議長	喜久里 猛
	散会	10月21日 午後3時31分	議長	喜久里 猛
応招議員 出席議員 出席13名 欠席1名	議席番号	氏名	議席番号	氏名
	1番		8番	島袋 完英
	2番	幸地 猛	9番	崎村 正明
	3番	平良 義徳	10番	饒平名 智弘
	4番	翁長 学	11番	山里 昌輝
	5番	宇江原 総清	12番	仲村 昌慧
	6番	安村 達明	13番	玉城 安雄
	7番	喜久村 等	14番	喜久里 猛
(不応招) 欠席議員	1番	棚原 哲也		
会議途中退席議員	番		番	
開議後出席議員	番		番	
公務欠席議員	番		番	
	番			
会議録署名議員	4番	翁長 学	5番	宇江原 総清
職務のため会議に 出席した者	職名	氏名	職名	氏名
	事務局長	仲地 泰	書記	
	係長	吉永 千枝美		
地方自治法第121条により説明のため議場に出席した者の職氏名				
職名	氏名	職名	氏名	
町長		教育課長	保久村 学	
副町長	大田 治雄	環境保全課長	佐久田 等	
教育長	比嘉 隆	建設課長	真栄平 建正	
総務課長	桃原 秀雄	産業振興課長	仲村渠 一男	
町民課長		農業委員会事務局長		
プロジェクト推進室長	中村 幸雄	上下水道課長		
税務課長		消防長	上里 浩	
福祉課長	仲地 紀男			
会計管理者				
行政改革推進室長	平田 明			

平成25年 第7回久米島町議会臨時会

議事日程 〔第1号〕

平成25年10月21日（月）

午後3時00分 開 会

日程	議案番号	件 名	頁
第1		会議録署名議員の指名（久米島町議会会議規則第120条）	3 p
第2		会期の決定	3 p
第3	議案第57号	平成24年度久米島町一般会計補正予算（第5号）について	3 p
第4	議案第58号	鳥島漁港波除堤整備工事請負契約について	6 p
第5	議案第59号	銭田橋改修工事（H25-1）請負契約について	8 p
		閉会	10p

(午後 3時00分 開議)

○ 議長 喜久里猛

こんにちは。これより本日の会議を開きます。

日程に入る前に報告します。棚原議員から欠席の届けがありました。

本日の議事日程は予めお手元に配布したとおりであります。

日程第1 会議録署名議員の指名

○ 議長 喜久里猛

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第120条の規定によって、4番翁長学議員、5番宇江原総清議員を指名します。

日程第2 会期の決定

○ 議長 喜久里猛

日程第2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。

本臨時会の会期は、本日10月21日の1日間としたいと思います。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○ 議長 喜久里猛

異議なしと認めます。従って、会期は本日1日間に決定しました。

日程第3 平成25年度久米島町一般会計補正予算(第4号)について

○ 議長 喜久里猛

日程第3、議案第57号、平成25年度久米島町一般会計補正予算について議題とします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

始まる前にお詫び申し上げたいと思います。今補正予算の資料配付ですが、前回の議会でもご指摘がありましたが、配布のタイミングが遅れたことに対して深くお詫び申し上げます。

なお、先週においては諸行事、また教育費予算において学校の工事が早期に発注しなければいけないという問題等もありまして、急ぎでの補正予算の資料づくりになりました。その調整等において我々の日程も含めて調整が遅れたことに対して誠に申し訳なく思っております。

それでは、議案第57号、平成25年度久米島町一般会計補正予算(第4号)についてご説明申し上げます。

予算書の1ページをお開き下さい。平成25年度久米島町一般会計補正予算(第4号)概要につきまして、歳入歳出をそれぞれ3千242万4千円を増額し、総額79億7千409万円いたします。

予算書の3ページをお開き下さい。歳入歳出の主な内容についてご説明いたします。歳入につきましては、県支出金が954万1千円を増額となっております。増額の主な要因は、沖縄振興特別調整交付金の県支援分として694万6千円、県委託事業の離島空港チュラゲートウェイ事業に充当する県委託金257万円の増額によるものであります。

次に、繰入金として13万2千円をふるさと納税基金により繰り入れます。

続いて、諸収入として、1千795万1千円の増となっております。これは平成24年度の沖

縄県介護保険広域連合へ支払った負担金の精算償還金となっております。

最後に、町債については、480万円の増額となっております。主な内容としましては、過疎ソフト事業として実施する優良雌牛時価保留支援事業への充当分450万円、仲里中学校12号棟、15号棟の改修事業へ充当する合併特例債が1千20万円、その他、沖縄振興特別交付金事業の適債事業のうち、事業見直しによりマイナス990万円の減額となっております。

続きまして、4ページをお開きください。歳出入ります。歳出では総務費がマイナス875万円の減額となっております。主な内容は財産管理費として、仲里庁舎の揚水ポンプ修繕や真泊ターミナルのトイレ、天井の修繕にかかる経費として82万4千円の増額、電算管理費では財務会計システムの改修にかかる費用として63万円の増額、また、防災対策事業費では銭田北防災行政無線支局の移設工事にかかる費用として131万3千円の増額、プロジェクト推進室において実施する、ふるさと寄付金推進事業として、沖縄県中学校陸上競技大会宮古島大会の派遣補助として13万2千円計上しております。沖縄振興特別調整交付金事業の見直しにより、1千136万6千円の減額となったことから、総務費全体では減額補正となっております。

続いて、民生費では、100万8千円を計上しております。主な内容は老人福祉費の介護保険事業において介護保険システム改修にかかる費用として100万8千円を計上しております。

次に、衛生費では25万9千円の増額となっております。主な内容はクリーンセンターの

処理水貯留槽への水の運搬料として16万3千円を計上しております。

次に、農林水産業費では577万9千円の増額となっております。主な内容としましては、優良雌牛自家保留支援事業に要する経費として450万円、漁港建設費として謝名堂川のコンクリート片撤去に要する経費として127万9千円の計上となっております。

続いて、商工費では、比屋城展望台及びふれあい公園管理事業にかかる上下水道料として15万円を組み換えにより計上しております。

次に、土木費では県委託事業である離島空港チュラゲートウェイ事業に要する経費として257万円を計上しております。

次に、消防費において2万1千円の費用弁償の組み替えを行います。

続いて、教育費では3千140万8千円の増額計上となっております。主な内容としましては、中学校費において仲里中学校12号棟の改修事業にかかる経費として2千887万2千円の増額となっております。事業内容としては、12号棟のアスベスト含有調査を行ったところ、一部の天井材とタイルに非飛散性のアスベストが含まれていることが判明し、その対応として仮設校舎及び図書室の設置、セミナーハウスの改修、12号棟改修工事の追加工事を行う必要があるため、一部を起債を充当して実施するものであります。その他、9号棟の改築事業に伴い、建設予定地に植栽されている樹木の移植経費として247万8千円を計上しております。

また、社会教育費では久米島郷友会女性部の園芸発表会への派遣補助として20万円、ホテル館の浄化槽修繕費として11万8千円を計

上しております。

以上が平成25年度久米島町一般会計補正予算（第4号）の主な概要となっております。

平成25年10月21日提出

久米島町長 平良朝幸

ご審議よろしくお願ひいたします。

（大田治雄副町長降壇）

○ 議長 喜久里猛

これで、提案理由の説明を終わります。

質疑ありませんか。

翁長学議員。

○ 4番 翁長学議員

ちょっと聞き慣れない項目が出ていますので説明をお願いします。19ページ、空港管理費の離島空港チュラゲートという事業がありますが、内容の説明をお願いします。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正建設課長。

○ 建設課長 真栄平建正

お答えします。県の方の事業主体となっております一括交付金の事業であります。それを町の方に委託するという事業で、事業の目的が久米島観光に資するために久米島空港を美化しようと、花を植栽しようという事業です。それに伴って苗の植栽、あるいは苗の管理、植え付け、それを障害者の方々でやってもらおうということで、2つの目的をもってあります。1つは空港の美化、もう1つは障害者の方々の社会参加ということでの事業であります。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。

仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

10ページお願いします。10ページの27の古

民家の活用事業についての詳しい説明をいただきたいと思います。

それから、7ページのクルマエビの一番下の方です。沖縄振興特別調整交付金の中で、クルマエビ養殖場の設備強化事業に600万円計上しておりますが、これについても詳しい説明をお願いします。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

ただいま質問のありました古民家活用事業についての補正なんです、仲原家の改修工事なんです、いろいろ調査を入れたところ、壁がほとんど使えないといいますか、朽ちている部分がたくさんあって、全面張り替えということで今回補正で追加しております。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

7ページのクルマエビ養殖場設備強化事業についてご説明いたします。これにつきましては漁業協同組合の《補助》の中にプレハブ凍結庫、冷蔵庫です。マイナス35℃でエビを保管できる冷蔵庫を設置するためのものがございます。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

古民家活用事業について、仲原家の古民家を整備するということですが、一昨日でしたか野中ともよさんの講演の中で、昔の家のそのままの状態を復元してほしいということがありました。それについて近代的な整備をする考えがあるのかどうか。以前のままの復元の整備をするのかお聞きします。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

改修内容ですが、先日の講演会で限りなくオリジナルに近い状態を保存していただきたいということがあったんですが、実際、設計内容は、いまアルミ戸が入っている部分があるんですが、そこも木戸に替えます。そして、やはり公共的な活用になるかと思しますので、トイレを新たに設けて、そこも瓦葺きの渡り廊下をつけて設置する予定です。限りなくオリジナルに近い状態ということではあるんですが、そういったトイレ等については少し手を入れるということで理解いただければと思います。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。

玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

23ページお願いします。統廃合に伴い仲里中学校の校舎を改修するわけなんですけど、今回9号棟、12号棟、15号棟の改修工事、セミナーハウスの改修工事が補正で上がってますが、この改修の内容、具体的にどういった改修をするのか、説明をお願いしたいと思します。

○ 議長 喜久里猛

保久村学教育課長。

○ 教育課長 保久村学

ただいまの質問にお答えします。統廃合に向けまして仲里中学校の12号棟を改修します。現在あります教室が統廃合によって教室の数が足りませんので、その改修となります。その中で床、廊下との仕切り、天井の一部、それから外見のペンキ塗り等の工事にな

ります。今回調査入れたところがアスベストを含んだ材料を使われているということで今回の補正になっています。これにつきましては子どもたちに影響のないように、プレハブで仮教室を設置しまして、専門の業者に撤去させて行いたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

先ほどの説明の中でも12月の発注ということですので、4月に新しい中学校が開校しますので、ぜひ工期の遅れ等がないように、そこらへんよろしくお願ひしたいと思します。

○ 議長 喜久里猛

他に質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから、議案第57号、平成25年度久米島町一般会計補正予算（第4号）についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第57号、平成25年度久米島町一般会計補正予算（第4号）については原案のとおり可決されました。

日程第4 鳥島漁港波除堤整備工事請負契約について

○ 議長 喜久里猛

日程第4、議案第58号、鳥島漁港波除堤整備工事請負契約についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第58号、鳥島漁港波除堤整備工事請負契約について。

鳥島漁港波除堤整備工事について、下記のとおり請負契約を締結したいので、地方自治法第96条第1項第5号の規定により議会の議決を求める。

記

1. 契約の目的 鳥島漁港波除堤整備工事
2. 契約の方法 指名競争入札
3. 契約の金額 245,175,000円
4. 契約の相手方

住所 沖縄県島尻郡久米島町字銭田953番地

商号 有限会社 丸吉組

氏名 代表取締役 吉永功

平成25年10月21日提出

久米島町長 平良朝幸

提案理由であります。鳥島漁港波除堤整備工事の請負契約の締結については、久米島町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第2条の規定により議会の議決を得る必要があります。これがこの議案を提出する理由であります。

次ページに契約書の写しを添付しております。3ページ目には、計画平面図、平面図の赤いラインの入った箇所が今回の施行箇所となります。なお、今回の入札におきましては、A業者6社を指名し、そのうちの丸吉組さんが請負比率99.51%で落札しております。

ご審議よろしくお願いたします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明は終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

契約の額が2億4千500万円と大きな額なんです。単独発注の説明と、分割発注できなかったのかの説明。なぜ、単独の発注になっているのか、そこらへんの説明お願したいと思います。

それと今6社指名したということですが、たぶんA業社7社あると思うんですが、6社になった理由も併せてお願いたします。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正建設課長。

○ 建設課長 真栄平建正

お答えします。分割発注できなかった理由としましては、延長が64.38mということで同じ構内の中で2社入って、このバarge船、あるいはまた機械等が作業するということが困難ということで分割はやっておりません。

今回、JVでなく単独にしましたのは、島のA業者ある中で単独でも十分やっていける、これまでの儀間漁港等の波除堤も単独でやってる実績がありますので、そういったことを踏まえて単独での工事発注となっております。

7社あるということですが、1社AランクからBランクに今年度ランクが落ちている業者があるということで6社となっております。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第58号、鳥島漁港波除堤整備
工事請負契約についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の
方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第58号、鳥島
漁港波除堤整備工事請負契約については原案
のとおり可決されました。

日程第5 銭田橋改修工事請負契約につ
いて

○ 議長 喜久里猛

日程第5、議案第59号、銭田橋改修工事請
負契約についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第59号、銭田橋改修工事請負契約につ
いて。

銭田橋改修工事について、次のように工事
請負契約を締結したいので、地方自治法第96
条第1項第5号の規定により議会の議決を求
める。

記

1. 契約の目的 銭田橋改修工事
2. 契約の方法 指名競争入札

3. 契約の金額 119,700,000円

4. 契約の相手方 沖縄県島尻郡久米島町字
鳥島302番地

國洋建設株式会社

代表取締役 国吉洋一

平成25年10月21日提出

久米島町長 平良朝幸

提案理由

銭田橋改修工事の請負契約の締結につい
ては、久米島町議会の議決に付すべき契約及び
財産の取得または処分に関する条例第2条の
規定により議会の議決を得る必要がある。こ
れがこの議案を提出する理由であります。

2ページ目に契約書の写しを添付してあり
ます。

3ページ目に平面図を添付しております
が、赤いラインの入った箇所が今回の下部工
工事の施工箇所になります。なお、上部工に
ついては、また次期工事に予定されておしま
す。

なお、今回は先ほどといっしょで6社を指
名し、そのうち國洋建設さんが請負比率99.6
5%で落札しております。

ご審議よろしくお願いいたします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明は終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

橋の図面を見ておりますが、これは両方の
橋桁の工事になるんですか。現在、大田土木
がやっていますね。この工事との関連はどう
なるんですか。詳しく説明して下さい。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正建設課長。

○ 建設課長 真栄平建正

お答えします。現在、大田土木さんでやっているのは上部工の撤去をやっております。今回議案提案しました工事の内容につきましては、下部工、橋台の取り壊し撤去、新設というふうになっております。

○ 議長 喜久里猛

島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

ということは赤線のところだけの工事になりますね。実際の橋の工事はいつになるんですか。実際に通れる橋の工事は。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正建設課長。

○ 建設課長 真栄平建正

上部工につきましては、平成26年度実施予定であるんですが、26年度いっぱいではできるかどうか、ちょっと微妙なところで、出来る限り工期を短縮していくようなかたちで計画は立てていきたいと思っております。

今のところは平成27年度の夏頃までどうしてもかかるという施工計画になっております。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。

幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

1点目、工期について。いつからいつまでか。

それと、前の補正予算の中で、銭田橋整備事業にかかる経費、債務負担行為がありますね。それとの関連もあるかどうか。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正建設課長。

○ 建設課長 真栄平建正

工期予定につきましては、現在26年の7月まで工期予定しています。先ほどの債務負担行為につきましては、補正予算での負担行為につきましては25年度と26年度、現形予算を債務負担行為ということにしております。

○ 議長 喜久里猛

幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

工期が平成26年7月までとなりますと繰越事業ということで理解してよろしいですか。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正建設課長。

○ 建設課長 真栄平建正

そうです。繰越事業となります。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。

玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

先ほどの説明で、27年の夏頃完成予定ということでありましたが、今回は橋桁を来年の7月の工期でやるわけですね、両方の。橋桁もありますか。この工程と上部工の工程を詳しくお願いします。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正建設課長。

○ 建設課長 真栄平建正

今回の契約に係る部分については、橋台部分のみ、両端の橋台2つです。そして26年度予算で橋桁部分については施行する予定であります。

○ 議長 喜久里猛

玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

施工としては橋台終わって、26年度に両脚発注して、また上部工の発注となると思うんですが、27年の夏の開通は大丈夫でしょうか。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正建設課長。

○ 建設課長 真栄平建正

先ほどの夏というのは27年度の夏です。26年度から橋桁を施工しまして、26年度いっぱいには終えたいということで、翌年度の夏ということです。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。

島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

休憩願います。

○ 議長 喜久里猛

休憩します。 (午後 3時28分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。 (午後 3時30分)

質疑はなしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第59号、銭田橋改修工事（H25-1）請負契約についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第59号、銭田橋改修工事（H25-1）請負契約については原案のとおり可決されました。

○ 議長 喜久里猛

以上で本臨時議会に付議されました事件は

全て終了しました。

これで平成25年第7回久米島町議会臨時会を閉会します。

お疲れ様でした。

(午後 3時31分 閉会)

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

久米島町議会議長 喜久里 猛

署名議員（議席番号4番） 翁 長 学

署名議員（議席番号5番） 宇江原 総 清

平成25年（2013年）

第8回久米島町議会定例会

1 日 目

12月17日

平成25年第8回久米島町議会定例会

会議録 第1号

招集年月日	平成25年12月17日 (火曜日)			
招集の場所	久米島町議会議事堂			
開散会日時 及び宣言	開会	12月17日 午前9時59分	議長	喜久里 猛
	散会	12月17日 午後4時47分	議長	喜久里 猛
応招議員 出席議員 出席14名 欠席名	議席番号	氏名	議席番号	氏名
	1番	棚原 哲也	8番	島袋 完英
	2番	幸地 猛	9番	崎村 正明
	3番	平良 義徳	10番	饒平名 智弘
	4番	翁 長 学	11番	山里 昌輝
	5番	宇江原 総清	12番	仲村 昌慧
	6番	安村 達明	13番	玉城 安雄
	7番	喜久村 等	14番	喜久里 猛
(不応招) 欠席議員				
会議途中退席議員	番		番	
開議後出席議員	番		番	
公務欠席議員	番		番	
	番			
会議録署名議員	8番	島袋 完英	9番	崎村 正明
職務のため会議に 出席した者	職名	氏名	職名	氏名
	事務局長	仲地 泰	書記	
	係長	吉永 千枝美		
地方自治法第121条により説明のため議場に出席した者の職氏名				
職名	氏名	職名	氏名	
町長	平良 朝幸	教育課長	保久村 学	
副町長	大田 治雄	環境保全課長	佐久田 等	
教育長	比嘉 隆	建設課長	真栄平 建正	
総務課長	桃原 秀雄	産業振興課長	仲村渠 一男	
町民課長	平良 朝幸	農業委員会事務局長	上江洲 勝志	
プロジェクト推進室長	中村 幸雄	上下水道課長	津波 実	
税務課長	田端 智	消防長	上里 浩	
福祉課長	山城 保雄	行政改革推進室長	平田 明	
会計管理者	儀間 由紀			

平成25年 第8回久米島町議会定例会

議事日程〔第1号〕
平成25年12月17日(火)
午前10時00分 開会

日程	議案番号	件名	頁
第1		会議録署名議員の指名	15p
第2		会期の決定	15p
第3		議長諸般の報告	15p
第4		一般質問	15p
		散会	85 p

(午前 9時59分 開議)

○ 議長 喜久里猛

おはようございます。会議を開く前にご報告します。本日は、美崎小学校6年生の皆さん6人と引率の大田佳世子教頭、比嘉昭博先生、糸数真由美先生から議会傍聴の申し出がありましたので許可しました。皆さんは傍聴規則を守って傍聴してくださるようお願いいたします。

ただいまから平成25年第8回久米島町議会定例会を開会します。

本日の議事日程は予めお手元に配布したとおりであります。

日程第1 会議録署名議員の指名

○ 議長 喜久里猛

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第120条の規定によって、6番安村達明議員、7番喜久村等議員を指名します。

日程第2 会期の決定

○ 議長 喜久里猛

日程第2、会期の決定を行います。
お諮りします。

本定例会の会期は、本日12月17日から12月18日までの2日間としたいと思います。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○ 議長 喜久里猛

異議なしと認めます。

したがって、会期は本日12月17日から12月18日までの2日間に決定しました。

日程第3 議長諸般の報告

○ 議長 喜久里猛

日程第3、議長諸般の報告を行います。

平成25年9月10日から私が出席しました会議等の内容をお手元に配布してありますので、ご覧になっていただきたいと思っております。

次に、地方自治法第235条の2第3項の規定により、例月現金出納検査の結果をお手元に配布してあります。朗読は省略します。

次に、町長から平成25年9月定例会後の町政一般報告書が別紙のとおりありましたので、お手元に配布してあります。朗読は省略します。

これで諸般の報告を終わります。

日程第4 一般質問

○ 議長 喜久里猛

日程第4、ただいまから一般質問を行います。

一般質問の時間は、会議規則第56条第1項の規定によって、これまでどおり30分以内とします。なお、質問は質問席から総括質問のあと一問一答方式で行います。

それでは、順次発言を許します。

13番玉城安雄議員。

(玉城安雄議員登壇)

○ 13番 玉城安雄議員

13番玉城です。私の方から2点ほど質問したいと思います。まず最初に、公立図書館の建設について質問いたします。24年3月議会の同僚議員の図書館建設についての質問に対して、町長は久米島町後期基本計画において、整備方針は盛り込まれているが財政的側面から現状では具体的な整備計画はないが、町の

人材育成を図る観点からも図書館は必要だと認識し、整備に向け協議をしていくと答弁している。また教育長の答弁でも生涯学習において必要性を訴えているが当局の見解を伺います。(1)番目に、具体的計画について協議しているか。(2)番目に、図書館の必要性についての認識は。(3)番目に、図書館建設が久米島高校の魅力化に果たす役割はどう考えるか。

続きまして2点目です。窓口サービスの向上について。役場の方に住民の方がおいでになるのは年に数回であり、役場の機構を理解しているとは限らないので、その用件ならどこへ行くべきかわからないのが実態だと思う。結果として役場に行ったらタライ回しにされたということで不信、不満を持って帰宅したという話をよく聞きます。

住民サービスの向上を図るために窓口サービス検討委員会を設置し、基本マナーマニュアルを作成する考えはないか。また住民から役場に寄せられる苦情、要望について文書化し住民の意見を行政に反映させる考えはないか、2点伺います。よろしく申し上げます。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

(比嘉隆教育長登壇)

○ 教育長 比嘉隆

14番玉城議員の公立図書館の建設についてを答弁いたします。公立図書館建設につきましては、整備方針はまだありません。具体的な話し合いのされていないような状況にあります。

2番目の図書館の必要性についてなんですが、子ども達の語彙力・読解力の弱さが学力低下の要因となっていますので、幼児期から

の本の読み聞かせ、町民が本に親しむ環境づくりを構築することで人材育成が図られるものと思います。

3番目の図書館建設が久米島高校の魅力化に果たす役割ということですが、まずは本に親しむ事で思考力が生まれ、小・中学生の学力が向上し、ひいては高校生の学力向上、また高校の近隣に建設することで学習環境の活性化が図られるとことと考えます。

(比嘉隆教育長降壇)

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

13番玉城安雄議員の質問にお答えします。窓口サービスの向上について。「役場は、町内最大のサービス機関」と言われておりますが、職員の「待遇」に対する批判や指摘があることは確かであります。

住民からの苦情、要望等があった場合は、庁議で検討し職員全体の共通認識の元、各課で対応していますが、まだ改善に至っておりません。さらに職員の資質の向上を図るために取り組んで参りたいと思います。

(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

それでは再質問いたします。まず最初に、公立図書館の建設について伺いたいと思います。整備方針はあるがまだ話し合いはなされていませんということですが、答弁の方でも人材育成を図る観点からも図書館は必要だと。また町民、各団体、郷友会等からも指摘もあり、学力向上、生涯学習活動にも重要で

あると認識しているということですが、協議に至っていないということでありますが、協議に至っていない理由がありましたらお願いいたします。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

教育委員会の方におきましては、これまで中学校の統廃合を推進しております。そしてまた給食センターの改築ということもございまして、まだ建設の段階で給食センターの改築等についても十分な話し合いがなされていないような状況にございます。公立図書館につきましては、島内、そして島外の皆さん方からもぜひ建設に向けて推進してほしいという要望がございまして、まだ私たちの業務体制が確立していない状況にございますので、具体的な話し合いには至っていない状況にあります。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

財政面の問題もありますし、またいろいろな問題もあって具体的な話し合いには至っていないということですが、こちらに資料がありますが、沖縄県図書館振興計画というのが26年、27年に策定される予定ですが、県の方でも知の拠点として図書館の果たす役割はどうかということと県教育委員会の方から社会教育委員の方に振興計画策定に諮問されていますが、提言がありますのでちょっと読み上げてみますので、そこらへん十分勘案してみてください。

まず、重要な点として、1番最初に、知識基盤社会の時代を迎えて、本県における生涯

学習の理念の実現、また本県が有する自然・歴史・伝統文化を生かし、未来を拓く人材育成するためには、数多くある社会教育施設の中でも図書館の果たす役割は重要であり、改めて検討することが求められているという提言もあります。

また、「沖縄県の21世紀ビジョンにおいて、多様な能力を発揮し未来を拓く島を目指して」を基本政策にあげ、時代の変化や県民のニーズに対応し、社会発展を支える人材を育成するための環境を整備すること。

また島嶼県としての問題である地域格差の是正、公平な教育機会が享受される環境の推進。そのようななか図書館は、読書活動を支援する読書センターとしての役割はもちろん、地域課題や住民の生活課題の解決支援ができる情報センターとしての役割、全ての県民の学びを支援する学習センターとしての役割、知の拠点としての役割を果たすということです。

また、学校図書館における児童生徒の貸出冊数は、県の目標冊数を多く上回っておりますが、実質的向上が課題であると言われております。子どもの自主的な読書活動を推進し、県民の読書週間をつけるためにも学校図書館のみの利用ではなく、地域の公立図書館の利用促進を図り、家族ぐるみ、地域ぐるみで読書を楽しむ環境づくりをする必要があると提言しております。

また、図書館未設置町村の解消、沖縄県にはたぶん町村では18町村、公立図書館未設置があります。これの解消も推進するということで、26、27年策定予定の図書館振興策に提言もされています。

以上のことから未設置町村である本町でも

図書館について考える時期だと思いますが、町長答弁をお願いします。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

図書館は必要だと思います。子どもたちの学力向上というのは国語力がなければ学力は向上していないという結果もございます。国語力といいますと、本に親しむ、本をたくさん読むということから始まるわけですが、図書館については学校の図書館、あるいは町の図書館がございますが、まだ本の数、あるいは種類、いろんな面においてまだ不備がございます。それからいいますと早期に図書館を建設して、小さい子どもから大人、お年寄りまで気軽に集まる場所というのは必要を感じております。

ただ、問題につきましては、これからの事業メニューの部分で、お金の問題ですが、そういう問題をクリアしていけば事業を導入して図書館建設というのは積極的にやりたいというふうに考えております。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

町長は積極的に考えるということでありましたが、全国にも図書館未設置の自治体はいっぱいあると思いますが、図書館を設置した自治体でアンケート調査した結果があるんですよ。なぜ図書館を設置したかといいますと、1番目に、教育委員会が必要を感じたから。2番目に、住民や各団体から要望があった。3番目に、自治体の地域計画、総合計画に記載された。4番目に、これは一番大事なんですよ、首長が図書館の必要性を感じ、設置の

判断をしたというのがあります。ぜひ、以上のようなことから図書館建設については前向きに考えていただきたい。議会の答弁等にも本町でもいま上げた4点と同様の意見があります。ぜひ早めに図書館建設準備委員会を設置して検討してみてもどうかと思いますが、町長どうでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

今ありましたとおり、確かに久米島町におきましては、本予算がないので、いま本に親しむところ、特に子どもたち以外に成人、あるいはお年寄りまで本を読む機会というか、環境というのがないのは実情でございます。子どもたち含めて図書館の役割というのをもう一回みんなで協議をして、早めに建設に取りかかれるように検討してまいりたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

いま町長の方から、本に取り組む機会がないとか、これは本町だけでなく沖縄県全てに言えることだと思いますが、こちらに資料がありますが、沖縄県では県民1人当たりの読書貸出数、これは平成23年度の調べですが、1人あたり3.5冊、全国で5.6冊です。

先ほど申し上げましたが、公立図書館の設置状況が41市町村中23市町村が設置されております。56%。全国の設置率が74.1%です。町立図書館の設置率は40%、沖縄県では7町5村です。未設置の18町村の中に離島町村が11町村あるということで、やっぱり離島の方が少ないような気がします。

沖縄県の21世紀ビジョンの中にもありますとおり、離島振興の中で、市町村と連携して地域コミュニティの再生の拠点として図書館の整備を促進するとうたわれているので、ぜひ推進していただきたいと思います。

それから、久米島高校の魅力化に関してというあれもありましたが、多種多様な本に触れることにより思考力が生まれ、小中校生の学力が向上し、その結果として高校生の学力向上につながり、久米島高校の魅力化につながると、先の議会で教育長も答弁し、答弁内容はそのように解釈します。今年、県外から久米島高校が生徒を募集し、何名かの応募があったそうですが、また受け入れ決定したのは何名か、差し支えなければ答弁してください。これをスタートにして将来県内からも学生の応募が増えることを期待しているわけですが、そのためにも図書館を整備していただき、様々な活動の拠点、情報発信の場として町民、島を訪れる人の重要な場所になり、島の活性化、子どもたちの学力向上にもつながると思います。教育長、答弁をお願いします。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

久米島高校の魅力化につきまして、島外からの募集生徒につきましては、先週応募が3件ございました。これにつきましては先週話し合いをし、本日また最終的に結論を出せるか分かりませんが、3名のうち何名取るのか、これが今日で最終決定になろうと思います。

図書につきましては、議員の方からございましたが国の方から学校図書における充足率、そして沖縄県の方におきましては市町村での図書館整備ということで方針が盛り込ま

れております。

私たち久米島町におきましても図書館整備につきましては推進しようということがございますので、このへん一番、読書する環境、場所はどこが一番よろしいのか。そのへんにつきましてはまた新年度に入りまして設置委員会を立ち上げ、その中で場所選定からまずは推進を図っていきたいということでございます。そうすることで久米島高校への魅力化につながるということも考えられますし、先ほど町長からもございました、いま子どもたちの語彙力、読解力というのがたいへん厳しいような状況がございますので、まずはそういった本に親しむ環境をつくりながら子どもたちの学力向上にも努めていきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

ありがとうございます。町長、教育長からも答弁がありますように、読書、本にふれあうことは非常に大事だということを言っていますので、やっぱり沖縄県の図書館振興策定に向けてあります知の拠点としての図書館の重要性、そこらへんを十分に意識していただき検討していただきたいと思っております。それ以外にも図書館の必要性というのは、やっぱり久米島には専門的な書店がなくて、必要性を感じたときにすぐ子どもたちも大人でも手に入らない状況であります。学習のために調べ物をしたり、専門的な文献を見たいというときにすぐ行ってできないという状況もあります。それも本島に出たついでに書店を回れば手に入るであろうが、また余計な経費がかかってしまうということもありますので、そ

こらへんも十分考えていただき、子どもたちの学力向上、生涯学習、情報発信の拠点として図書館の整備は喫緊の課題だと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。

教育長、町長から前向きな答弁をもらいましたので、ぜひ早めに準備委員会を立ち上げて実現に向けて努力してほしいと思っております。1点目については以上で終わりたいと思っております。

次に、窓口サービスの向上について再質問いたします。答弁では役場は町内最大のサービス機関であり、苦情、要望等は庁議で検討し、職員全体の共通認識のもと各課で対応しているとしていますが、財政が厳しくなり住民の理解と協力を求めるためには経営者が事業者が顧客の確保に努力しているように、行政もそれなりの努力をすることは当然のことであると思っております。

私が質問で聞きたいのは、答弁がちゃんと答えられていませんので、私が聞きたいのは、窓口サービス検討委員会を設置する考えはあるかということなんです。これを設置するには条例、規則等の改正も要しないので、サービス向上の基本マニュアル作成をすることはすぐにでもできると思っておりますが、その実施について町長はどう考えているか伺います。

○ 議長 喜久里猛

桃原秀雄総務課長。

○ 総務課長 桃原秀雄

ただいま玉城議員からの質問ですが、先ほど町長からも答弁がありました。役場は町内最大のサービス機関と言われているように、職員はみんなサービス提供者ということで認識し、町民これはお客さんですね、町民に親しまれ、信頼される役場づくりを実現す

るためにも職員一人ひとりが公務員として求められる態度、行動をとれるように、いま議員がご指摘のように接遇マニュアルを作成しまして早急に取り組みたいと思っております。よりよい接遇対応を実現することにより職員全体のレベルがアップするものと思っておりますので、早急に検討していきたくと思っております。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

早急に検討するということですが、まず財源を要するものではないですね。そこらへんまた町長の判断にもかかっていると思っておりますので、早急の導入に向けて頑張ってください。財源を要しない、また職員に不利益ももたらすわけでもないの、そこらへんは十分認識して、早急に導入するようにしてください。

次に、苦情とか要望の文書化について再質問にいたします。住民から役場に対しての苦情や要望は多数寄せられていると思うんですが、役場に直接来て申し出たり、メールまたは電話で連絡することもあるでしょうが、問題はそれをどう扱うかです。例えば内容が自分の扱う事務に関連があったり、またミスにつながるものであれば、伏せたいというのが人情であります。ミスでないにしても職員個人の判断、感性により聞き逃してしまうこともあると思っております。それが結果として住民の意見が反映されない、また住民無視の行政だということにつながっていくと思っております。住民、議員からの苦情や要望を適切に対応するために、庁内同一の相談記録表なるものを作成し、上司への報告、相談の徹底を図ったら私はいいと思っておりますが、町長、そこらへんど

のように考えていますか。

○ 議長 喜久里猛

桃原秀雄総務課長。

○ 総務課長 桃原秀雄

いま玉城議員からのご指摘のとおり、町民からいろいろ要望等、ご指摘が多々あります。その要望、意見等の中身を調査して、それは担当課、そして総務課が対応できれば即メールの返信、本人に電話等で回答していますが、やはりこれは庁議で図って、全体の共通認識ということで、そのメール等があれば職員全体に徹底しています。

そして、毎週月曜日の朝礼がありますが、その朝礼の中でも町長からそのへんの訓示といますか、そういったものの指摘をやっているところでもあります。やはり今まで町民から何件かメールがございましたが、なかなか日程等がつかなくて後手後手にまわって、町民の方に回答等が遅れていることも確かであります。そのへんも再度検討していきたいと思えます。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

文書化の話は、ぜひ前向きに取り組んで記録に残して、後手後手にまわらないようによろしくをお願いします。私がこの質問をしたのは、あるところで役場の苦情というのを直接聞きまして、これに併せて全体的なことを質問しようということでしたんですが、名前は伏せますが、ドクターヘリの廃止について以前に問題になりましたよね。当人は意見を申したと、受入病院側と久米島町に対して。久米島町に対しては、これが廃止になったら離島医療の崩壊につながるということで町とし

て何か行動を起こすべきことではないかという趣旨のメールと、病院の方、浦添の自治体の方には、離島医療崩壊についてどう考えているんだというふうな、ややきつい文面でメールを出したところ、相手方の方から返事が、今後前向きに検討しますという返事が返ってきたと。町の方からは何の音沙汰もない。そこらへん怠慢じゃないかという話を聞いたものですから、そういうことが他にもないのかというのを気になって、こういう質問をしています。やっぱり1つの小さいことの対応をしっかりとしないと、これが不満になって不満が溜まって行政の不満ということになりますので、そこらへん気をつけていただいて、今後取り組んでいってほしいと思います。

やはりこのようなことをなくするためには文書化にして対応することが望ましいと思えます。窓口サービス検討委員会と同様、これも財源も不必要、職員に不利益をもたらすわけでもないの、町長の判断ひとつですすぐることだと思うんですが、町長、最後に答弁をお願いします。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

役場の業務の中で、やはり住民から寄せられる苦情はたくさんございます。これについては私は就任以来、職員の意識改革を取り上げてまいりましたけれども、以前よりは良くなっていると思えますが、全然まだまだという段階であります。これはご指摘のとおりであります。ただ、今までマニュアルとか、いろいろなことを、以前には接遇の講和とか、そういうこともやってまいりましたが、一番大事なのは職員の意識の問題だと思います。

これからも職員の意識の改革については、私をはじめ管理職全体で取り組んでまいりたいと思います。これはずっと続く問題、これについていかにしてなくするか、少なくするかということは私たちの課題でもありますので、これからも真剣に取り組んでまいりたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

この接遇の問題に関しては、役場のみならずいろんな企業でも、そういう相手があることです。当の本人はちゃんとやってるつもりでもそう受け取られない場合もありますので、そこらへん継続して指導徹底よろしくお願ひしたいと思います。

図書館建設と窓口サービスについて2点質問しましたが、前向きにやる方向の答弁をもらいましたので、私の質問はこれで終わりたいと思います。どうもありがとうございました。

(玉城安雄議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで13番玉城安雄議員の一般質問を終わります。

休憩します。(午前10時28分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午前10時28分)

次に、4番翁長学議員の質問を許します。

(翁長学議員登壇)

○ 4番 翁長学議員

4番翁長学です。2点質問いたします。まず最初に、畜産業に対して町の協力を。6月の一般質問で、畜産振興ということで質問しましたが、再度質問いたします。前回はま

めて質問した中で、答弁の方が食い違っていて、私自身が、再度町長に執行部に対して質問したいと思います。まず最初に、トップセールスについて再度伺いたいと思います。2番目に、導入牛に対しての助成についてです。3番目に、バカスの利用について。この3点を質問したいと思います。

続きまして、もう1点は、農業用ダムの計画を。今年の長期的な干ばつにより、農家が農業用水の確保に大変苦しっていました。特に比屋定地区はかんがい設備が無い。比屋定地区に農業用水用のダムを計画してはという2点の質問をお願いいたします。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

4番翁長学議員の質問にお答えします。畜産業に対して町の協力についてですが、トップセールスについては、実施する方向でいまJA久米島支店に調整を依頼しています。

導入牛に対しての助成についてですが、これは平成26年度予算で一括交付金を活用して実施できないか検討しているところです。

バカスの利用については、総量が減っているため、ほとんどを堆肥センターにまわしていますが、農家から分けて欲しいとの要望もありますので、久米島製糖と調整していきたいと考えています。

農業用ダムの計画についてですが、ため池の整備については、畑地へのかんがい排水施設整備と一体で計画する必要があります。比屋定地区の要望等を踏まえ、県と調整したいと考えております。

(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

4番翁長学議員。

○ 4番 翁長学議員

改めて質問いたします。6月の一般質問の中で町長にトップセールスということで質問いたしましたが、答弁の中で町長の答弁があまり積極的ではないという感じがしましたので、このセールスについて伺います。

前回6月の答弁で町長は直接出向いてするのがトップセールスとは思わないと言いました。今もそういう考えでしょうか、いかがでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

あの時の答弁は、私自身、来ているバイヤーの皆さんをよく知っているつもりでございます。セリに来たときに直接会ってお願いしたりということで、それもトップセールスの一つじゃないかなということで答弁したわけです。

○ 議長 喜久里猛

4番翁長学議員。

○ 4番 翁長学議員

町長自身が出向いてセールスを行うということですよ。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

新しく開拓するとか、そういう部分ではぜひともJ Aと一緒にバイヤーを開拓する、九州あたりに出向いていこうと思います。

○ 議長 喜久里猛

4番翁長学議員。

○ 4番 翁長学議員

ぜひ、町長自らJ Aと相談しながら足を出向いていただきたいと思います。このトップセールスについては各地域盛んに行っております。久米島がだいぶ遅れているのではないかと感じております。前回の産業振興課の課長の答弁も、他地域を参考にしながら、またJ Aと相談しながらと答弁を受けました。このJ Aとの協議は進んでいるのでしょうか。課長お願いいたします。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

J Aの支店長の方には調整をお願いしますということでやっておりますが、なにせバイヤーさんは全国を飛び回っております。それと併せて町長も同じような状態ですので、なかなか日程が合わないのが今現状だろうと思っております。ただ、その日程調整を続けながら、先ほど町長からのお話がありましたとおり、トップセールスというのは必ずしもこちらから訪問するのだけがトップセールスではないんですよ。こちらから例えば九州を訪問しても、その日程で会うことが出来るのはせいぜい1人か2人ぐらいしか会うことができません。逆に久米島町でセリは2カ月に1回ございますので、そのセリの前日に町長主催の例えばバイヤーさんを集めて意見交換をするのもこれまたトップセールスだと思っておりますので、そういったことができないかどうか、その方が効果的じゃないかということも含めてJ Aさんと調整をしてやっております。

とりあえず今、明確なご返事はいたしておりますませんが、調整を進めていることは事実でございますので、2つの方法、必ずしも訪

問のトップセールスだけではなくて、それ以外のやり方も含めて同時並行で考えていきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

4番翁長学議員。

○ 4番 翁長学議員

町長、課長から良い返事をいただいております。他地域は、いま課長が答弁したように広い購買者がいますので一気ににはできないと。各地域の例を見ますと、単年度で地域、地域を絞って行ってるんです。一気に行くのではなくて。幸いにして来年度予算の時期にきておりますので、行政側は行政側の負担、J AはJ Aの負担、農家は農家の負担ということで、個々の出張旅費とかを、あくまでも町におんぶされるということは考えておりません。やはり各団体で自分たちの立場を考えて、そういう出張旅費とか捻出していききたいと思うので、町は町なりの計画を来年度予算に取り上げていただきたいと思います。

因みに、私は改良組合の組合長を兼務しておりますので、各地域の組合長と意見交換した中で、やはり先ほども言ったんですが久米島の方がセールスが遅れていると。宮古、石垣、南部、中部、そして北部と毎年行っています。情報を聞こうとしたら、なかなか他地域の皆さんはその情報もあまり流してくれません。やはり他地域と自分たちの市場を高値で取り引きしてもらおうという意図は感じます。

幸いにして一地域から詳しい資料をいただいております。北部地域の伊江村、今帰仁村、東村、そこには3組合があります。その中で今帰仁村になりますと村長自体も行っております。伊江村も村長自体が出向いております。

あとはJ Aも理事長含め何名かの役員が現地へ出向いて行ってます。これを踏まえて我々久米島も他地域に遅れないように、ぜひ、行政の方も力を貸していただきたいと思いません。最後に、このトップセールスについては、ぜひ実のなるような行動をとっていただきたいと思えます。

続きまして、導入牛に対しての助成ですが、今は町の方から単独で1頭当たり保留牛に対しては5万円の助成を行っております。これは農家として感謝していると皆さん喜んでおります。しかしながら、一括交付金の使い道は各市町村異なっております。久米島も26年度でこれを活用し農家に支援しようという答弁があります。具体的に何らかの対応策はできているでしょうか、答弁をお願いします。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

現在、ただいまお話がございましたとおり1頭あたり5万円の自家保留牛の支援をしております。これはだいたい年間90頭がいま補助されております。ただ、最近牛の値段が上がったせいで、今現在、今年度5月、7月、9月、11月の4回のセリにおいて101頭の母牛が売却されております。これを1回のセリ毎に見ると25頭ずつ毎回母牛が売却されることとなりますので、これが3月までいきますと150頭の母牛が売却されることになるかと推定されております。それに対して現在の自家保留牛は年間90頭ぐらいですので、少なくとも50頭ぐらいの母牛がおそらく減るのではないかとという危機感をもっております。

そういうことで今年度予算の一括交付金をもって自家保留牛の5万円を上乗せして20万

円、あるいは25万円ぐらいでできないかということやってみました。直接自家保留牛に対しての支援というのは個人の財産の形成にあたるということで、最終的にできなくなりました。

次年度におきましては自家保留牛というスタイルではなくて、優良雌牛の導入事業ということで今考えております。これについては1頭30万円を約30頭ほど優良の牛を導入するというところで計画を進めているところです。これについては農家に直接やるのではなくて、JAさんに補助を出しまして、JAさんからリース事業のかたちで農家に対しては牛を提供するという方法で考えております。これからするとだいたい成牛の売却値段が約20万円平均でございますので、30万円の補助金と併せて優良な雌牛を導入できるのではないかと考えております。

○ 議長 喜久里猛

4番翁長学議員。

○ 4番 翁長学議員

来年に向けて町としても予定していると。最大1頭当たり30万円、頭数にして30頭。いま課長がおっしゃった中で、やはり今の牛の取り引きが高値で取り引きされております。やはり農家の皆さんは個々の経営がありますので、残したくても牛が高いので、出していく。その気持ちは分かります。町の方として30万円という金額、それ以上は見込めないかもしれないんですが、農家の満足いく助成をしていただきたいと思います。ぜひよろしくお願いいたします。返答をお願いします。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

現在の計画は、あくまでも計画でございますので、これから一括交付金の高いハードルもございますので、それを乗り越えることが出来るように頑張っていきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

4番翁長学議員。

○ 4番 翁長学議員

これも役場の努力としてぜひお願いしたいと思っております。

続きまして、3点目にバカスの利用についてですが、現在、答弁の中でバカスのほとんどの利用が堆肥センターのための使用をしているということで、なかなか農家の皆さんには回ってこない。畜産だけではなくやはり野菜農家、それぞれの農家でバカスを欲しいという声が結構聞かれます。その中で特に畜産に関しては子牛の怪我防止、購買者からも言われていまして、やはり床はコンクリートではなくてクッションとか何か子牛に衝撃を与えないように守ってくれと、そういうものがありました。他地域はおが屑とか、そういうものを利用していろいろ畜舎に敷いているのをよく見ます。当地域ではなかなかおが屑は手に入りませんので、ぜひバカスの方も農家に行き届くように配慮をお願いしたいと思っております。

堆肥センターにおいては、指定管理に移行し、いま個人なんでしょうか、法人なんでしょうか、移管されております。やはり一般企業が運営している会社ですので、堆肥センターに対しては企業努力でバカスがなくても堆肥がつかれるような自己努力もしていただきたいと思います。もう一度、バカスの利用について返答をお願いいたします。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

まず久米島製糖のバカスについては、これは20年度実績なんです、11,516 tのバカスが出ております。その内、10,894 tについては工場のボイラーで回しております。従いまして残りが621 tが余剰バカスとなりますが、そのうち570 tが、堆肥センターに運ばれております。把握していなかったんですが51 tほどは今現在農家の方に回っております。約1割弱が農家の方に回っているかたちになっています。これがどういう基準で配分されているのかは全く分からなくて、そこは久米島製糖さんとトラック協会さんと調整してやっていきたいと思っております。それを増やすことができるのかですね。

それから、いま堆肥センターに対するご指摘があった部分ですが、堆肥センターについては町の政策として安く堆肥を生産して農家に提供して生産力を高めていくという、町の政策遂行のもとに設置されておりますので、出来るだけ安い価格で農家に対して堆肥を提供できる体制を整えていきたいと思っております。そういう意味においては一定量のバカスの確保も必要でございます。そこはまた農家の皆さんにもご説明してご理解をいただきながらやっていきたいと思っております。

それから、農家の皆さんも自らバカスを使って堆肥をつくるという方法もあるんですけども、少なくともサトウキビ栽培については8割補助が出ていますので1 t 2千円で農家は買うことができます。袋は100円で買うことができますので、そういう意味においては非常にメリットを農家の皆さんも受けているわけです。

それから、もう1点、堆肥センターについても今後ともずっとバカスだけに頼るという体制は駄目だと思っております。今年度予算で破砕機、これは台風の後に発生した草木を細かく破砕して、それを堆肥につかうというような方法もとって、ある程度できるだけバカス依存、100%バカス依存するということなことは変えていくような方向で取り組んでいきたいと思っておりますが、いきなり結果が出るわけではございませんので、27年度あたりからバカス以外のものも使って堆肥化する方向にも取り組んでいきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

4番翁長学議員。

○ 4番 翁長学議員

課長からの答弁で、バカスもいくらかは農家に提供できるようにとすること踏まえて、なるべく農家の方にもこのバカスを利用できるように、よろしくお願ひしたいと思ひます。

畜産体制の1番目から2番目の質問がありますが、ぜひこの3点よろしくお願ひしたいと思ひます。

続きまして、2点目の質問に移ります。農業ダムの計画ということで質問しますが、前回、同僚議員からも、かんがい施設については質問がありました。私も同じような質問になると思ひますが、他の地域ではスプリンクラーとかダムがあつて、今年は長期的な干ばつで飲料水もピンチになつて、農業用水にもなかなか水が回らなかつたと。しかしながら、比屋定地域においては、さらに厳しい状態が続いておりました。この比屋定地域についてダム計画とかどうでしょうか、お願ひいたします。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正建設課長。

○ 建設課長 真栄平建正

お答えします。ただいまのところ具体的なダムの計画はございません。今後、地域の方からの要望も踏まえて、県の関係課の方と調整していきたいと考えております。

○ 議長 喜久里猛

4番翁長学議員。

○ 4番 翁長学議員

前回の質問の中で、同僚議員の中から、仲村渠池の質問が出ておりました。今回、仲村渠池、あれは下の方にスプリンクラー施設はないですよ。せき止めた状態で水を蓄えている池です。今回この池もだいぶ活躍しています。サトウキビが水が必要と比屋定地域から要望がきたとき、椎名の方からずっと水を引いてきて、そのロスが大きかったです。しかしながら、仲村渠池を使った場合もう10分で現場にいけたんです。そういうダムがぜひ比屋定地域に欲しいという農家の皆さんの要望がありました。農家の皆さんは水があれば自分でトラックとか自分が持っている軽トラにタンクを載せて、汲んで、水をかけるということもできます。何カ所か宇江城、比屋定にも取水口があるんですが、若干量が少なく、車が今回ずっと続いて順番待ちで、あとは順番を待ちきれなくてもういいやと投げやりで帰って行く農家の皆さんが多かったです。

この比屋定地域は、窪地というか谷間とか塞止めてダムがつくれる現場がだいぶあると思います。今課長が言ったとおり、地域の要望を踏まえて、そういうこともぜひ、調査し、できるかどうかはまだこれからの課題とし

て、どうか現地の方を視察していただきたい。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正建設課長。

○ 建設課長 真栄平建正

確かに議員が言われるように比屋定地区内全く溜め池がないと。新原の方に非常に豊富な水が無駄に流れているという状況があります。そこらへんを活用する意味でも、今この窪地等を利用して小規模のダム、取水が可能かどうかが調査してまいりたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

4番翁長学議員。

○ 4番 翁長学議員

素人考えなんです、この地域をせき止めれば水はたぶん溜まるだろうと。費用対効果に対してどうか、それは分からないんですが、比屋定地域の皆さんは農業、キビに対してすごい関心が高いです。農家個人個人で努力を自分で集めて、機械などを自分で購入し、ホースも長いのだったら千メートルとか購入しひいて努力している農家もいますので、ぜひ農家がいつでも使えるような溜め池、ダムをぜひ設置していただきたいと思います。

このダムの利用も先ほどの仲村渠池を見ると、赤土防止対策のダムとしても役に立っている感じがします。堆積した赤土がだいぶ仲村渠池も堆積しています。ですから地域によつての土地改良から流れてくる赤土をそこでせき止める、ダムだけじゃなくて赤土防止対策の沈砂地的な部分も兼ねると思いますので、ぜひ計画を前向きにお願いしたいと思います。

最後に、もう一度建設課長の答弁をいただいて質問を終わりたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正建設課長。

○ 建設課長 真栄平建正

確かに沈砂池的な意味でも取水に活用できるような小さな堤体をつくって可能だと思います。いま仲村渠池においても一つのダムとしての機能もあるんですが、非常時に沈砂池の効果も果たしています。沈砂池的な取水可能なものができるんじゃないのか、そこらへんも県の方、あるいは町の事業として検討していきたいと考えています。

○ 議長 喜久里猛

4番翁長学議員。

○ 4番 翁長学議員

以上2点を要望し、私の質問とします。ありがとうございます。

(翁長学議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

しばらく休憩します。(午前10時58分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午前11時05分)

12番仲村昌慧議員の発言を許します。

(仲村昌慧議員登壇)

○ 12番 仲村昌慧議員

12番仲村昌慧です。通告書に従いまして質問いたします。「離島の石油製品価格について。離島の石油製品価格が沖縄本島より高くなっている現状を受け、県は11月から離島石油製品輸送費補助事業を拡充し、価格の格差低減を図る。補助拡充後も離島と本島との価格差は残る。」と琉球新報では報じております。沖縄21世紀ビジョン基本計画の中で「離島における石油製品については、揮発油税等の軽減措置を活用し、石油製品の販売事業者が負担する輸送費等に対し補助を行うことに

より、沖縄本島並みの価格の安定と円滑な供給を図ります。」と明記しています。沖縄本島並みの価格の安定を実現させるよう、県に対して強く働きかけるべきではないか。離島の石油製品価格について町長の見解をお伺いします。

次に、県道の安全管理について。字上江洲から字仲地までの区間で、部分的にガードレールが腐蝕していて大変危険であります。通学路でもあり、早急な改修が必要ではないでしょうか。町当局の考えをお伺いします。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

12番仲村昌慧議員の質問にお伺いいたします。離島の石油製品価格についてですが、石油製品の本島並価格を実現するため沖縄県は「石油製品輸送等補助事業」を毎年実施しており、久米島は1Lあたり6.01円の補助額となっております。県としては市場競争の激しい沖縄本島との価格差是正は厳しいものがあります。町として少しでも価格差をなくするため企業への指導などを含めて他離島と連携して県に働きかけてみたいと思います。

県道の安全管理について。現場を確認しましたが、一部腐食が激しいところがあります。早速県へ改修を要請を致しました。

(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

12番 仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

離島の石油製品価格について再質問します。この件につきましては、平成18年に先輩

議員の方からも質問されております。平成18年3月議会において質問されておりますが、当時の前村長の高里村長は、次のような答弁をしております。県は離島における製品価格の安定と円滑な供給を図るため石油製品輸送等の補助事業を実施し、県内離島への石油製品の輸送経費の全額を補助している。それにも関わらず離島の石油製品価格が沖縄本島よりも価格が高くなっていると。価格差が生じるその理由としては、輸送経費以外に市場規模や経営効率に起因する離島の物価高要素があることや石油製品の販売施設、輸送施設にかかる設備、維持管理費がかかると説明しています。

これに対して、各離島ともおかしいと、非常に不満を持っていると。県が非常に態度が優柔不断であると。住民が恩恵を受けるような施策になっていないと。県の返答に納得できないと当時の町長は答弁しています。

平良町長はこの件に関してどのような見解をお持ちなのか、再度お伺いします。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

離島の石油製品のコストについてですが、これは離島振興協議会でもいろいろな問題になりまして、県に働きかけたことがございます。我々久米島におきましては、例えば他の小さな離島と比べて違うところは、まず卸元の油槽所があるということで、その運賃の低減について、まだ確認はしておりませんが、どのような経緯でどこに渡っているかというのを私自身もまだ把握はしておりません。非常に複雑な他の離島に比べて構造になっているということです。他の離島に関して

は事業者に対して直接県が助成しているということもございまして、ここらへんもまだ勉強不足ですが、もっともっと軽減してもいいんじゃないかと思えます。

現在6.01円補助あるんですが、やはりまだ10何円も本土と10円以上も開きがあるということが問題だと思います。これについてはもっと積極的に石油業者にあって、何らかの措置ができないかやっていきたいと思えます。

○ 議長 喜久里猛

12番 仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

私たちは予算審査、決算審査の時に毎回のよう担当課長にこのことについて質疑しております。しかし課長は先ほど述べられたような答弁を県の方から説明でそれを答弁していますが、議会としてもそれは納得できません。今までずっと納得できないと、毎回それに対して質疑してきましたが、担当課としてそれを納得しているのか。それについてどのような見解をもっているのか。担当課長からその見解をお伺いします。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

ただいまの仲村議員の質問にお答えします。担当課として補助事業の主管課は県の地域離島課になるんですが、地域離島課の担当そして担当課長を含めて何度も価格差の是正について話し合いをもっています。ただ、地域離島課としては、先ほど町長が申し上げたとおり離島振興協議会とか、そういった各離島の皆さんが集まる場でいろいろ協議していますということの回答で、離島振興協議会を

含めた協議の中で価格差是正については、今回、琉球新報にあったとおり小規模離島から価格差を是正するための補助対象経費の拡大を図るということで一歩前進というところなんです。まだ宮古、石垣、久米島については拡大の対象になっていないと。

地域離島課としては、この主要離島3離島の部分の油槽所の運営経費も今後補助対象経費として拡大していきたいということを言っております。そのあたりの推移を見守っていきつつ、さらに事業所への指導も含めて働きかけは行っていきたいと考えています。

○ 議長 喜久里猛

12番 仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

今回11月から久米島、宮古、石垣を除く各離島は補助が少し拡充されましたが、それによって14円から15円まだ格差が残るといっています。最近の久米島の価格と沖縄本島の価格差がだいたいどのくらいなのか、そこを調査されておられましたら説明をお願いします。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

最新の数字ですが、これは24年度実績になるんですが、久米島がレギュラーガソリン、揮発油ですが167円の価格になっています。本島平均が144円、価格差が23円あります。

○ 議長 喜久里猛

12番 仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

離島、久米島と沖縄本島の価格、生活必需品にしても那覇市を100とした場合、久米島が130というふうにして、この21世紀ビジョンの、これは23年度の調査によりますとそ

うなっております。今、久米島と本島との格差が23円あると。これは平成18年度からほとんど改善されていない。町民も相当それに対して疑問をもっている、不満をもっている、そういう声が聞かれます。

幸いにして昨年、24年に沖縄21世紀ビジョンが策定されて、その中で、先ほど申し上げました離島における石油製品については揮発油税等の軽減措置を活用し、石油製品の販売事業者が負担する輸送経費等に対し補助を行うことにより、沖縄本島並みの価格の安定と円滑な供給を図るということをはっきりと述べております。その中で今回、久米島、宮古、石垣を除く各離島は拡充したんですが、ある程度県の方は、それは拡充したからいいんじゃないかというような考え方になってくるかもしれないですが、そこを強く県に働きかける、その実現を求めていくべきだと思っております。

国、県は離島の果たす貢献度をこう言っています。国境離島を含む沖縄の離島地域は日本の領空、領海、排他的経済水域の保全など国家的利益の確保に重要な役割を果たしているということで、このような離島は様々な課題を抱えている一方、海域等の保全をはじめ重要な国益の維持確保に貢献している。このため離島振興にあたっては離島の果たしている役割を鑑み、県民は元より国民全体で離島住民の負担をともに分かち合い、離島地域を支えるという理念のもとに取り組むことが求められていると。離島の条件不利性を克服し、住民が安心して生活し働くことができる持続可能な地域社会の形成につながるような総合的な離島振興策を強力に推進する必要があります。加えて離島が有する潜在能力を十分発

揮し、日本の経済発展に貢献する地域として存在価値を高めていく必要がありますと、こう述べているわけですから、当然これは本島並みの価格にすべきであります。

これまで平成18年度から7年間ずっと、これが改善されていないような状態です。この機会に各離島が一緒になって、ある程度軽減されたから、それで満足するんじゃないくて、本島並みの価格に、ぜひこれを実現させていただきたい。それについて町長の決意をお願いします。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

室長から答弁がありました。我々の今ネックになっているのは小規模離島じゃないということが、今までその21世紀ビジョンに掲げられている事業等が該当しないということがございます。これはこれまで私自身も県となぜ小規模離島じゃないのかということでやってまいりました。

高校がある、中核病院があるということがありましたけれども、これもなかなか小規模離島として認めてくれということはやってきましたが、なかなかそれが認められないのがあります。ただ、やっぱり離島として本島並の石油製品価格というのは我々はこれまでもいつも協議の中で提言をして、また一緒に要請もしてまいりましたが、これからも本島並みを求めてやっていきたいと県に要請したり、あるいはいろいろな協議の場を設けたいというふうに思います。

○ 議長 喜久里猛

12番 仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

この件に関しては、場合によっては県議会にも取り上げてぜひ実現させていただきたいと思っております。

次に、県道の安全管理についてであります。県に要請しました。県はどのような回答をしましたか。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正建設課長。

○ 建設課長 真栄平建正

まだ回答はもらっておりませんが、それと併せて今回仲村議員の方からそういった指摘がありましたので、県道一周を再度また調査しまして、一部仲中前の防護策については接続についての整備不良があつて、それについては即対応して直してもらっております。今後、県の方と一緒に回って、どういったかたちで補修をかけるか、そこをまた調整していきたいと考えています。

○ 議長 喜久里猛

12番 仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

迅速に作業を進めていただきたいと思っておりますが、実は、ちょっと話は逸れますが、今年の8月の決算監査の中で、私は大原下線のことを質疑しました。空港線から大原下線に入るところの野球場の入口です。そこに大きな花壇が設置されました。僕は皮肉って、雑草を生やすために花壇を造りましたかと言いました。当初から雑草が生い茂って、ほとんど花も植えていない、植樹もしていない。そういう状況の中で指摘しましたら、数日後その担当から僕に電話がありまして、すぐに花を植えますという回答を得ました。言ってよかったなど、すぐ対応してくれるんだなど期待していました。しかし未だに、もうあと

1カ月ちょっとでキャンプが始まります。キャンプ場の入口、花を咲かせてくれればよかったなど。

今年の2週間前、皆さんもご覧になったと思いますが、病院前のヒマワリは素晴らしかったです。感動しました。これがキャンプにできたら南国のイメージが出せるのになと思っていました。しかし未だに花も植えていない、迅速に対応すると期待していたんだけども対応していない。こういうことがないように早めにやっていただきたいなど。これは実は保護者、通学路でありますので子どもたちの保護者が、そしてお爺ちゃんたちが非常に心配して僕の方に、ぜひこれ議会で取り上げて、早く実現してくれということでした。そのことも受けて、ぜひ早い時期に対応していただきたいなど。それに対して答弁を受けて私の質問を終わります。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正建設課長。

○ 建設課長 真栄平建正

確かに仲村議員おっしゃるように、いま草が見苦しい状態にあります。予算獲得といますか、ある予算の中でできるかどうか、そこらへん検討していきたいというふうに考えます。

○ 議長 喜久里猛

12番 仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

予算、予算じゃなくて、いつも予算、予算で逃げるんですが、早めにやっていただきたい。あまり予算関係ないですよ、やる気があればすぐできるんです。以上で質問を終わります。

(仲村昌慧議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで12番仲村昌慧議員の一般質問を終わります。

次に、10番饒平名智弘議員の発言を許します。

(饒平名智弘議員登壇)

○ 10番 饒平名智弘議員

10番饒平名智弘。2点ほど伺います。離島甲子園の参加継続について。久米島町の中学生は離島甲子園で優勝または準優勝したりなど好成績を収めている。今後も離島甲子園に継続参加するのか伺いたい。

2点目、久米島町から儀間保育園や久米島保育園を民間に譲渡してから数年が経過しているが、町長はそれをどう評価しているのか伺いたい。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

(比嘉隆教育長登壇)

○ 教育長 比嘉隆

9番饒平名議員の離島甲子園の参加継続についてお答えいたします。今年で4回目となりました全国離島中学校野球大会、3中学校の中学生が規範意識の向上を図り、短期間でチームワークを築き、今回も準優勝の成果となりました。今後も子ども達が自信を持ち目標を持てるよう、今後とも参加するよう関係部署と調整を図って参ります。

(比嘉隆教育長降壇)

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

10番饒平名智弘議員の質問にお答えいたします。儀間、久米島保育園について。久米島

町行革大綱に基づき民営化を進めてまいりました。民営化した儀間保育園、なでしこ第二保育園ともそれぞれの運営方針に基づき、子供のための保育事業に取り組んでいるものと考えています。

(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

10番 饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

離島甲子園について再質問を行います。教育長がおっしゃるとおり3中学校の中学生が短期間でチームワークを築き、目的をもち参加し、たいへん優秀な成績を収めている。また離島甲子園に参加するようになってから野球をしている久米島の中学生が久米島高校に進学する生徒が増えたと思う。やはり短期間でも同じチームで同じ目的をもち試合をする仲間意識が生まれてくる。いま久米島高校は生徒の数が減り、島外からも進学を呼びかけている。

私は離島甲子園に参加することにより3中の中学生が自信を持ち、仲間意識が生まれ、久米島高校に進学し一緒に野球をして甲子園を目指す思いが生まれると思う。そのためにも離島甲子園は今後も継続して参加すべきだと思うが、教育長の考えを伺いたい。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

当初、私は子どもたちを見てたいへん心配でした。と言いますのはなかなか3中学校、日頃球技大会をとおして交流を図っていたわけですが、こちらの説明会、あと保護者説明下の中におきまして子どもたちに自信がなさそうな雰囲気もありました。これは3中学校

とも子どもたちがまだお互いをよく知らないということがあり、私も当初たいへん心配し、あと関係者からは、教育委員会は学力、学力と言いながら、そういった学力面の時間を全然とってくれないという意見もあり、今回の対象の中学生には皆さん方が勉強をおろそかにし、ただ離島甲子園へ行くだけでは次の後輩のためにも良くありませんから、そのへんはぜひ心がけて、今回の離島甲子園に臨んで下さいということで発破を掛けました。

私も練習に参加し、今回、町長のご配慮で私も大会に参加させていただきましたが、子どもたちが日に日に変わっていきました。まずは練習期間中、当初お互いに遠慮していたわけですが、3中学校の子どもたちが、その練習をする中において一所懸命、これが学校現場でこれまでどういう練習をしたか分かりませんが、本当にすごいなということを感じました。

そして大会に直接行って、子どもたちが物怖じしない。そして1回戦を勝ち抜く毎に自信をもち、のびのびプレイをしたというのが今回の大きな印象がありました。

そういったこともありまして、まずは子どもたちが自信をもち、次の目標に向かっていけるよう今回改めて私自身感じることができました。参加につきましてはこれまで主催者の方から助成金もありましたので派遣もできましたが、今後は町単独でも子どもたちを派遣できるように関係課と調整を図ってまいりたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

10番 饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

教育長がおっしゃるとおり、子どもたちは

参加することにより日々成長していくと思えます。教育長がおっしゃるとおり財政がなければ町が負担してぜひ参加させるべきだと私は思うんです。

話がずれますが、私は久米島高校がとてもいいと思っています。今回、町長に苦言をしましょうね。同僚議員の答弁の中で町長はこう言っています。沖縄本島に進学する要因として、上を目指したスポーツ、学習をしたいためにと答弁しているんですよ。それは久米島高校の生徒は、PTAまたOBに対してたいへん誤解を招く答弁だと思います。久米島高校へ進学する生徒は上を目指していないのかと受け止め方をされるんですよ。決してそういうことではないと思うんですけどね。久米島高校の生徒たちも、特に僕が今回質問している、野球をやっている子たちもみんなで頑張るって努力して甲子園に行こうという、とても大きな夢をもっているんですよ。そういった面で今回の町長が答弁した内容に対して町長としてどう考えているか伺いたい。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

先ほどの答弁の中に上を目指したいということがありましたが、これは昨年、今の中学3年生に取ったアンケートをそのまま申し上げたということでお願いします。これは昨年度の島外高校進学理由ということで、今の高校1年生にアンケートを取ったことがあります。まずは久米島高校に行きたい学科がない。そしてもう少し自分たちの視野を広げたい。それからスポーツ、学習でレベルの高い高校を目指したいということで、全部で15項目ありまして、その中で上位の方のアンケートの

結果をお伝えしたわけですので、これが町長の考えではないということをご理解をお願いしたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

10番 饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

町長の考え方ではないと思います。町長が答弁しているが、私は教育課の考えだと思っていますが、答弁者として町長が言っているので、そういうふうにしたんです。ただ、子どもたちがそう言ってもそこはちゃんと配慮して答弁してほしいです。これは見る人が見たらそんなに見えませんか。それに対して教育長としてどう思いますか。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

まず久米島高校、先ほどもありましたが久米島高校の魅力化、それから発展を考える会の中におきましていろいろ久米島高校の活性化を求めるような活動をしています。子どもたちも実際、久米島高校のオープンスクールなどやって、ぜひ久米島高校で頑張りたい。そして今の野球部の子どもたちも一緒に甲子園を目指したいということがあり、子どもたちがそういったことで久米島高校に向けての進学に手続きをこれからいくわけですが、そういった面でいま一所懸命子どもたちは頑張っております。

○ 議長 喜久里猛

10番 饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

いま教育長が言うように、子どもたちは一所懸命頑張っています。

久米島高校の野球部は、離島甲子園に行っ

たお陰だと思いますが、いま野球部員が25名以上いるんです。僕はいつも町長の話をよく聞きますが、町長はいつも言います。

町長の夢は、久米島高校が甲子園に行き、スタンドで応援をしたいと、いつも言っていますよね。またそれは久米島町民みんなの思い同じだと思います。そのためにも離島甲子園は今後も3年生を中心に継続参加すべきだと思うんです。そこで町長と副町長の考えを伺います。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

離島甲子園は4回目になりますが、これは私の思いで初回から参加させました。これについては離島振興協議会、全国の、その中で離島甲子園というものがありながら沖縄から1校も参加していないということがありました。またよその離島のレベルを見せるためにも子どもたちに参加させたほうがいいということで第3回目から参加させましたけれども愕然としました。あまりにもレベルが低すぎて、島の子どものための。

野球の技術は上手いんですが、並んで行進をしたり、あるいは人の声を聞いて受け答えをしたり、そういうのが私は行って初めて分かって、これはもう継続して行かそうということで、2回目以降、学校に担当を決めて、向こうの子どもたちと同じようにできるようにしてくれということをお願いして今までやっています。それがやっぱり準優勝、優勝ということにつながって、やはり、よそのレベルを見せるということは非常に大事なことじゃないかと思います。これからも引き続き町としては離島甲子園に参加させたいと思って

います。

もちろんこれまで学校側から進学のための勉強とかいろいろな問題、障害になっているという意見も聞こえましたが、それ以上に得るものがあるということで、これからも続けていきたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄副町長。

○ 副町長 大田治雄

ただいまの質問にお答えします。私も2日目の四国大会に参加しましたが、当時はいま町長がおっしゃるように、1回目の参加のときは非常に生徒の整列の仕方とかも、たいへんお粗末な隊形だったということで指摘されて、私が行ったときにそういうマナーも直って、そして全国から集まります。北海道は北は礼文町という島からきましたし、それぞれのいろんな地方から同学年の皆さんが参加するといろんな勉強ができると思います。

特に私が感心したのは北海道あたりから父兄の皆さんも一緒に参加していたこと。このへんもまた今後の我々の参加においては、その保護者の皆さんも参加できるような仕組みづくりとか、またそういう体験をすることによって視野が広がり、この我々の小さな久米島がどうあるべきかというのもその子たちが学ぶことも可能だし、今後も継続して参加する必要があると思います。

○ 議長 喜久里猛

10番 饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

町長、副町長、また教育長からとても前向きな答弁をもらいまして、ぜひ継続してくれるようにお願いします。

次に、保育園についての再質問を行います。

久米島町は保育児の待機児童はいないのか。また両保育園、民営化した保育園についてクレームはないのか。また儀間、なでしこ保育園の職員の待遇や園児の給食などの状況は把握しているのか伺いたい。

○ 議長 喜久里猛

山城保雄福祉課長。

○ 福祉課長 山城保雄

待機児童ですが、年度当初のときはありませんでした。最近11月になって2人ですか。この2人についてもなでしこ第二に1人、そして中央保育所に1人なんとか調整してくれということで要請して、なでしこ第二の方は1月から入れるように調整しています。中央については一時保育でとりあえずはカバーしながら調整できればやっていきたいというかたちできております。

それから、職員の待遇ですが、なでしこ第二となでしこ保育所それぞれ協議している中では、県内においても高い方だということで、実際他と比べていませんが、運営者側からはそういうふうに回答がきています。

それから、苦情ですが、なでしこ第二の方では去年、民生員をとおして苦情が何件かありました。それについては話し合いをもって今後そういうことがないようにということで保育所側も努力していきたいと話し合いをしています。

それから、ミルクに関しても同じように、これは苦情というか、これでいいのかということで、例えば民営化する前はパックに入ったミルクを提供していましたが、なでしこの場合は、これは運営者民間の方針によって粉ミルクを提供しているということで、それについても特に問題はないということでしたの

で、それは方針に基づいてやっていいんじゃないかということです。

あと職員間のトラブルもありましたけれども、それについては内部で十分コミュニケーションをとって解決してくれということで話し合いをしています。これは5月か6月でしたか、その後については特に問題は起こっておりません。

○ 議長 喜久里猛

10番 饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

待機児童が2人いるということで、町としては問題が、民営化したために待機が出たんじゃないかという話も聞こえるんです。それをしないようにやらないと民営化した意味がなくなるんです。そういった面でそこはちゃんと待機児童がいないようにやってください。

それと、儀間、なでしこの職員数は何名なのか。また正職員は何名で臨時職員は何名か具体的に答えてほしい。

○ 議長 喜久里猛

山城保雄福祉課長。

○ 福祉課長 山城保雄

まず儀間保育所ですが、これはデータの的に4月の時点のデータということでご理解いただきたいと思います。儀間保育所が職員全体で17名、非常勤臨時が3名、なでしこ第二保育園が職員数20名、非常勤が17名ということになっております。

○ 議長 喜久里猛

10番 饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

福祉課長に言いたいのは、前々から特になでしこ保育園はぜんぜんバランスが悪いんで

す。儀間保育園は17名の中の臨時職員が3名、なでしこは20名の中の17名が臨時職員。それだとどうですか、ちゃんとした保育ができますか。職員の入れ替えも激しくなると思いますが、職員間の細かい連絡もできなくなると思うんです。また課長はいつも言っていますが、県の方は6割の職員は正職員にしろさいという指導も受けていると言っている割には、もう3年になる。それで課長はいつも言っているんですが全然数字を見たら改善されていないんです。そのへんもうちょっと指導していかないとぜんぜん変わらないと思うんです。町として20名に対して17名の臨時職員ということは私にとっても多いと思うが、そこをどう考えていますか、町長。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

いま担当課の方で県の指導にしたがって事業所を指導していると思いますが、これだけ臨時職員が多いということは、もっともっと指導しなければならぬかと考えています。

○ 議長 喜久里猛

山城保雄福祉課長。

○ 福祉課長 山城保雄

これに関しても先週話し合いをもちました。11月の指導監査もありまして同じように県からも指導を受けて指摘事項になっています。この回答が1月の19日までとなっていますので、改善を図ってくれということは言っています。

保育所側としては職員の状況をみて本採用できる人はやるということで、保育方針、要するに経営方針について来れない人については厳しいということも言っております、こ

のへんは経営者の問題もありますので、十分職員と話をして、経営方針も理解させて保育がうまくいくように、ぜひ努めてくれということは申し上げてきております。

○ 議長 喜久里猛

10番 饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

いま課長が言うように、会社の経営方針とかは会社の中身だと思うんです。職員も経営方針合う人を職員にすればいいんですけど、これはただ言ってるような感じなんです。合わないから職員にしないという、もう3年も4年もなりますよ。儀間保育園はできて、こっちができないというのは腑に落ちません。指導して結果が出なければいけないのと同じですよ。そこは強く言って、町の子どもたちを預かっているし、職員じゃないと責任も全然違ってきます。そういった面で、臨時も頑張っている人もいると思いますが、やっぱり頑張ってる職場もつくる必要があると思います。

町長にまた言いますが、臨時職員はやっぱり臨時なんです。そこらへんちゃんと久米島町は人口も減っていますので、正職員になれば、そこに腰を落ち着かせていろんな計画も立てていけます。そういうことも考えて指導していかないと、ただ向こうの話だけを聞いて、ぜんぜん変わっていかないということはとてもおかしい話です。せめて儀間保育園とは言わないんですが、県が考えている6割の職員は正職員ということで強く指導すべきだと思います。そのへんに対して、ぜひやってください。

○ 議長 喜久里猛

山城保雄福祉課長。

○ 福祉課長 山城保雄

これについては県と一緒にこれまでもやってきましたけれども、これからも改善を図るようにやっていきたいと思えます。

○ 議長 喜久里猛

10番 饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

最後に、ぜひ改善してください。

(饒平名智弘議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで10番饒平名智弘議員の一般質問を終わります。

次に、11番山里昌輝議員の発言を許します。

(山里昌輝議員登壇)

○ 11番 山里昌輝議員

まず、通告書なんですけど、福祉施設整備計画の進捗状況を具体的に説明してもらいたい。わりかし漠然としたやり方になっているわけですが、同僚議員と同じで、私も1、2点に拘っておりますので、たぶんこうであろうということでしっかり答弁つくってきていただいています。このことについて町長の方から答弁お願いしたいと思えます。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

11番山里昌輝議員の質問にお答えします。福祉行政について。現在、計画しているのが、障害者の活動支援施設と社会福祉協議会の入居施設の整備を計画しています。町としましては、久米島中学校と仲里中学校の統合に伴って久米島中学校跡地を福祉施設として活用できないか検討を進めています。

(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

11番山里昌輝議員。

○ 11番 山里昌輝議員

町長の答弁を受けて、福祉課長ちょっとお聞きしたいんですが、どの程度まで進めているのか、具体的に説明してほしいというふうには私は先ほど通告書を送っていますので、そこを聞かせて下さい。

○ 議長 喜久里猛

山城保雄福祉課長。

○ 福祉課長 山城保雄

庁内の跡地利用検討委員会の中で検討を進めてきておりまして、障害者の地域活動支援センターを久米島中学校の技術教室跡にもつていこうと。それから職員室のところに社会福祉協議会の事務局をもつていこうということで、その分については具体的に場所も入れて検討しております。ほぼそれとおりにいくかなということで期待しております。それで地域説明会においてもそのことを説明してきておりますので、そのとおりに進めていきたいというふうに思っております。

○ 議長 喜久里猛

11番山里昌輝議員。

○ 11番 山里昌輝議員

進めていきたいではなく、進めますと。すぐ走る状況にありますという程度の答弁はぜひ欲しいですね。実は、障害者の自立支援法というのが平成17年に制定、そして18年に施行されたわけですが、当時は3障害が別々に動いていたものが同じようなサービス享受できるように、同じ環境の中で社会復帰を目指して頑張してほしいと、そういう思いもあって法制定がなされたわけですが、その時にむしろ久米島町は逆行しているわけです。当時

は久米島町に身体障害者協会というのがありました。当時、その組織に58万6千円の助成をしているんです。しかし22年に久米島町社会福祉協議会が3障害を引き取ってスタートした時点で15万6千円に減額して、それがそのままスライドしてきているわけです現在。現在の担当課長は、その経緯についてよく認識していないと思いますが、そこはご存じですか。

○ 議長 喜久里猛

山城保雄福祉課長。

○ 福祉課長 山城保雄

当時、身体障害者家族会、それから精神障害の家族会、それぞれ組織がありました。正確かどうかちょっと分かりませんが、ちょうど行革の一環で各団体の補助金の縮減を図った経緯がありますので、その中で縮減されてきたのかなと理解しています。3障害の家族会を去年でしたか、1つにして活動しております、以前は、それぞれの家族会の活動状況が停滞気味な状態もありましたが、いま1つにして非常に活発な活動がされていると思っております。

○ 議長 喜久里猛

山里昌輝議員。

○ 11番 山里昌輝議員

行革のあおりを食らって社会的弱者が非常に環境の悪いところに追いやられていくと、そういうことは決してあってはならないことです。町長、私が以前から、この問題について取り組んでいるのは既にご承知のとおりですが、歳月が過ぎても今なお、全然進展が見られません。一番大きな要員は何なのか、町長の方から直にお聞きしたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

ただいまのお話につきましては、私は承知しておりませんので内容は把握しておりませんでした。ただ福祉施設については、早めに進展させたいということです。今おっしゃいました障害者の補助金の件、これについても経緯、あるいはこれまでの経緯を把握してから答弁したいと思いますので、よろしくお願ひします。

○ 議長 喜久里猛

山里昌輝議員。

○ 11番 山里昌輝議員

ここの組織に対する運営助成が減額になった、多くなった、このことは町長は知らなくてよろしいんです。私が申し上げたいことは、まず彼らを取りまとめた行政、そして活動の場である社会福祉協議会を含めて、まず最初に仲里改善センター老朽化に伴って向こうの敷地内に整備していくと、最初はそういうことで準備を進めております。近々これをスタートさせますということでありました。その次、法務局事務所跡、これを活用させたいと。これには私も反論しました。今現在、久米島中学校の跡をなんとか活用したいということで計画を進めているようですが、これは今現在どこまでいっているのか。例えば次年度の予算案調整は既に始まっていると思うんですが、次年度のペーパーに確実に載っているのかどうか、そこを担当課長聞かせてください。

○ 議長 喜久里猛

平田明行革推進室長。

○ 行革推進室長 平田明

ただいま26年度予算に計上しているかという質問ですが、先ほど担当課長の方から説明

がありましたように6月18日の地元説明会において跡地利用について説明しております。ただ現在、子どもたちがいる状態で7月とか5月という早期な時期に跡地にという部分が不可能な部分もありまして、いろんな教育備品とかありますので、教育委員会と詰めながらやっている最中で、その跡地についての事業をいれる部分に関しても、防衛施設局と事前調整をしましたが、教育施設を福祉施設に改修すると事業メニューがちょっと防衛としてはできないということで、移って跡に、その社会施設であれば改修等ができるということで、ご返事いただいております。

ただその後の細かい教室をどういうふうに改造したりどうしようというのは、これからです。基本的には1階の職員室の部分を社会福祉協議会の事務所にしまして、先ほど担当課長からありましたように、後ろの技術教室をさくらの作業所、あるいは図書館を控え室とか、1階部分は福祉の中でいろいろ活用しようという計画が、実際これからどういうふうにやろうということは、今、子どもたちがいる現状ですので、冬期の休みに担当課と社会福祉協議会も交えて細かい調整をやる予定であります。

また予算についても、それに対しての予算措置を必要であれば検討していくということで進めようとしております。

○ 議長 喜久里猛

11番山里昌輝議員。

○ 11番 山里昌輝議員

いま久米島中学のおかれている環境、現場の状況はよくわかります。検討を進めている、社会福祉協議会と話を詰めていきたい。詰めた結果できませんでしたと、そういうことは

ないですね。

このことを何年もかけて、順繰り順繰りたらい回しばっかりされているようでは、久米島町の進展はありません。今非常に厳しい状況の中で彼らは一所懸命頑張っています。社会福祉協議会が自ら社会ニーズを追いかけながら一所懸命頑張っています。町長このことには強く耳を傾けて、しっかり頑張っていたきたいと思います。

このことは、遡ること11年前になりますが、仮称久米島総合福祉センター、こういうものを私、町内出身の5名のコンサル、本島在住の方々に依頼して、2週1回のペースで、平成14年の2月から7月までに6カ月間掛かりで、島のことであればということで6カ月間5名のコンサル業務の方々に画を描いていただいたことがあります。これは執行部の中にご覧になった方がいるかどうか知りませんが、たぶん社協のどこかにまだ存在していると思います。

あの当時は合併特例債という、おいしい話が目の前にぶら下がっていたものですから、あれもしよう、これもしようで、どんどんエスカレートしていった時代ですが、今そこまでは申しません。ただしかし、そのミニチュア版でもいいので、彼らの思いを成就するためには、これは行政は皆が一体となつてこのことには取り組んでいっていただかなければいけないんじゃないかと思っております。

このことは私がこうしたい、ああしたいと当時現職でおりましたので、そういうことではなく、実はとあるタイミングを利用して障害者7名、既に2人は亡くなっておりますが、方々から2回に渡って私は意見を聴取して、将来はこうしたいな、こうしたいなと、彼ら

の思いを受けてコンサルに話を詰めていただいて作り上げた画なんです。だから何とか頑張っていたきたいと思っているわけなんです。町長、しっかり頑張ってもらいたいと思っております。

ここで1つ、実はちょっと横道に逸れるわけですが、12月2日に、その前にタイムスに12月2日、後で新聞をご覧になられてください。障害者のためのシンポジウムが開催されておりまして、県の総合保健福祉センター主催で、所長が主催して、このことを取り組んでいるわけですが、イタリアという国は昔から非常に精神保健に関しては、ずっと先を行っているというほど有名な国なんです。この一部を読み上げてみます。

世界保健機構、いわゆるWHOはイタリアを世界モデルに指定し、精神病院の縮小を提言しているとし、地域でのサポート体制を充実させているイタリアの現状を説明しております。カルテを見るのではなく、その人がどのような生活をしてきたかを見ることが大切。病人ではなく、苦悩して生活に困窮を来している人とみて、関係者が多面的に援助しているというふうにイタリアの報告があります。

これに対して、主催している側、とある精神科医ですが、私が大嫌いな医者です。病院と地域、その前に当事者や、その家族の地域性と家族文化を尊重し生かせるような支援のあり方や病院と地域、行政、大学の4者が共同した支援の取り組みの必要性を訴えたところありますが、なんで病院か、なんで大学か、これは最も必要なのは、彼らに必要なのは地域とその環境づくりなんです。薬でコントロールするために、投薬していると。どうしよう

もなければ病院に押し込んで隔離すると。この繰り返しで彼らの生涯を終える場合がよくあるわけです。だから別の国では病院を少なくしようとしている。ここでは病院を第一に上げて、しかも大学、僕は意味が分かりませんが、私は門外漢ですのでよく分かりませんが、専門に勉強してきている保健師に後で聞いてみようかと思っていますが、今まさに大事なことは久米島町が取り組んでいる地域での活動です。

ただ、そこには今多い場合に26名ほどの社協が、職員が管理しながらスタッフが働いているわけですが、その中の一部、11名がB型に移行しています。B型といいますと、1日午前2時間、午後2時間、4時間。これは儀間出身の企業に関わっている方が、彼らを物産公社ですか山里の方の、向こうで彼らを管理しながらやらせているわけですが、彼らがああいうところで社会参加を目指して頑張っていて、その先にあるのはA型です。いわゆる1日8時間。こういったことで地域活動、彼らを社会参加を促すことによって、どんどん快方に向かっていく。

実は11月30日に副町長も踊っていましたが、町長もたぶんご覧になったかと思いますが、久米島町の芸能発表祭がありました。指導員が20代の若い女の子を私の側に連れてきて、出ますよと言ったとき、後ろを振り向いたら彼女が笑顔で出るよということになって、すごくおめかしして舞台上上がって中央の方で一生懸命踊ってました。あれを見たとき障害者か何かわからない。本当にあれを見ていたら誰しも感動するほどうまく踊っておりました。

彼女は3、4年前、実はうちで夜となく昼

となく物を投げつけたり大変な状況にあった中で、私は祖父母、両親から相談にのってこれをお願いされていた子なんです。こういうことを考えてみた場合に、町長がこれからこのことにしっかり目を向けて環境づくりに徹していただければ、こういう人たちが多くなってくるんじゃないかと。

いま数字上、実はアワティーチャーティして社協から資料をいただいてきたんですが、身体障害者も554名おります。知的障害が121名、精神障害、手帳保持者が71名、通院者が108名おります。知的障害と精神障害でちょうど300名いるわけです。彼らは人によっては社会復帰が十分可能な者たち。いろんな意味でいま彼女たちは一生懸命頑張っておるわけですが、当然賃金も低いです。しかし今後いい環境をつくることによって自立支援を促して、そして社会復帰というのが、どんどん先に進めていくことができますので、この間も聞くと、建設課長が頑張ってくれたんですが、空港の方で彼らが頑張っているのを私は見ました。山里の方でも今頑張っています。あちこちで頑張っています。

ただ、これから福祉課長の方でしっかりお願いしたいのは、26名を3名ほどでみたりして管理しながらやっているわけですが、万が一事故が起きた場合にどうなのか、それを考えたら指導者が絶対数足りない。指導員の資格を持っているのは久米島には1人いるかどうかですよね。だから実務経験5年以上の者は資格取得ができますので、そういう者たちを要所要所に配置して、しっかり3障害の皆さんができるような環境づくり、これは急がなければいけないので、今後の細かいことについては担当課長のところ、福祉課長の

ところに私も足繁く通いますので、嫌がらないでこれから応じていただきたいと思いますと思っています。

町長、最後にこの問題、町長はつい最近、今限りで勇退すると表明しました。別のことについてはそれなりの実績を残して高く評価するわけですが、このことに関しては全く先が見えていないです。ちょっとおろそかにしております。在任中に、はっきり先が見えるように動いてくれるかどうか、私の前で確約して下さい。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

障害者支援については、社会復帰、あるいは自立支援等については事業あるものについては我々としても今まで考えてまいりました。しかし、やっぱり、まだまだ島内にはそういう方々がいらっしゃるということで、これからもやはり社会に適応する方法、どういう方法があるのか、これからも積極的に取り組んで、この人たちをサポートしてまいりたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

山里昌輝議員。

○ 11番 山里昌輝議員

町長、私がお聞きしたいのは、彼らが頑張れるような環境づくり、いわゆる久米島中学校の教室ならそれはそれでいいんです。私は問いません。たらい回しにされてきたこと、これが嫌です。どこでも構わないので、彼らの居場所、拠点施設です。そして心置きなく彼らが頑張れるスペース、これを確保する。財源あるない、私はこれは聞きたくありません。財源は探せばいっぱいあるはずで

し、町長が財政担当の方で優先順位をどうしているのか知らないですが、福祉課長、一発でああそうですかで引き下がるようなことは絶対止めてください。そうしたら絶対あなたのテリトリーは守れないですから。

だからこれがあって、それから各分野に根を広げていくというぐらいの気持ちで、そうしてもらおうぐらいの気持ちで絶対やってください。

この同じ答弁を次出すようであれば、私は任期中、ずっとこのことに拘って、同僚議員が別のことに拘っている以上に拘りますので、ということで以上をもって終わりたいと思います。

(山里昌輝議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで11番山里昌輝議員の質問を終わります。

休憩します。(午前12時15分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午後1時28分)

1番棚原哲也議員の発言を許します。

(棚原哲也議員登壇)

○ 1番 棚原哲也議員

こんにちは、年度末の12月定例会ということで、私の方からは5件質問いたします。

まずはじめに、農業の生産拡大及び流通課題の支援要請に対しての進行状況を伺いたい。久米島産紅芋は他の産地と比較して高品質で市場や量販店からの評価も高く、同年出荷と増量の要望があり、消費者に良品質の甘藷を供給し生産量の増加と農家所得の向上の為、次の早期整備の要望があるが年次的整備計画を伺いたい。

(1) 甘藷が良品質のまま貯蔵できるような

冷蔵庫。

(2) 収穫が重労働となっている要因を、掘取機等の持ち回り使用によって緩和できるため、機械の導入を検討してもらいたい。

(3) 出荷時にフェリーの貨物積載場所の温度が高く、甘藷の品質が劣化することから、フェリー積載用コンテナの導入。

(4) 植え付け前の圃場の肥料等の同時注入機の導入。

次に、2番目、島内の公園等の整備及び遊具等の安全点検について。

(1) 現在、遊具が設置されている銭田森林公園、ふれあい公園、ダルマ山公園等の保全点検や遊具の安全点検及び破損個所の補修はなされているか。

(2) イーフビーチ公共駐車場の角に設置されている、旧N T Tの公衆電話が設置されていた赤瓦の東屋が、長年の塩害等で支柱が劣化し崩落の可能性があるため、事故が起きる前に撤去する必要があると思うが、早急に対応する考えはないか伺いたい。

(3) タイ原池排水溝の東から宇根原までのアスファルト舗装された農道が、土砂崩れや倒木等で通行不可能な状態で放置され、途中のタイ原池の湖畔には、登武那覇公園整備事業で整備された東屋も含めた小公園もあるが、長年、放置された状況にある道路については、宇根原、タイ原地区を縦断する道路として必要性が高く、再整備の必要があるが、公園については維持管理の面から必要ないと思う。今後どう取り組んでいくか方針を伺いたい。

次に、3点目でございます。産業振興課は農林水産課、商工観光課に再分課したほうがいいのか。

平成23年4月より、旧農林水産課と商工観光課が統合し、発足した産業振興課について伺いたい。町の行政改革の一環として二課を統合したと思われるが、一次産業である農林水産、二、三次産業である商工観光等とは関連する部分もあると思うが、専門分野の相違点が多く、農林水産、商工観光の振興発展の為には再度分課し、専門分野に精通した課にした方がいいのではないか。

4番目でございます。奥武島西海岸の砂洲の移動及びイーフビーチの砂の移動について県と連携して潮流の調査費の早期確保を。

昨年9月での一般質問で奥武島西海岸及びイーフビーチの海岸の保全の問題を提起しましたところ、調査費については多額の費用がかかるが、次年度以降調査メニューがないか一括交付金でメニューがつかれるか、議論するので強力に県に要請していくとの副町長の答弁であるが、調査費についての議論を継続して行っているか、またその目処付けはなされているか。

5番、高速船の導入についてでございます。高速船導入計画の進行状況はどの程度か伺いたい。よろしく申し上げます。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

1番棚原哲也議員の質問にお答えいたします。農業の生産拡大及び流通課題の支援要請に対しての進行状況なんです、甘藷用の冷蔵庫整備につきましては、JAの集出荷場内に平成26年度予算で検討をしております。堀機及び肥料等の同時注入機につきましては、平成25年度補正予算で1件予定をしております。

す。農家から要望がありましたら、導入できるよう支援したいと考えております。

積載用コンテナにつきましては、輸送の実態と調整にについて調査検討を行いたいと考えております。

次、島内の公園等の整備及び遊具等の安全点検についてですが、トイレ清掃班が定期的に点検をして修理、撤去についての報告がございます。修理、撤去につきましては、職員及び環境美化作業班にて対応しております。

旧NTTの公衆電話が設置されていた赤瓦の東屋ですが、これにつきましては調査をして、撤去する方向で進めてまいりたいと思います。

タイ原排水溝の側の道路につきましては、倒木等が危険性があるということで、封鎖をしておりましたが、今後、危険性がないか調査のうえ県及び関係課と調整をしてまいりたいと思います。

産業振興課、農林水産課と商工観光課に分課した方がいいのではないかと質問ですが、これにつきましては組織機構改革の一環として簡素で効率的な組織とすることや課の規模等を基本に関連する課の統合を行ってまいりました。その後の問題点や課題等を検証しながら、今後、組織機構改革が必要であれば取り組んでまいりたいと思います。

奥武島の砂洲とイーフビーチの砂の移動についてですが、一括交付金の特別枠で事業採択を検討してまいりましたが、砂の投入だけという事業化は困難であるとの結果になりました。今後イーフ帯海岸のあり方について専門家の意見を聞きながら砂浜保全等について、検討していきたいと考えております。

高速船の導入についてですが、高速船導入

については、フェリー久米島の引退時期を目処にこれまで勉強会を実施してまいりました。確実な導入を図るためにも就航時期を明確にする必要があることから事業者も加えた高速船導入検討会を年内にも発足する予定で準備を進めてまいります。

(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

1 番 棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

ただいまの答弁につきまして、再質問を行います。農業の生産拡大及び流通課題の支援要請についての進行状況についてでございます。1 番目の冷蔵庫は26年度予算で検討しているとあるが、あくまでも検討なのか、これは26年度予算で整備するという事ではないか伺いたします。

2 番目に、堀機及び肥料等の同時注入機について、25年度補正で1 件予定しているとあるが、堀木及び同時注入機各々1 件なのか、また農家から要望があれば導入できるよう支援したいとしているが、26年度事業で導入することも可能か伺いたします。

3 番目にフェリー積載用コンテナの導入については、J A久米島支店及び農家から品質劣化を防ぐため、導入の要望があり、また同コンテナについては、漁業の活じめ冷凍クルマエビの輸送にも併用できるため、早期導入に向けてJ A及びJ A部と調整する必要があると思うが、担当課の答弁をお願いいたします。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

まず再質問の1 点目の平成26年度の検討状

況なんです、これにつきましては、J A集出荷場のセンターから入って、今、左側に今野菜用の冷蔵庫がございます。その側の南の壁から北の壁まで全て冷蔵庫にする予定です。今、予算要求をしているところであります。これについては、財源は一括交付金を予定しておりますので、あと県との調整を経て、最終的な予算として確定ということになります。

それから補正予算で、今予定をしておりますこの堀機等については、トラクターと堀機等々も含めた1 式を予定しておりますが、最終的に申請者の予算の負担もあって、同時注入機まで可能かどうかというのは、またそこまでは詰めがいておりません。基本的には1 人分の1 式ということで補正予算には計上をしてあります。

それから冷蔵用のフェリーのコンテナの件ですが、これについては、甘藷の冷蔵庫については、出荷までのある程度の長期間保存するという事を目的に設置するものなんです、一旦、市場に出荷するとなると、今は通常温で置いて販売されているのが実情です。そこに冷蔵コンテナを使うということは輸送コストが非常に高く付くということでございますので、輸送コストを高く払ってでも使う必要があるのかどうか、そこで専門家や現場の皆さんの意見を聞いて、対応していきたいと考えております。それから活じめの物との併用なんです、これ併用できるかどうかというのはちょっとはつきり現段階で把握していません。たぶん併用は難しいんじゃないかと思っておりますが、それもまた漁協のご意見、農業関係者のご意見も聞いて、今後この必要性があるかどうか、それを調査検討し

てまいります。

○ 議長 喜久里猛

1 番 棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

ただいま堀機及び肥料等の注入機、これは25年度補正で1件予定しているということなんです。他にも農家から要望があれば導入できるように検討したいという答弁でございますが、これからあと、JAまたは芋生産農家が5団体ほどになってますので、JA以外の団体等々からも要望があれば26年度の予算で導入可能かどうか、お伺いしたいと思います。合わせて答弁がありました活じめ冷凍クルマエビとの併用、これはフェリー車両甲板、車を積む所に、鮮魚、それから農産物等も積み込みますので、車両甲板が非常に温度が上がるといことで、JAの方からも4時間かけて沖縄本島まで運んだ場合に物が非常に劣化すると、漁協の方からはせっかく昨年、活じめのクルマエビの出荷体制、これも瞬間冷凍それから真空パック等の設備を入れても業者の方に引き渡した時点で非常に物が劣化してクルマエビの頭部の方が黒くなって商品化できないという意見等もありまして、この温度調整をすれば甘藷、芋が少ない場合にはエビも一緒に運ぶとか、そういう調整ができるんじゃないかなと、そういう思いがありまして、ただいまの質問いたしました。漁協、それから農協との調整、今後やっていけるかどうかお伺いしたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

まず甘藷の方ですが、JA以外の団体につきましても事前相談をいただければ、これは

一定の条件、5戸以上の農家が集まるということ、あとは一定の面積があって、しっかりとした生産計画、販売計画があれば、今現在、沖縄県特定地域経営対策支援事業の補助金がございますので、それを活用してやることは可能です。

ただいきなり、即時年度内というのはちょっと厳しいです。県も予算編成のために2年前から各市町村の要望調査を聞いて、それを集計して予算を組んでいきますので、26年度に入って、すぐ26年度というのは、非常に厳しいところがあると思っています。ただ場合によっては予定していた市町村がキャンセルが出た場合、前もってしっかりした生産計画と、その販売計画を作っておけば滑り込みでできることもありますので、既に相談も受けていますが、できるだけそういう早くできる体制は作っていきたくて考えております。

それからエビの活じめのコンテナですが、24年度事業で、その瞬間凍結機を入れてあります。今年度の分で養殖場内の保管庫を造りますので、どうしてもまたエビの場合は冷凍用のコンテナが必要になってきます。これは順次整備していきたくて思っていますが、ただ併用というのは非常に難しではないかと考えております。

エビの場合はキロ4千円とか、5千円とかあるいは7千円非常に高価なものです。容積もそんなにとりませんので、冷凍コンテナを使って輸送コストとしては、そうたいした負担はないということになります。芋はあれだけの大量の物を冷蔵庫に入れて運ぶとなると相当のコストがかかります。キロ180円の世界ですから、それを使って輸送コストを負担して農家が出荷するかどうかという問題も

含めて、それは現場の方と、あとまたそういった流通の専門家がいますので、そういったご意見を聞いて考えていきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

1 番 棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

併用は非常に厳しいということなんです、現在の久米島航路の久米商船さん、ニュー久米島については、この冷凍、冷蔵の電源差し込みが整備されていないと。フェリー琉球については、電源が準備されているということで、1 隻しかコンテナ積載ができないということで、併用ではどうかという、そういうことがありまして、ただいま、質問しましたが、これについてはまだ J A と J F、両方と調整よろしくおほしいたいと思っております。

次に、2 点目の公園等の整備、遊具等の安全点検について、1 番目に修理、撤去について職員及び環境美化作業班で対応しているが、点検はどの程度の定期的に行っているのか。

2 番目、ふれあい公園やダルマ山公園に設置されていた丸球で移動する遊具が撤去されているが、普及する予定はないか。

3 番目、銭田森林公園の同様の遊具についても滑りが悪く、使用時に頭や顔の上に細かいアルミ片が落ちてくるのが確認されている。それとローラ滑り台のリングが劣化し、壊れている箇所も確認されている。事故が起きる前に修理する必要があると思うが、対応をおほしいたい。

4 番目、遊具の安全使用のための看板も経年劣化により読めなくなっており、台風等で飛ばされたままになってあるものも確認でき

ました。公園利用者が安全に事故のないように利用できるよう、特に子ども達の目線にたった安全点検及び補修をお願いしたいと思っております。ご意見おほしいたします。

○ 議長 喜久里猛

佐久田等環境保全課長。

○ 環境保全課長 佐久田等

ただいまの質問にお答えします。点検につきましては月 1 回の割合で点検して報告が来るようになっております。3 公園とも、やはり一番修理等々が必要なのは、今おっしゃった丸球の、それに乗って滑る遊具、それが一番やはり故障の大きいもので、中にはこの丸い球がなかったり、ロープから切れていたり、そして上のローラーが劣化して大分危険なところもございまして、指示しているのは、その上のローラーを取りあえずネジを外して、全て潤滑油等々で滑りをよくしてから再度使えるかの指示はしております。そして滑り台のローラーにつきましては、我々も最近滑ったことがございませんでしたので、それもサイド指示して点検し、修理が必要な箇所は指示していきたいと思っております。

安全使用につきましては、再度 3 箇所とも看板製作をして安全使用について再度看板を設置して対応していきたいと考えております。

○ 議長 喜久里猛

1 番 棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

次、担当が変わると思っておりますので、これ 5 番目なんです、イーフ駐車場の東屋については調査をして撤去するとしているが、独自で N T T に確認したところ、自社の所有ではないとの回答がありましたので、すぐに撤去

する考えはないか、お伺いいたします。

○ 議長 喜久里猛

桃原秀雄総務課長。

○ 総務課長 桃原秀雄

ただいま、棚原議員から一般質問の通告を受けまして、当時の旧N T Tの職員にいろいろ聞き取りをしました。ご指摘の東屋は当時、久米島局の開局20周年記念事業ということでN T Tさんの方が設置したということで、障害者でも使用できて車イスでも使用できるといふことで設置されたと聞いております。

職員は旧仲里の時に、村に移管したと思えますがということでしたので、このへんも再度N T Tさんの方に確認して、早急に対応して撤去する方向で進めてまいりたいと思えます。

○ 議長 喜久里猛

1番棚原哲也議員。

○ 1番 棚原哲也議員

この件につきましては、産業振興課長、それから建設課長も現場も確認されていると思えますが屋根の方はまだまだ十分持つと思えますが4本の柱がもうひび割れがひどくて何時崩れるかわからない状態にあると、下の方で子ども達がよく遊んだりしますので、事故が起きるとまた大変なことになると思えますので、早急に撤去できるようにお願いしたいと思えます。

次に、タイ原地区及び宇根原を縦断する必要性の高い道路であり、早急の復旧が必要であるので、取り組みを迅速に行うことを要望すると。これはタイ原地区の東側の道路の復旧ですがこれについて答弁よろしく願います。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正建設課長。

○ 建設課長 真栄平建正

お答えします。タイ原地区のご指摘の農道につきましては、当初タイ原池の儀間側総合開発の中で、その区域内に入って埋まるということで、当初、倒木等があったんですが、それをそのままの状態にしてあったんですが、今回、タイ原池の整備がなくなったということで、倒木の撤去、そして一部土砂の撤去早急に進めていきたいというふうを考えております。

○ 議長 喜久里猛

1番棚原哲也議員。

○ 1番 棚原哲也議員

この件につきましても、県と調整して早めに道路が使用できるように取り組んでほしいと思えます。よろしく願います。

次に、産業振興課の農林水産課と商工観光課の再分課についてでございます。

答弁で組織機構改革の一環で簡素で効率的な組織にするまた課の希望等を基本に関連する課の統合を行ってきた、その後の問題点や課題を検証し、今後、取り組み組織機構改革が必要であれば取り組んでいきたいとしているが、ただいまの答弁のように簡素で効率的な組織になっているか。

例えば簡素でと答弁されておりますが、統合前の両課の職員数と現在の産業振興課の職員数の人数等についても職員の数の限度等の簡素化されているのか、課の規模は統合前と同じではないかお伺いいたします。

○ 議長 喜久里猛

桃原秀雄総務課長。

○ 総務課長 桃原秀雄

ただいまの質問にお答えします。簡素で効

率的な組織ということですので、行政の仕事は課を各単位として、指揮命令系統がありますので、どうしても縦割り、行政運営となります。課の数が多すぎると横の連携をとるのがまた難しくなることや、同じ目的また類似の目的をもった事務をまとめることによって関連する情報等々の共有することが行政目的は達成しやすくなるということでもあります。

ご指摘のとおり前の農林水産課と商工観光課を統合して1つの課になしたんですが、課の数としては全体的には今のところ変わっておりません。というのは行政改革推進室が3カ年という期限で立ち上げましたので、課の数は変わっておりません。

一般的に課の規模というのは、だいたい10名前後ぐらいを今考えております。10名以上になりますと補佐制を敷いて課長のサポートとか、職員の管理というかたちで今進めているところであります。

○ 議長 喜久里猛

1 番 棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

関連する件なんですけど、今年の6月の定例議会で観光振興条例も策定されており、観光協会長も兼務されておられた副町長の答弁でも、観光は本町の基幹産業であり観光産業の振興なくして町の発展はあり得ないと発言され、また産業振興課長も観光振興計画の策定委員会を作って5年ぐらいで計画を作ることが適当だと答弁されていますが、農業漁業についても、本町の重要な基幹産業であり、統合して2年半が経過しているが、町内経済団体会議としても細分化し、各々の分野に精通した職員を育成すべしとの意見で一致し、町に対し、連盟で要請をすることになっており

ます。農業、漁業と商工観光課では幅が広く、統合したことで各業界及び町民への付託に答えることが難しいのではないかと、担当課長の答弁をお願いいたします。

○ 議長 喜久里猛

桃原秀雄総務課長。

○ 総務課長 桃原秀雄

先ほども答弁しましたが、産業振興課が平成23年度にできてから庁議等々で意見交換をしながら、この産業振興課の中に、スポーツイベント業務等があっては観光的なものにはあまりそぐわないということで、それを環境保全課の方に移管しまして、産業振興課の観光に従事ということで今やっております。

また先ほど、経済団体の方から要請をしたということがありますので、職員は町民のために仕事をしているわけですから、そういった町民、そして経済団体の方から要望等があれば、再度そのへんは検討して、課の再編なりを進めていく方向もあると思いますので、それも検討していきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

1 番 棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

では次に、奥武島西海岸の砂洲の移動及びイーフビーチの砂の移動についての調査費の確保についてでございます。答弁の中で一括交付金の特別枠での事業化は困難であり、今後専門家の意見を聞きながら、砂浜保全を検討したいとしているが、この専門家としてどういう方々を想定されているのか、お伺いしたいと思います。

また同地区は、河川区域でもあり、また漁港区域内でもあります。奥武島西部の浸食や船の航路への砂の堆積等顕著な環境変化があ

り、県と調整し、農水省及び国交省と他の省庁での調査費確保ができると思うが、早期に取り組む考えはないか、お伺いいたします。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正建設課長。

○ 建設課長 真栄平建正

専門家につきましては、現在コンサルタント24日に、そういった潮流調査も専門としている業者がありますので、その設計の方とお会いする予定であります。もしそういった潮流調査等において必要であれば、琉大の教授、先生もお願いできるということで了解をいただいております。

事業の導入につきましては、今航路の浚渫と併せて漁港課の方に、漁業組合も併せて一緒に要望を出しているところであります。砂の移動につきましては、今後、専門家の方からの意見を聞いて、長期的な潮流調査も必要なのかどうか、どういった方法が考えられるのか、参考にしながら今後進めていきたいというふうに考えております。

○ 議長 喜久里猛

1 番 棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

次に、高速船の導入についてでございます。現下の航空路線の状況を見ると修学旅行や団体旅行等への対応ができず、観光業に大きなダメージを与えているため、大量輸送や来島者の旅費価格の軽減等で来島者を増やし、島の活性化を図るため、船種導入時期を早期に決定する必要があると思うが、過去2回の勉強会では造船会社のプレゼンと資料での確認のみであり、現に就航している船の視察等が必要だと思うが、どう考えるかお伺いいたします。また就航しているフェリーと、高速船

導入の担当課が別の課となっており、これはフェリーの担当課が産業振興課、高速船導入についてはプロジェクトとなっているが、この両方を同じ課で担当することはできないのかお伺いいたします。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

高速船導入については、勉強会も含めていろいろ検討してきているところはプロジェクト推進室なんですけど、フェリーの運行、航路補助は産業振興課で担っています。プロジェクト推進室としては、高速船どういった船種にするか、それも含めていろいろある程度のところまではプロジェクト推進室長がやっぱり担うべきだと考えておりますが、その後の航路の補助の活用とか、導入にかかる経費等については、産業振興課と連携して役割分担はしていきたいと考えています。

○ 議長 喜久里猛

1 番 棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

ただいまの質問に対してなんですが、将来的には、船舶関係、船の運行については、どちらかの課、1課にまとめて事業運営等々なされていくと船種選定とか、導入までの間は2課別々でやった方がいいということでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

導入まではプロジェクト推進室で担って、あと導入後の航路運用に関しては、産業振興課というかたちで進めてまいりたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

1 番 棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

先ほど再質問の中で、これ2回の勉強会2月、5月とやってきたんですが、私も資料を持っているんですが、高速船が国内で運行しているのが隻数的に多いのが新潟・佐渡、それから福岡・韓国等々、北海道でも使われていますが、そういう国内の運行している場所または香港では30隻ぐらいの高速船がマカオそれから各離島運航されていると、船種選定とか、そういうものについては実際運行しているものも試乗するなり、その地域へ赴いて情報収集なりしないと、これ早めに導入するということが進まないんじゃないかと思いますが、そのへんについては視察関係については、どういうふうに考えていますでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

国内の高速船の導入地域、棚原議員から説明があったとおり離島を抱える県はかなり高速船を運航しているところもございます。直近で言いますと、今、佐渡の方が外国のオーストラリアの高速船なんですけど、今、導入に向けていろいろ事業が進んでいるようです。時期等については先方にいろいろ確認しないといけないんですが、最新の船を導入検討している佐渡の航路をぜひ施設対象に入れて検討していきたいと考えています

○ 議長 喜久里猛

1 番 棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

最後に町長にちょっと確認したいと思いま

すが、答弁の中で、高速船導入、当初は久米商船があまり乗り気ではなかったとそういうこともありまして、勉強会には入ってもらっていませんでした。島内のメンバーだけで勉強会立ち上げていましたが、年内にはこの導入検討会を立ち上げたいということの答弁がありましたけど、来る3月いっぱいにはこの事業社も含めた検討会これ検討会を立ち上げるからには、委嘱状の交付をして検討会からの答申をいつ頃までにやってもらおうと、そういうことまでやらないと全然前に進まないと思いますが、どう考えていらっしゃるかお伺いしたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

高速船の導入については、これまでいろいろな課題があって、これからもまたクリアしなければいけない課題がたくさんありますが、その中でやっぱり検討会を立ち上げてやるということ、これまでは具体的になかなか進捗状況が捕まらなかったというのは、やっぱり運行する久米商船さんがなかなかやっぱり積極的じゃなかったということが一番大きなことで、今後、久米商船さんも非常に乗り気になってきておりますので、これを機会に再度、具体的に進むように取り組んでまいりたいというふうに思います。

○ 議長 喜久里猛

1 番 棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

以上で私の質問を終わります。ありがとうございました。

(棚原哲也議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで1番棚原哲也議員の一般質問を終わります。

次に、8番島袋完英議員の発言を許します。

(島袋完英議員登壇)

○ 8番 島袋完英議員

それでは、通告書に従って4件の質問をいたします。

1点目、文化協会、それから民俗芸能保存会等への事務局職員の配置の要請であります。町長は25年度の施政方針で、初めてなんです。文化面のコメントを出しているのは。教育行政の中に文化行政の充実を掲げています。そして、会あるごとに文化の発信は大事だとコメントしております。両組織とも活動が年々充実し、活発になっていきました。活動が活発になればなるほど事務局の業務が増えて、ボランティア、現在みたいなボランティアではこなせない状況になっています。4回目を迎えた古典民謡大会とか、また新しく作っております新規の現代版組踊も立ち上げていますが、それでも良いことだと思いますが、既存の文化活動、それから民俗芸能の保存、継承はもっと重要だと考えております。そこで、この4事業を含めた事務局を1人配置してもらいたいというふうなことです。

2点目に、具志川村当時に行われた下水道工事についてであります。これは地域関係者の要望がありまして取り上げました。

字西銘989番地地区なんです、下水道を繋ぎたくても家屋より繋ぎ口が高く接続できないというふうな所になっています。これはその当時の設計ミスなのか、施工ミスなのかをお伺いします。

地域の人は早く接続したいというふうな要望をしておりますので、改良工事を入れて早

めに接続させるべきだと思うが見解を伺います。

3番目に、久米島版お見合い大作戦の設定についてであります。TV番組で放映された、お見合い番組は大変好評のようでした。その後、すぐに巷に町民から400万円もの予算をつぎ込んでいるらしいということで、そのぐらいの予算をつぎ込むんだったら、どうして島内でもそういう催し物を入れてくれないかと、そんなにたくさんの予算じゃなくてもいいから、まず出会いの場所、そういうものを企画して島内の男女を集めているいろいろやってほしいけどという要望がありますので、その要望についての考えをお聞きします。

それから具志川改善センター、具志川農村環境改善センターの改修工事をされたようですが、その改修の費用はいくらかかったか。それから冠婚・祝祭の実績はどうなっているのかそれとそれだけつい込んだ効果についてどう判断しているか、以上お願いします。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

8番島袋議員の文化協会民俗芸能保存会の事務局職員の配置についてお答えいたします。久米島古典民謡大会は島内外から参加を募って実施される大会、現代版組踊は子ども達を対象にした事業で趣味、生涯学習、地域の伝統を発表する文化協会民族芸能保存会の事業とは性質が異なりますので、これまで同様の形態で活動をお願い申し上げます。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

8番島袋完英議員の質問にお答えいたしま

す。具志川村当時の下水道工事について、現状確認しましたところ、ご指摘のとおり、宅地枘が宅地の浄化槽より高いため接続不可となっております。原因につきましては調査を行いました。特定することができませんでした。改良工事の件ですが、現在、実施設計の見積をお願いしており、工事概要等ができあがった後、事業導入ができるか調整していきたいと考えております。

テレビで放映されました久米島の花嫁の件ですが、お見合い大作戦のカップルの成立については今後の推移を見守る必要がありますが、広報効果の面では大成功だったと考えております。

島内での実施については、これまで類似のイベントを実施してもなかなか人が集まらないのが実態でした。簡単ではないと思いますが、関係者の気運が盛り上がれば可能ではないかというふうに考えております。

改善センターの改修後の運営実績等ですが、改修費用は1億68万7千650円です。観光・祝祭等の実績は平成22年から25年で19件です。施設の整備による費用対効果については数値化はできませんが、整備後は披露宴や生年祝い等を行うことのできる施設の提供ができる状態にあります。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

それでは再質問させていただきます。教育長の答弁が、私は3回ぐらい取り上げていると思うんですが、今回は良い返事が貰えると思っていたんですが、まったく同じ回答しか帰ってきておりませんので、再度お伺いします。おっしゃるとおり皆さんが行っている歌

大会と組踊とか、それは言うとおりの、説明のとおりだと思えますよ。しかし文化協会、民族芸能保存会も、それにも劣らず、ずっと継承してせっかく立ち上げているものですから、ずっと継承していくためには、やはり安定した事務局というのを置かないと何時立ち消えになるかわからないというような状況にまで今なつて来つつあるわけですよ。これ何が問題かといいますと一番はやっぱり手当ですよ、事務局を引き受けるという手当。例えば13、14、15でタイムスホールで久米島フェアがありました。14、15は芸能の演出やりました。これもそのために1年間かけているわけですよ、準備を。去年の12月にこの話ができて、それから毎月役員会もって予算の面とか、そういうのもあって、やっと14、15大盛況に終わりましたが、これもやはりその裏で事務局が相当苦勞しているわけですよ。ですからどうしても、あの盛況で島でも第3回の発表会をやりました。これも大盛況でした。そういうものをずっと続けるためには、しっかりした事務局、そしてそれなりの手当の方も貰えるような状況でないと、私たち、私は関係しているもんですから、強く言えないところが多いわけです。仕事に対して。ですから教育委員会の中のものとは違うと思うんですけど、どうしても、今回は、良い返事をいただきたいということで、もし、これに書いてあるのは正社員じゃなくてもいいわけですよ。正社員じゃなくて、今使っている臨時の職員で、そういうのも回せるんだったら、それも一緒にできないかと思っているんですが、どうですか。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

これまで民族芸能保存会につきましては、私も顧問という役柄で参加させておりますが、本当にこれまでにつきましては各地域の方々、役員の方々のご尽力は大変だったということを感じます。そしてこれまでの発表についても地域の発表会、これはこれまで生まれた伝統芸能の掘り起こし、そして地域の活性化ということもありました。去った土日につきましては、沖縄本島につきましても、成功裏に終わったということも、私も初日行きましたが、2日目は見ることはできませんでしたが大変な舞台だったというお話も聞いております。久米島町の活性化は、ひいては地域の活性化、地域の活性化が久米島町の活性化ということもございます。ただ私たち教育委員会の方につきましても年間スケジュールの中で大変あっぴあっぴしているような状況があります。来る土日につきましても県芸大移動講座、それから27日については県の芸術公演会がございまして、教育委員会、独自についても大変な業務を抱えているような状況がございしますので、そのへん業務体制の見直しも今後図りながら、どういったところから職員としての配置ができるのか、全職員が可能なのか、それもいろいろ調整を図っていきたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

教育長は人事権はありませんから仕方ないんですが、あらためて町長にお伺いします。町長も自分は3月までに終わりますからということで逃げないようにしてください。次の町長になる人に聞こえるように引き継ぎがで

きるようなことで答弁お願いします。町長もやっぱり同じ考えなのか、お伺いしたいんですよ。どうしてもこれ臨時職員に、これを当ててできるような状況につくれないんですか、どうですか。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

まず民族芸能保存会、あるいは文化協会についても各自治体、それぞれボランティアでやっているというのが実情なんですね。それでそこに職員を付けるとか、あるいは臨時職員を貼り付けて報酬をあげるとかということ自体、我々、今、行革の中で職員数が減ってきております。それで教育委員会からも人数を増やしてくれという要望はございますが、なかなかそうもいかない状況の中で、そこらへんはぜひ理解してもらって、バックアップできる分は我々、一生懸命バックアップしますので、どうかそれをご理解いただきたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

やっぱり南部とか中部、北部そういう大きな協会でも、もちろん町長がおっしゃるようにボランティアのような感じでやっています。これはしかし団体が多いんで、特に南部も那覇もそうなんです。会員が多くて部も多いんです、何部何部といってね。それみんな会費制なんで、会費があつて、また補助ももらっているわけですよ。ですから会費がたくさん集まっているから、その分、職員がおけるわけで、向こうではちゃんと職員をおいてやっていますね、事務局。それはやっぱり補

助金とそれから会費プラスして、それだけの余裕があるもんですから。しかし、久米島町の場合は、その部員が少ない文化協会においてはですね。部員も少ないし、それから民族芸能保存会については、民族保存会は会費は取っていないんですよ、また取れないんですよ。演芸やるのに自分からお金まで出してみたいな感じになって、結局は捕れない状況、文化協会でも実際会費があるもんで、それでなかなか勧誘しない状況もあるみたいなんです。そういうことで、ところが事務局は仕事が多いということで、なかなか。であれば町長がそうだったら何かで、そういう解消できるような方法を、例えば予算を助成金を増額するとか、そういうのも考えていますか。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

事務局に関してはできるだけ教育委員会の方で生涯学習の担当がおりますので、それを通じて調整等をして、中の細かい部分は、文化協会の皆さんにやってもらおうと我々ができるのは、例えば一つの大きい事業をやって、それを講演会をやるとか、そのためにバックアップしましょうとか、そういうことはできるのですが、それが人の報酬に変わるという事業はなかなか難しいということも、ぜひご理解いただきたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

理解はあまりしてませんが、わかりました。しかし、これはずっと要望しますよ、続けてね。次、新年度も新年度に向けてだから良い機会だということで、私は、良い返事もらい

たかったんですが、そういうことでしたらしかたないんですが、しかし、設置できるように、次の新年度に向けて皆さん検討していただきたいと思います。

次に、下水道の件をお伺いします。これは私も現地行って見ました。話聞いているだけではどうもそんなことはないけどなど、あれは相当深く2mぐらい下かな掘られているもんですから、そこに繋がればできるんじゃないですかと言ったらそんなもんじゃないと、行ってみたら案の定、接続口の上の所まで水がもう溜まっていますね。一度か何回かわかりませんが、溢れたときもあるらしいです。そこから溢れて屋敷に入ってきている状態、これは今に始まったものではないと、この本人は6年ぐらい前から水道課に掛け合って、どうかしてくれというふうなことをやっているらしんですよ。ところがその当時の担当者達は来てみてから家の排水、トイレとか流しの排水を上げれば繋がりますよと言ったということなんですね。しかしあれ30cm上げてははけないですよ。30cm上げたらもう天井がつくぐらいでトイレとか炊事場が、ですからどうしてそういう工事になっているのか、ちょっと理解でいなかったんですね。

そのあと水道課長とも話したんですが、水道課長も現場見ているみたいで、相当な金がかかりそうだということなんですが、じゃあ金がかかるからずっと6年間も放置してきたのかということなんです。その地域の人に言わせると、繋がりたいのに繋がさない、けど盛んにFM等では下水等の接続お願いしますと言っていますFMができてから、そういうのも結局その地域の人に言わせれば笑っているわけですよ。繋がりたいところは繋がさない

で、一生懸命ラジオで皆さん下水道の接続お願いします言っている事態がわからないというふうなことです。

この中で、予算の方がありますが、これは調整していきたいと考えていますとなっていますが、ぜひやるということは言えないんですか。

○ 議長 喜久里猛

津波実上下水道課長。

○ 上下水道課長 津波実

ただいまのご質問なんですけど、見積をコンサルタントにお願いしているところです。実際ば一っと概算で、その方々にだいたい数字をもらった時点では、約工事費に約1千万円近く、そして測量設計に約500万円近くいくんじゃないかということです。ですから合計で約1千500万ですね、これだけかかりますので、事業導入じゃないと非常に厳しいんじゃないのかなと思っています。今、事業導入ができるかどうか、県の方と調整しているところで、ちょっと厳しいんじゃないのかなと言っているんですけど、できる方法はないか、いろいろ模索しているところです。

もし仮に事業導入できない場合、単独でできるかどうかということになった場合に、この地区につきまして、事業認定変更も出てきますので、そういった部分も含めて、実際できるかどうか、非常に難しいところありますので、できるということは非常に厳しいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

1千500万といたらやっぱり、けっこう高額予算になると思うんですけど、しかしいずれ

にしても繋がらないとだめだと思うんですよ。どうしてそういう工事をやったのかもぜんぜんわかりませんが、あれは下の方からもってこない、はけない状況なんです。最初からそれわかっていたはずなんですけど、どうしてああいう設計になったのか。

これについては町長も本人から要請を受けましたよね。もう誠意見せて、やりますという返事してくださいよ。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

ただいま、課長から申しましたとおり、ウン千万近くかかるということで本当に果たして、この事業として導入していいものかどうか、あるいはもっと他に方法はないかどうか、これちょっと調整してみます。よろしくお願ひします。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

とにかくもう、あなた3月までですから、頑張ってください。

次に、お見合い大作戦ですが、これは私もテレビを見ました。島のピーアールなどに効果があったと思うんですが、やはりよくあれだけの青年たちがテレビの前に出てくれたなど島にもいろんなユニークな勇気のある青年達もたくさんいるんだなど、あらためて感激もしました。

しかし、まだたくさんいますね独身が、男女とも。これをどういうふうにして、くっつけていくというのが、これ私たち全部で知恵を絞ってやらないといけないと思います。少子化の解消対策にもいいと思います。400万

円ぐらいの話なんです、これから1組でも結婚までこぎ着ければ、別に400万円は高いもんじゃないというふうなことになると思うんですが、ただ島の宣伝だけで終わってしまったらまた残念だし、ですからいままで、これ類似の企画をやったみたいですが、なかなか上手くいかなかったというようなことで、もっと例えば青年団にしろ、それから役場の職員の知恵ももっと出させてほしいと思うんです。これは3月に、私が定住促進だとか、後継者育成とかの中での質問で、何か対策、若者を残す対策とかそういうのありますかと言ったら、産業振興課長は今のところ考えていませんという返事でしたよね。

しかし、皆さんが一番弱いのは、弱いというんですか、私はずっと感じているんですが、具志川村時分からも、自分たちの発想がなく、他所から声をかけられたら特にテレビ局とか、ヤマトの方から声をかけられたら、これに乗っかるのが非常に多いですよ、はっきり言って。ですからそれもいいんですが、もっと各課毎に職員にもっとアイデアを出させてくださいよ。どういう企画、どんなものについてアイデアを募集しようかみたいな、そういうふうにして職員たちのいろんなのが出てくると思うんです。そういうのを生かして、やってもいいんじゃないかと思うんです。

これは産業振興課が中心になると思うんですけど、あらためて島内で次年度26年度に向けてそういう企画もやるかどうか。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課 仲村渠一男

今回の久米島の花嫁大作戦につきましては

マスコミの力が非常に大きかったものです。財源につきましては、一括交付金を活用して行いましたが、この一括交付金を使う理屈についてもやはりマスコミを使って、久米島をピーアールすることによって、観光に誘致に繋げていくという、そういうスキームのもので内閣府の承認を得てやっています。そのノウハウについても、やっぱり全国版の放送であるということが非常に大きな強みで、全国からあれだけの人数を集めて、これだけの成果をだしたことだと思っております。意外に簡単にやっているようですが、細かい非常な気遣いやノウハウの蓄積がございます。直ぐ町でやれといわれたって、それは非常に難しいところがあると思います。今回のイベントにおいても島内の女性も参加OKなんです。別に制限はございません。ただ島内からは1人も応募がなかったということは残念でございますが、そういう結果でございます。

広報という面においては、やっぱりマスコミはマスコミ非常に大きな力を持っていますので、それをいかに利用していくかということが今後とも必要だと思っております。町にそういったノウハウは残念ながらございませんので、今後ともマスコミを有効に使った広報を推進していきたいと思っております。

地元でできないかということにつきましては、ちらほら、今回のことを踏まえて商工会の皆さんや島でやろうじゃないかというような声も出てきていますので、そこらあたりのいろんな団体の盛り上がり、地域の協力ができれば、それは町おこし、村おこしの観点から産業振興課としてもバックアップはしていきたいと考えております。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

よろしくお願いします。芋ねーちゃん募集とか、これから芋の時代、また芋の時代が来るんです久米島ですから、芋ねーちゃん募集とか、いろいろこういうのも考えてみたらどうかと思います。ちょっとこれ余談ですが、私プロジェクト推進室にもちょっと言いたい。さっきも言いました本土とか、そういうところから他所から声かけられたらすぐやるとかと言ったんですけど、これはやっぱり私一人ではないんですよ。

いろんな深層水の温度差発電の時にも、何かイベントがありましたよね。太鼓の何とか、あれも私もそう思ったんですけど、別の人も言うんですよ。何であえて久米島で。久米島に外国からもいろんな招待者来るのに、久米島の芸能を出さないで、何か訳のわからない意味のわからない何かユタか何かわからないけ、そういうのが出てきてやっていましたね。そういう批判もあるわけですよ。

ですからまず、地元のをまず宣伝しないと他所から来た場合には、ハワイから来た時でもハワイフラもいんですよ。しかしハワイから来た人達は、もうフラは見飽きているんです。もうフラなるぐらい。ですからここ来たらあれも良いんですけど、良いんですけど、また地元のも添えてやるような、そういう、これも余談になりましたが、お願いします。

最後にセンターの活用なんですけど、数字見てわかるんですけど、一番聞きたいのは、結婚式だとか成年祝いだとか、そういうものをできるだけここでしてもらおうということをやったと思うんですけど、実際にかかったのは

厨房ですよ。調理場にあれだけ金をかけていますよ。ところが調理場はほとんど使われていませんよね。今まで実際、そこで調理したこと何回ありますか。

○ 議長 喜久里猛

保久村学教育課長。

○ 教育課長 保久村学

調理場につきましては、平成22年から活用されています。それにつきましては、先ほど数字であげましたようにトゥシビーとか、結婚式それから忘年会等、あとは仲泊の敬老会等の各自で料理したり、ホテルのケータリングを利用して使われている数字が20件でございます。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

私も議会に出てから何回か見っていますが、調理場で調理しているのはほとんどないんじゃないかなと思うんですよ。ただいままでやっているんでしたら、別に、ああいう設備がなくてもできたわけですよ。ガスコンロも冷蔵庫もあったわけですから、ところがあの設備は今センターにされている設備は、一流ホテル、アイランドとか、イーブビーチホテルあれぐらいの設備されていますよね。冷蔵庫から冷凍庫から食器洗い機から、結局はケータリングで持って来るわけですから、結婚式など見てたら作って持ってきているんですよ。ホテルで。材料持って来てそこで作っていないんですよ。作って持って来て暖めて出している状況、それしかできないと思うんですよ。コックがやる場合に。ですから今後、その調理場をこれ壊すわけにはいかないと思うんですけど、もっと生かす。それから照明音響

にしろ変えたと思うんですが、その専門家がいない。ですから役場の職員をお願いしたり、いろいろやってはいるんですが、その専門家がなくて、要するに宝の持ち腐れみたいになっているんですよ。そこなんか対策協議したことがありますか。

○ 議長 喜久里猛

保久村学教育課長。

○ 教育課長 保久村学

音響につきましては、今管理人の方で主に見えています。以前に各課の方から職員で勉強会をしようということでやったんですが、なかなか各課とも業務が忙しい中できない状態できています。今おっしゃるように音響等につきましては、やっぱり専門の方がいた方がいろいろ動きやすいかとは考えています。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

これも本当にもったいないなと思うんです。設備が先になって使う人がいないような状況で、これから職員の中でもいいと思うんですが、音響、照明そういう研修に行かせられる場所があれば、派遣して研修してよりいい会場づくりができるような方向で頑張っていたらいいと思います。以上終わります。

(島袋完英議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで8番島袋完英議員の一般質問を終わります。

次に3番平良義徳議員の発言を許します。

(平良義徳議員登壇)

○ 3番 平良義徳議員

3番平良です。2つほどご質問いたします。まず1点目に、観光産業について、平成25

年度の町長の施政方針の中で、観光産業の振興も取り上げられています。本年度の事業名、事業計画を示していただきたいと思います。

2点目に「あじま一館」の運営について、平成19年に島の学校あじま一館のオープン以来、NPO法人が指定管理者として運営してきましたが、5年が経過し、計画が終了となりました。体験型施設としての今後、どのような活用方法をしていくのか説明を求めます。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

3番平良義徳議員の質問にお答えいたします。観光産業について、平成25年度一括交付金事業として久米島観光振興促進事業、久米島観光誘客促進事業、久米島観光ITプロモーション事業、ヤジャーガマ整備事業となっております。その他の事業として観光振興事業、体験交流型観光商品開発促進事業、観光関連施設の管理運営事業等があります。

あじま一館の運営についてですが、あじま一館の管理は平成18年度からNPO法人が運営してまいりましたが、修学旅行の激減により経営が苦しくなり、平成23年度末で指定管理を辞退いたしました。平成24年度の8月からは観光協会が指定管理者となっております。今年度から民泊事業の導入等により、修学旅行の再誘致に取り組んでいますので、あじま一館は、今後とも修学旅行生を中心とした体験交流の拠点として活用してまいります。

(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

3番平良義徳議員。

○ 3番 平良義徳議員

先ほど、この事業に関しては、資料を渡されましたちょっと字が小さくて、あとで参考にしたいと思います。まず久米島観光振興促進事業、それから久米島観光誘客促進事業の内容、どのような効果が得られるか、また期待できるか、ご説明をお願いします。

それから観光ITプロモーション事業とヤジャーガマ整備の進捗状況どうなっているかお聞きしたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課 仲村渠一男

まずお手元の答弁書に書いてある事業名は大括り事業になっています。その大括りの事業の中にお配りしました別紙で配りました事業名称、これは個別の事業名称になっております。まず後で配った資料の方がわかりやすいかと思しますので、それでご説明をしたいと思います。

1番目の観光誘客促進事業については、主に広報活動を兼ねて、例えば全国から今回旅行者を24社、旅行社の商品を作る担当者ですね、それを24名ほど久米島に呼びまして、実際、現地のいろんな観光施設、商品を見て回って、そこでその後、意見交換をして、じゃあ次どういった観光商品を作ればいいのかということ意見を交換しております。

2番目の期間限定キャンペーンにつきましては、観光客が落ち込む時期、10月以降であるとか、夏場に入る直前の5、6とか、観光客が落ち込む時期に特典、例えば食事であるとかあるいはおみやげ品でもよろしいですし、それ1点のクーポン券を発行して、それをチラシの中に載つけて、事前に旅行社を通

して配布することによって、観光商品に魅力をつけて、これを誘客に繋げていくというのが期間限定キャンペーンでございます。

あとの広報推進事業というのは、一般的なこれは広報、観光大使とか、あるいは観光の日のイベントとか、そういったものでございます。

あとシュガーライド、ハワイアンフェスティバル、桜祭りと、それぞれのオープンウォータースイムレース、それぞれのイベントを実施することによって誘客に繋げていくというものであります。

7番目の修学旅行対策事業につきましては平成15年度に8千名を超えていた修学旅行が今年度で500名まで激減しておりますので、その対策として、今年度については県内の修学旅行4校ぐらいになりますかね、一定の助成をして久米島に費用の軽減を図って久米島に来ていただくということをやっております。

それから、一番下の9番目の観光調査事業なんですけど、これは今年度、観光振興条例を制定いたしましたので、その条例に基づいて今後、向こう5年間の久米島観光振興のあり方どうすればいいかという調査を入れて、その観光振興計画を作成していくためのものがあります。

2枚目を開けていただいて、久米島観光ITプロモーション事業、これについては現在、久米島に来る観光客の約25%がインターネット上から申し込みをしてきております。そういう意味において、例えば「じゃらん」のホームページに久米島の広告を出して、そこから誘導するような仕組み、それを作って今回初めて行いました。これが久米島観光ITプ

ロモーション事業です。

そしてヤジャーガマ整備事業なんですが、これは皆様ご承知のとおりヤジャーガマを駐車場の整備と、そこに下りていく階段の補修、そして中の方に若干水が溜まる所がありますので、そういった所は、木道でちょっと手を加えるといったようなかたちで整備をしております。

次に、赤土流出防止対策事業、これは直接観光かと言えば必ずしもそうではないところがありますが、畑からの赤土の流出を防ぐために、流出しやすい畑の周辺にベチバーを植えていくということで町で苗畑を借りてベチバーを植栽して民間団体等に、それを提供するという事業を行っております。

13番は観光協会の補助金、これは通常これまでずっとあった補助金で観光協会の一般的な活動費に当てられるものです。

それから、一番最後の体験交流型観光商品開発販売促進事業ですが、これは先ほど修学旅行が激減しているというところがございませうが、その激減の要因の1つとして、やっぱり今の修学旅行の求めるニーズは民泊事業にあるというところがございませうので、その民泊事業の導入を含めた、そしてその後の質問に出てきます。あじま一館も修学旅行が激減して経営が苦しくなったということがございませうので、あじま一館の有効活用も含めた修学旅行の取り組みを図るために、町の方から観光協会に委託をして体験交流型観光商品開発販売促進事業、というかたちで委託して実施します。

下の2つが一括交付金以外の財源を充てております。下の2つ以外のものは全て一括交付金を充てて、今総額1億1千850万円という

ことになっていますが、今年度の観光振興に取り組んでいきたいと思っております。

今年度、どのぐらいの効果がでるかということなんですが、堅調に、前期については推移しています3.5、6%ぐらい前年比増えておりまして、最終的に8万3千人から8万6千人から場合によっては、9万人に近づくなと思っております。

○ 議長 喜久里猛

3番平良義徳議員。

○ 3番 平良義徳議員

今、あじま一館の話もありましたが、また後で質問したいと思っております。久米島観光誘客促進事業、これは観光協会の方にも事業計画案としてありますが、これと類似している面も大分あるんですが、例えばハワイアンフェスティバルとか、シュガーライドとか、オープンウォーター大会とか、この観光協会の計画書に載っていない以外は、町の方が事業をやるということですか。そしてその事業計画がある観光協会には委託をしているということなんですかね。ちょっとお聞きしたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課 仲村渠一男

後で配りました資料の中の9番、観光調査事業と10番の久米島観光ITプロモーション事業、11番のヤジャーガマ整備事業、12番の赤土流出防止対策事業は町の直営で、それ以外のものは全て観光協会への補助または委託となっております。

○ 議長 喜久里猛

3番平良義徳議員。

○ 3番 平良義徳議員

良く理解できました。観光協会の大きな事業計画としては、直接、観光協会と県で沖縄県離島活性化促進事業であります。それについては沖縄県の委託事業になります。それから久米島観光ITプロモーション事業というのは直接町の方がやられていますね。その他の答弁内容の中に、その他の事業としては観光振興事業とありますが、これは先ほどの事業と概ね似ているところがあるような気がしますが、どういった事業なのかお聞きします。

促進事業、振興事業、促進が入っていないだけなんですよね。そのへん説明をお願いします。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 振興課長 仲村渠一男

先ほど冒頭で説明しましたこの答弁書に載っている事業は、この資料の事業をいくつか束ねた大括りの事業名称となっています。従って答弁書に書いてある久米島観光振興促進事業、観光誘客促進事業というのは、全てこの中に入っています。

その他の観光関連施設の関連運営事業というのがございます。これについては例えば、あじま一館であるとか、イーブ情報プラザであるとか、奥武島のキャンプ場とフィッシャリーナといったような観光関連施設の管理運営事業になっております。

○ 議長 喜久里猛

3番平良義徳議員。

○ 3番 平良義徳議員

今の答弁、私、質問しなかったんですが、あじま一館、イーブ情報プラザあたりだろうと思って、これ答弁良いかんと思って一応言うつもりだったんですが答弁いただいてあり

がありがとうございます。

それから文言が長いんですが、体験交流型観光商品開発販売促進事業とあります。これはプロジェクトチームが10月18日に発足して産業振興課長もメンバーに加わっています。これ新聞等に掲載されていますね。その記事の内容では民泊事業、体験交流型観光商品の開発改良を強化するとしていますが、どのようなことなのかちょっと伺います。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課 仲村渠一男

それでは、ただいまの一番最後の体験交流型観光商品販売開発促進事業については、これにつきましては、県の起業創造型緊急雇用対策事業これは震災関連の緊急雇用の事業でございますが、今それを活用して3名の職員を新たに採用して取り組んでおります。具体的には民泊事業の導入を目指すということでございます。これについては28年度まで3年かけて4千人まで修学旅行を本土の方から誘客しようという計画で、今、進めております。民泊についてはだいたい目標として50戸ぐらゐを確保して、民泊事業を導入するということでやっています。また民泊を導入するときもホテルとの競合がございますので、基本的には久米島に2泊するんであれば1泊は民泊、1泊はホテルに泊らせるようなかたちで、これを標準のスタイルとして導入をしていきたいと思っています。

それ以外にも先ほどもご説明いたしました、島の学校の体験プログラムがありますので、その新たな改良や、その販売促進も図っていきます。そういったことも含めて、それ以外の新たな体験型の観光商品、僕らは一

般的な着地型の観光商品と言われていますが、そういった新たな商品も開発して販売していくとそういうことになります。

○ 議長 喜久里猛

3番平良義徳議員。

○ 3番 平良義徳議員

民泊事業に関しては、確か単独事業で公募型事業である県の方からの委託ですよ。これは今スタートしたばかりなんですけど、結果は要するに身になるのは2年後で、27年度と聞いていますが、その後は単年度だとするとその後は継続してやるにはやはり計画をしていかないと意味がないと思うんですよ。単年度で終わってしまうと。そういうこれから27年終わって28年、9年という計画はあるかどうか。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課 仲村渠一男

おっしゃるとおり、民泊事業は取り組んで実際お客さんが入ってくるのは2年後、約2年半の後になりますので、それまでは行政の支援が必要になってきます。1年目は県の緊急雇用を使ってやります。2年目からは一括交付金か、あるいは町単独の緊急雇用の基金がございまして、そのいずれかを使ってやっていきたいと考えています。少なくとも収入が入ってくる2年半後までは行政の支援が必要だろうと考えております。

○ 議長 喜久里猛

3番平良義徳議員。

○ 3番 平良義徳議員

民泊事業に関しては、糸満、宮古、八重山、今帰仁、南城市、今は伊江島の方が活発に行っているようですが、他の市町村も多々ある

と思いますが、本町ではちょっと行動が遅すぎると思うんですよ。というのは、確かにさっきも言ったように単年度でやると、そのあとちょっと事業を持ってくるのに、たいへんなことだろうと思うんですよ。それは前々からやっていたら、もう今頃から受け入れができたと思うんですよ。いろんな事業に対しても、よその所は早く新事業を立ち上げて、それがまた下火になる頃また新しいものをメニューを作ると、そのへんも計画して作らないと他の類似市町村の真似をしてやるよりは、早くやった方がこういった事業はですね、まだまだ新しい事業がいっぱいあると思うんですよ。そのへんも地域との懇談会をもって、いい意見、案がでると思いますので、ぜひこれもやっていただきたいと思います。

それから、何カ年前まではホームページとか本土の方の高校生、修学旅行生が何百名と来て、受け入れ家庭が断るぐらい来ったんですよ。この2、3年前からぼつりと来なくなって、その辺は背景にどういった要因があるのか、そのへんまた観光協会会長でありました副町長の方に答弁お願いしたいと思います。よくご存じだと思いますので。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課 仲村渠一男

先ほどお話しがあったとおり、今、民泊事業も全県的に広がってっております。黙っていても観光客が来る石垣島でさえも最近民泊事業にやっぱり取り組んできております。それだけ民泊事業についても地域間競争が非常に激しくなっているということも言えると思います。ですから久米島町は後発組になりますので、やっぱり独自の特徴を出して、売

り出していかないとなかなか来てくれないだろうと思っております。

例えば伊江島が5万人を超えています。5万人という一人約1万円使いますので5億円産業まで発達しているわけですね。地域が大変活発化していますが、これをそのまま久米島町がそのままできるかといったらこれは全く無理です。交通アクセスの問題、1回では300人、30分で船で運べる。それを1日に4回、1,200人の輸送力を持っている伊江島と1日1便ジェット150人しか運べない久米島町とやっぱり条件的に非常に違いますので、そのようなかたちでは非常に難しい。

今あちこち調査しているところですが、やっぱり参考になるのが宮古島かなと思っております。宮古島も2つの団体が初めていまして、トータルでも両方で2万人から3万人ぐらい入っておりますので、やはり独自の特徴ブランド性を出していかないと全く同じ事をやっていたんでは、その民泊の地域間競争に勝てない、誘客できないということになりますので、やっぱりそういった特徴的なことをだして、久米島独自の部分を打ち出して、やっついていかないといけないだろうと思ってます。それと合わせて、なぜ提案が出てこなかったかということは、常々民泊のニーズというのも変化していくわけです。今年と同じ事を、じゃあ5年後も同じ事をやっていたらいかというところではありませんので、やっぱりそこらあたりはアンテナをしっかりと張って、学校の情報、あるいは旅行社の情報、しっかりと取り込んで、このニーズに対応できるような商品を提供していくことが、重要だと考えらおります。

○ 議長 喜久里猛

3番平良義徳議員。

○ 3番 平良義徳議員

今、民泊事業に関しては、ちょっと難しい面もあろうかと思えます。例えば、簡易宿泊場の許可も衛生面ですね、それから防火設備とか、そのへんの民泊事業を立ち上げている以上は、やはり受入先とか訪問して、こういった事ができるかどうか、土台作りからやっとおかないと、2年後、修学旅行生が来て迷惑かからないような、土台作りは、やっていただきたいと思えます。今後せっかく促進チームを立ち上げていますので、発足していますので、それに期待をしたいと思えます。

次に、10月11日、町がニューツーリズム推進協議会を設立して、会長が町長になっています。これも新聞等に掲載されています。それに関して記事の内容ではわからない部分もありますので、詳細に説明いただきたいと思えます。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課 仲村渠一男

ニューツーリズム推進協議会について説明をしたいと思えます。ニューツーリズムそのものが10年一昔ですが、10年前までは都市地区の方で、旅行社が観光団体客を集めて観光バスに乗って観光施設を見て回る観光が主流だったわけで、最近では着地型の観光、あるいは体験交流型の観光というような表現でやりますが、地元が観光のいろんな商品メニューを考えて、地元から情報を発信して呼び込む、そういう観光になりつつあります。あと旅行のスタイルも団体旅行客中心から個人客中心に移りつつあるわけで、その背景については一昔前で安い旅費で観光しようと思った

ら、団体旅行に申し込むしかなかったんですね。これは航空運賃の自由化がされていない時です。現在はインターネットで個人でも格安の航空券が手に入りますので、あえて旅行社にお願いして申し込んで、みんな同じ事を大名行列みたいに同じようなかたちで回る必要はないわけです。自分が見たいとこだけ見ればいいわけです。そういうようなかたちで、団体客から個人客へ、あるいはまた観光商品そのものも旅行社が作るんじゃなくて、地元で作って、それを情報を発信していく、着地型の観光商品に変わってきておりますので、それを地元で、いろんな観光商品を作るのを体験交流型のものを作る。それを町としてバックアップしていこうということです。

それは農業の体験交流がありますし、漁業の体験交流があります。あるいはものづくり商工の体験交流があります。あるいは産業として、たとえばプロジェクトが進めている海洋温度差発電、これも産業視察、これも観光なんですね。産業視察、例えば農水が今回サトウキビのいろんな会議をやりましたが、あれも1つのイベントで200名呼ぶことができるわけです。

これも1つの視察研修という1つの観光の1タイプですので、そういったも諸々のものを町全体としてバックアップして誘致していきましょうというのが、ニューツーリズム推進協議会ですね。その中に修学旅行もありますし、産業視察研修もありますし、あと企業のいろんな研修もあります。あとは一般の漁業体験であるとか、釣り、あるいはスポーツツーリズムも含めたかたちでトータル的な取り組みをやっていこうというのがニューツーリズム推進協議会の趣旨であります。

○ 議長 喜久里猛

3番平良義徳議員。

○ 3番 平良義徳議員

詳細な説明でございました。今後も、この協議会も継続していただきたいと思います。

前に戻りますが、答弁内容に漏れた事業はないのか、例えば話題になったアレルギー対応事業、それから高齢者障害者対応事業が前ありましたが、今はどのようになっているかお聞きします。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課 仲村渠一男

個別の事業としては現在ありませんが、観光協会の一般経費の中で対応はしております。例えばこの中でございます一番最後の観光協会補助金、これ1千万円ございますが、観光推進対策事業とか、あるいは個別の観光広報推進事業といったような事業の中で、その経費の部分について対応をしております。

○ 議長 喜久里猛

3番平良義徳議員。

○ 3番 平良義徳議員

以上でございますが、次に、あじま一館の運営についてなんですが、この答弁のとおり、今後とも修学旅行生を中心とした体験交流の拠点として活用してまいりますということなんですが、それでいいと思いますが、施設の今後、有効活用をぜひやってもらいたいと思います。というのは前、指定管理しているときは全部引越しましたよね。例えば織体験とか、機材なんかも撤去したと思いますが、ぜひ今後とも、この民泊事業をやるとしたらやはり体験型ですので、いろんな体験をさせるためには、こういった機材が必要だと思い

ます。このへんもご準備の方をしていただければ良いかなと思っています。

最後になりますが、町長は名言で、これまで観光ピーアール不足や高速船の導入が実現できない状況であります現在ですね。それからジェット便も減便されています。いろいろと陳情に行かれたようなんですが、こういった陳情に行く場合は、町長1人2人で行くよりは、やはり議会も一緒に行って圧力かけるぐらいやらないといけないと思うんですよ。これからの事業に関しても、そのへんをちょっと課題としていただきたいと思います。

結果としては、団体客も少なくなってきたように、これも要因の1つとしてあげられます。先ほど同僚議員からも高速船の導入の件がありましたが、これ早めに結論を出していただきたいと思います。こういった土台がないと例えば、団体客連れてくるにはやはりジェット便また高速船、例えばの話、例えば100名で定員が90名とする仮に、あと10名は次の便からといいますと、これまた引率している方がいろいろと迷惑がかかるので、そういうためにも、やはりこういった土台作りがないと、他の事業観光事業もちょっと難しくなるんじゃないかなと、ぜひそのへんを勘案して、このジェット便の増便と高速船導入を早くやっていただきたいと思います。

またこれも最後になりますが「島たび助成」、那覇市の方が島たび事業として一部助成しています。いままでは4村の渡名喜、粟国、座間味、渡嘉敷だったんですが25年度からは久米島町もこのエリアに入っています。そのへん運賃の宿泊の一部を助成していますが、現状での入客数はどの程度か把握していましたら説明いただきたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課 仲村渠一男

那覇市の島たび助成の方ですが、大まかに大雑把に計算して800人ぐらいが助成を受けることができるような予算の措置になっています。これは船使う場合と飛行機使う場合かなり金額が違って人数が変わってくると思うんですが、取りあえず今、800人が対象になるということで、今現在、半分ぐらいしか使われていないような状況です。ちょっと出足が鈍いなと思って、特に何処に原因があるのかなということで、今町と施策検討をしているところです。約50%ぐらいということによりしくお願いします。

○ 議長 喜久里猛

3番平良義徳議員。

○ 3番 平良義徳議員

私も同感なんですが、規模は小さくてもその島を訪れて非常に満喫して良かったということで帰られても、またリピーターとして、また友人とか友達連れて来たりすることがあると思いますので、我々行政の皆さん、それからFM放送を聞いている町民の皆さん、那覇在住の知人、友人また親戚等がいらっしゃれば、ぜひ、応募するよう情報提供をされるよう、よろしく願い申し上げて私の質問を終わります。

(平良義徳議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで3番平良義徳議員の質問を終わります。

○ 議長 喜久里猛

暫し休憩します。(午後3時17分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。 (午後3時29分)

9番崎村明議員の発言を許します。

(崎村正明議員登壇)

○ 9番 崎村正明議員

9番崎村正明2点質問いたします。

1点目、学力向上に向けて今後の取り組みは。全国学力テストで、沖縄県は、全国最下位であるが、久米島町の小中学校の成績は県内でどの位置にあるか、学力向上に向け、今後の久米島町教育委員会の取り組みについて伺いたい。

2点目、久米島高校へ進学させる取り組みは。人口減少が続く中で、沖縄本島の高校を志望する子供達が毎年多くいますが、どのような状況か、過去10年間の推移と要因を伺いたい。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

(比嘉隆教育長登壇)

○ 教育課長 比嘉隆

9番崎村議員の学力向上について今後の取り組みについて、ご説明申し上げます。全国学習状況調査で久米島町の学力は、沖縄県平均以下、那覇地区平均以下となりますが、区市町村、何番目かは把握はできません。学力向上に向けては教職員の各種研修、小学校に支援を要する児童への支援員配置、漢字検定、英語検定の補助、小学校・中学校対象の塾を開設し補修事業等を行い学力向上に努めてまいります。

久米島高校へ進学させる取り組みにつきましては、久米島高校進学状況は、別紙をご覧ください。沖縄本島の高校に進学する要因は久米島高校に希望する学科がない。上を目指したい。スポーツ、学習したい等々となっております。

ります。

○ 議長 喜久里猛

9番崎村正明議員。

○ 9番 崎村正明議員

再質問は提言として聞いてください。久米島町の学力は沖縄県平均以下、那覇地区平均以下と答弁ありました。その原因は何か、解決策はどうか、多くの方は学校教師の取り組み強化も必要だと考えていますが、私はその解決策の1つとして、それぞれの保護者が、その責任等を自覚し役割を果たすことも大事だと思います。

夜型社会の悪影響を受け、睡眠不足で登校している子ども達が多く見られるようだが、睡眠不足の状態、学習しても学力が定着しないのは当然だと思います。子ども達が持っている力を発揮するためには、保護者がいかに生活環境を整えたかの差であると思います。親のあり方については、父母、その他、保護者は子の教育に第一義責任を有するものであって、生活のために必要な習慣を身に付けさせると共に、自立心を育成し、心身の調和の取れた発達を図るよう努めるものとする、平成18年保護者の責任や家庭の役割が法例に位置づけられています。

この世に生を受けた子が始めに接するのは親であり、その子は親を模範として成長し、生活基盤を形成していく、子どもに良い生活習慣と付けるのは親保護者であります。

学力が向上しない原因や問題行動の原因について、保護者の責任にあまり触れず学校や地域の責任だけを問うのはいたずらに事の本質を見誤ることにしかならないと思います。答弁内容の学力向上に向けての教職員の各種研修、小学校に支援する児童への支援配置、

漢字検定、英語検定の補助、小学校、中学生対象の塾を開設し、補習授業など継続しつつも教育基本法の趣旨を踏まえ、保護者の責任、家庭の役割について新たに問う必要があると思います。コメントがあれば教育長お願いいたします。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

教育基本法によりますと、子ども達の学習というのは、一時的には保護者にあります。そしてまた地域、家庭、学校側で連携をして子ども達の学習に取り組むということもまた教育基本法の中に位置づけられております。今、崎村議員の方からございましたが、私たち久米島町、そして沖縄県の学力これは全国最下位ということで、新聞等でこれまで報じられておりますけれども、やはりこれまでいろんなアンケート、そして各大学の専門チームの考察からしますと、沖縄の生活習慣そのものが夜型社会ということがあり、子ども達の深夜までの徘徊、そして先ほど指摘がありました子ども達の生活リズムの狂い、そういったところから子ども達の学力も落ちているんじゃないかという、そういった見方もされております。

私たちは毎年、子ども達の学力推進という集大成の位置づけで11月10日に久米島町学力推進実践発表会を開催しましたが、やはり関心のある保護者はいらっしゃるわけなんです、関心のない方は、これまでも来られておりません。崎村議員の方からもございましたが、まずはその家庭の保護者の皆さん方の意識もこれも足りないかなということがございます。これはスポーツには一生懸命なんです

が、沖縄本島へ遠征へ行っても応援に保護者がついて行かれます。しかし各学校の授業参観への保護者への授業参観というのは、日曜日に開催しても大分寂しいような状況にあり、それがひいては子ども達の学力、そして久米島町の学力にも影響があるのではないかとということがございます。

またこれと同様やはり学校の先生方の資質向上、これ研修等を開催して何回も何回も検証して、また資質向上の開催、また私たち行政として、子ども達への支援何ができるか、これにつきましては先ほど説明しましたいろいろ検定等、それから助成等もございますが、そういったところが総合的になってはじめて子ども達の学力に繋がるのではなかということでございます。

○ 議長 喜久里猛

9 番崎村正明議員。

○ 9 番 崎村正明議員

前向きな答弁ありがとうございます。その中で小、中学を対象に塾の開設状況どのようになっているかご答弁お願いできますか？

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

小学校、中学校を対象に塾を行っています。小学校は「ゆいまーる塾」ということで、小学校3年から6年生を対象に今12名の児童が塾に参加しています。中学校のおきましては中学校3年生を対象に3中学校で開催しております。これについては50名の生徒が塾に参加をしています。

○ 議長 喜久里猛

9 番崎村正明議員。

○ 9 番 崎村正明議員

中学校3年生が3中学校で50名ですよ。これ期間は、通年通してなのか、それとも事前の高校受験の対策なのかをご答弁お願いします。

○ 議長 教育課長

保久村学教育課長。

○ 教育課長 保久村学

本事業につきましては、県の一括交付金を活用した事業でありまして、24年度から実施しています。県の事業ということで8月から2月までの間で行っております。

○ 議長 喜久里猛

9番崎村正明議員。

○ 9番 崎村正明議員

次に、解決策2つ目として、これも提言として聞いてください。学力問題は学力の底上げを本腰を入れるべきだと思います。学力低下というのは、学力格差の拡大に問題があり、小学校でできても中学校でできなくなる子が多く、学力の2極化が激しく下位層を支える力が衰えていると思います。学力格差を縮め一人ひとりの生徒を伸ばす授業はどのようにするか、授業の工夫、改善が必要ではないかだと思います。

教育は多様な一人ひとりの生徒を相手にしているので、使用方法の多様化を図り一人ひとりを生かす教育を行うのは各々の生徒に応じた学習を実施することが重要だと思います。従来型の画一的な一斉授業ではなく、個々の能力や適正に応じた習熟度別指導を実践することによって、中位層はいまもなく習熟度の高い、あるいは低い生徒にも効率的な授業を実施することができると思います。

固定的な学級編成をして指導するだけではなく算数、数学や英語などの特定の教科につ

いて能力別、学力別、学級編成による指導実施した生徒に達成感を与え、生徒同士が互いに教え学び合うグループ学習などを取り入れてはどうか、コメントがありましたら教育長お願いします。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

今、学校におきまして一番先生方が懸念されているのが、子ども達の語彙力、これは普段のコミュニケーション、そして国語におけます読解力が一番課題だということの指摘がございます。午前中の一般質問の中にもございましたが、図書館建設、いま0歳児から大人までの本に親しむ環境が構築されていない現状もありコミュニケーションそのものも各家庭の中では失われつつあります。今の携帯電話。そして活字を使わない私たちの生活等も影響されているんじゃないかということがございます。まずは0歳児からの子どもへの読み聞かせ、そして幼児期、そして低学年における読書等、これがひいては子ども達の語彙力、読解力につながるではないかということがございます。各学校におきまして2極化があり学習についていけない子ども達が各学校の方に毎年増えているような状況がございます。私たち教育委員会も福祉課、あと公立病院病院の先生方、そして県の職員も交え、就学支援委員会という組織で立ち上げておりますが、その中でも気になる子ども達、学習が少し付いていけない子ども達が毎年多いような状況でございます。

そういったところで私たちが何ができるのかといいますと、やはり各クラスで先生方は全体一緒に学習するわけなんです、その子

に応じた支援というのがこれからも必要ではないかということがあり、学習支援の配置もやっております。

ただこれにつきましては、財政はあるけれどもやはりマンパワー的な要素が足りない部分がありますので、このへんいかに調整を図っていくかということが私たちの課題でもあります。先ほど議員の方からもございましたが、やはり習熟度別の学習がもっとも必要ではないかということがあり、これがひいては久米島町の2極化の解消に繋がるものと思います。

○ 議長 喜久里猛

9 番 崎村正明議員。

○ 9 番 崎村正明議員

前向きな回答ありがとうございます。

次に、移りたいと思います。教育長、再度またおそれいます。教育長が就任いたしまして、もう早8年ぐらいになると思うんですが、課題や今後の展望について5点ほどお伺いしたいんですが、ずらっと言ったら大丈夫だと思うんで、1点から最初に8年を振り返って1点目。

そして2点目学力向上の課題は何か。

次は、新たな事業は。

4点目、学力以外での重点施策は。

5点目、目標は。よろしく願いいたします。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

8年ということなんですが、まだ半年残っておりますので、できれば来年の6月ぐらいにできれば、なお良かったかなということがございますが、まずは、これまで振り返りま

して、私たち教育行政につきましては、学校教育、これが核となります。そして社会教育それから文化振興、また子ども達の健康を保つために学校給食センターがございますが、その中で一番、今、課題なのが学校教育でございます。

社会教育につきましては、先ほど文化協会、それから民族芸能保存会の皆様方が積極的に活躍されていますので、民族関係につきましては、子ども達への継承も図られているのではないかとございます。

それから博物館、文化振興なんです。博物館も一昨年より大分充実いたしまして、昨年度も観光客、入客数、博物館を訪れる入館数が多く、そしていろんな博物館におきましても企画展等を開催し、町民に好評を得ております。そういったことで、今、私が懸念しております学校教育につきましては、これまで学校間の浮き沈み、そして各学年それから男女間においても浮き沈みがあり、それが全体的にやはりまだ学力そのものが付いていないような状況があり、これも私たちの指導不足かなということが反省をしております。

次に学力向上の課題ということがございますが、それは先ほど崎村議員の方からも指摘がありました今の久米島町の環境なんです。これもやはり私たちは久米島町の夜型社会において、保護者が子ども達と接する時間がないのではないかとございます。

先ほどのコミュニケーション力、あと読解力等も話申しあげたんですが、やはり親子の会話が少ないということもあり、子ども達のしゃべる能力、そして試験における文章を読み解く能力が少し弱くなってきたかなという

ことがあり、これが学力向上の課題ということで、私は、その夜型社会、そして大人中心の世界になっているのではないかということをお願いしたいと思います。

3点目に、新たな事業ということなんですが、これは習熟度別の授業となりますと、どうしてもその子に応じた学習が必要となりますので、そのへんで支援員の配置、これは各学校に1人から2人の支援員を配置しておりますが、できれば各クラスに1人は支援員を配置して、その子に応じた学習ができれば、もっと子ども達の底辺の子ども達の学力がアップするのではないかということがありまして、そのへんで支援員の配置等、つきましては先ほど申しました図書館整備どうしても本に親しむ環境も、ぜひ必要かと思えます。それからいろいろ今、なかさと交流、佐賀市との交流、それから海外ホームステイ、ハワイとの交流がございますが、積極的に子ども達が外に出て自分の表現力コミュニケーション力を高めるような子ども達に育ててほしいなということがございます。

4点目に、学力以外での重点施策ということなんですが、今お話ししました子ども達が外に出て活躍できる場面を、ぜひ私たち小学校、中学校、高校で準備をしてあげたいと思えます。子ども達は社会へ出るために義務教育、そして高校で学習をします。社会に出るための準備期間ということがございますので、もっとしっかり準備期間を整えて、子ども達を社会に送り出せることができるということを考えております。

5点目に、目標ということなんですが、やはり私たちの義務というのは、教育とあと勤労と納税ということがございます。子ども達

が社会に出て、どれだけ通用するかというのが、これは久米島町の人材育成という1つの大きな目標がございますので、子ども達がしっかり社会に出て自分のプレゼン、そして自分の自己表現力、自己開示力が身に付けば学力はそこそこでも十分やっていけるんじゃないかということがございますが、ただ学力そのものが、まだそこにも至っていません。勉強それから体力面、そして道徳面、それが全て備わって社会人として活躍できるということがございますが、ただその面で少し学力面で、私たち久米島町としては、もっと久米島町、教育委員会、各学校の先生方も学力の面で、もう少し子ども達に力を付けてほしいということでございます。

○ 議長 喜久里猛

9 番 崎村正明議員。

○ 9 番 崎村正明議員

教育長の誠意ある課題や今後の展望を聞いて一安心しました。家庭教育をやれば学校教育もよくなると思えます。共に頑張りましょう。

次の質問に移りたいと思えます。再質問で久米島高校は今現在、生徒数の減少や園芸科廃止の危機などの課題に直面しております。久米島高校の今後のことについて考えてみて現幼稚園から現中学校3年生までの人数と島外受験27%で仮算出した人数、10年間の卒業年別人数の資料を教育委員会に作成してもらいました。皆さんの答弁書の裏側にたぶん付いていると思えます。

この資料によりますと現幼稚園生84名、小学校1年生68名、2年生91名、3年生77名、4年生87名、5年生78名、6年生94名、中学校1年生98名、2年生70名、3年生97名、島

外受験で27%で仮算した場合、一番気になるのは平成26年度入学予定の現中学2年になります。そして平成29年度入学予定の小学校5年生57名、さらに平成31年度入学予定の現小学校3年生56名、平成33年度入学予定の現小学校1年生が50名が久米島高校に入学することが想定されます。

我々、久米島高校の将来、我々島の将来を考えた場合、久米島高校の果たす役割は非常に重要だと考えております。我々の島の子ども達を島で育て、久米島高校に進学させるために特に役場職員、教職員もつと危機感をもってほしいと思いますね。常に関心を払うことが私は一番重要だと考えております。少子化、減少が続く中で沖縄本島の高校を志す子どもが多くいますが、ほとんど役場職員、教職員の子ども達だという話が聞こえます。果たして本当にこれでいいのか、島外流出を食い止める手だて対策はできないものなのか伺いたい。

また、先ほど同僚議員にパクられました。答弁内容の件ですが、再度お伺いいたします。答弁内容に久米島高校として沖縄本島の高校に進学する要因として久米島高校に希望する学科がない、上を目指したスポーツ、または学習したい等とのことですが、希望する学科がないのは理解できますが、上を目指すスポーツまたは学習したい等とあります。しかし今現在、久米島高校は国体選手や沖縄県代表として選ばれた生徒もいます。国公立大学に進学している生徒達もいます。久米島高校は下の高校ということなんですか。そのへん再度説明を求めます。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

これは先ほどもお話がございましたが、これはあくまでも子ども達のアンケートからの結果となっています。今、崎村議員の方から過去10年間の推移と要因を伺いたいというご質問がございましたので、その要因となりましたのはどうしても子ども達の考え、保護者の考えということがあり、昨年度取ったアンケートということで、ご理解をお願いいたします。

私の方で、島外進学という、これ15項目あるんですけど、久米島高校に希望の学科がない。視野を広げたい。レベルの高い高校を目指したい。取得したい資格がある。目指すものがある。勉強するため本島でいろいろな体験をしたい。文武両道できる学びたいことがある。部活をしに行く。野球がしたい。自分の力を十分に伸ばしたい。そういったがたちで子ども達の意見と、あと保護者の意見があって、その意見を集約したかたちでの今回の一般質問への答弁ということがございますので、これは教育委員会あと町長の考えではないということをご理解をお願いしたいということでございます。

○ 議長 喜久里猛

9番崎村正明議員。

○ 9番 崎村正明議員

最初に伺いたいことは、島外流失を食い止める対策はできないものかを伺いたい。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

これにつきましては、今、「久米島高校魅力化発展を考える会」の皆様方が、毎月1回、2月に2回、3回のペースで今開催をし、久米島高校魅力化に向けて、今、取り組んでお

ります。これまでの吹奏楽部への学資支援これは1つは久米島高校の吹奏楽の活性化ということがございます。そして先ほどのお話にありました陸上部の国体選手も久米島高校から出すことができました。町の方としても一生懸命いろんなかたちで支援をしております。そして久米島高校の魅力化ということがあり、沖縄本島そして島外から子ども達を受け入れて、もっと久米島高校の活性化に向けて取り組んでいるような状況がございますので、そのへん一歩ずつ久米島高校の学習環境いろんな環境をさらに向上し、また島外、県外からも子ども達がもっと来れるような、そういった体制を構築したいと考えております。

○ 議長 喜久里猛

9 番 崎村正明議員。

○ 9 番 崎村正明議員

教育長、私の質問の意味は全然理解できていないと思うんですが、どうして役場職員、教職員の子ども達が島外に出るかということなんです。その対策ということなんです。どういう実態なのかまで。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

その対策と申しましても、これは最終的には、保護者と子ども達がどういうふうにか考えるかということがございます。これ私たち教育委員会でも役場職員だからといって、役場職員に、じゃあ皆さんの子ども達は島外に出すなということ、私たちも言えるもんじゃありませんし、これは子ども達は大きな夢もあります。その夢を因るために久米島高校そして島外の高校の違いということがあり、子

ども達はそういった選択肢というのがございます。それは全て私たち教育行政だからということで、それを全て否定することにはいきませんので、そのへんもご理解をお願いします。

○ 議長 喜久里猛

9 番 崎村正明議員。

○ 9 番 崎村正明議員

教育長、本人が希望しているから、親が希望しているから、この問題というのは、これでストップしますよ。要は、やるべき事は親がいかに子ども説得して納得させるかが親の役目です。

果たして、この久米島を良くする考えを持っている人、久米島高校を考える会、この人間が子ども達が久米島、島外受験したら町民がどういった思いをしますか。そこなんですよ、私が言いたいことは。もともと久米島を愛するんであれば高校、島のことをもっと考えるべきですよ。

お互いは久米島をどう発展させるか、久米島高校をどう発展させるかという立場の人間の子どもが、久米島を離れて島外へ行くとすると町民は納得しません。親が子どもを納得させるべきなんですよ。この雰囲気づくりをしないと何時になっても、この問題は解決しません。私が本当に言いたいことは、勉強スポーツ等の能力を発揮する土台となる人間の根っこの部分、見守る必要のある時期に目に見えない成果で島外に進学させるという意識を皆さんで解決しないといけないですよ。町長、答弁をお願いします。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

先ほど島外の高校へ行くということありましたが、我々がやるべきことは、島外に行かないような魅力ある高校を作るのが我々の目的だと思うんですね。やはりそれぞれ、その家族にはやっぱり自分の夢子ども達にとっては夢があり、その家族にはその家族のやっぱりいろんな考え方があると思うんです。我々がやるべきことは高校を島の生徒達が全部入れるような魅力がある高校にするというのが、我々の目的だと思いますが、以上であります。

○ 議長 喜久里猛

9番崎村正明議員。

○ 9番 崎村正明議員

これで私の一般質問を終わります。

(崎村正明議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

9番崎村正明議員の一般質問を終わります。

次に7番喜久村等議員の発言を許します。

(喜久村等議員登壇)

○ 7番 喜久村等議員

7番喜久村等です。3点ほど質問いたします。まず1点目、久米島空港内に現金自動支払機の設置について、利用者の要望の声が多数あるが、町として金融機関への要請はできないか。

2点目、那覇発の航空便の変更が多い、町民からの苦情が出ているが、町としての対応はどういうふうにとるか。

3点目、防風林の植林と管理について、美崎地域一帯の防風林がほとんど枯れてしまっているが、植林する考えはないか。以上3点。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

(平良朝幸長町登壇)

○ 町長 平良朝幸

7番喜久村等議員の質問にお答えいたします。久米島空港内の自動現金支払機の設置についてですが、これにつきましては、空港ターミナルビルと調整の上、関係金融機関へ要請したいと思っております。

那覇発の航空便の変更が多いということですが、これにつきましては、航空便の安全な運行については、これまで度々JTAやRACに対して抗議や要請をしまいいりました。最近ではJTA220便那覇発17:20の遅延が多くなっています。その原因については天候不良や機材整備だということですが、公共交通機関として安定的な運行に務めるよう今後とも要請をしまいいります。

防風林の植林と管理について、再度、事業導入できないか沖縄県南部林業事務所へ要望していきたいと思っております。

(平良朝幸長町登壇)

○ 議長 喜久里猛

7番喜久村等議員。

○ 7番 喜久村等議員

自動現金支払機の設置についてなんですが、要請の時期はいつ頃になるのか、また金融機関への要請は何処の金融機関へ要請するのか。

○ 議長 喜久里猛

桃原秀雄総務課長。

○ 総務課長 桃原秀雄

ただいまの喜久村議員の質問にお答えいたします。以前にターミナルビルに郵便局のATMが設置されていたということで、やはり採算性とか、利用頻度が少ないということで撤退撤去された経緯がございます。

その後また琉球銀行さんの方にも要請はしましたが、なかなか琉球銀行さんも採算性の面から断られたということがございます。また喜久村議員から一般通告を受けまして、琉球銀行さん、そしてJ A沖縄久米島支店さんの方に電話問い合わせをしましたら、機材の設置等々、設備投資、そして年間の維持管理が厳しいものがあるということでありました。しかし利用者の要望が多々あるということでもありますので再度3カ所、琉銀さんそしてJ Aさん、そして郵便局の方に文書でもって要請は早めにやっていきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

7番喜久村等議員。

○ 7番 喜久村等議員

この件に関しては、早めに要請をお願いしたいと思っております。

次に、那覇航空便の変更が多いことについてなんですが、町長としての答弁にはこれまでに度々J T AやR A Cに対して抗議や要請をしてまいりました。ということなんですが、この度々、何回ぐらいの抗議要請をやられたんですか。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

一番最近で13日にジェット体制2便の維持と、あと直行便の9月までの延長の要請をしましたが、このとき口頭で欠航便のことについてもやっております。それ以外については4月から今まで3回はやっております。

○ 議長 喜久里猛

7番喜久村等議員。

○ 7番 喜久村等議員

3回では少なすぎると思うんですよ。久米

島便については、頻繁に変更があるのに対し、宮古、八重山便に対しては変更がほとんどない。久米島町はJ T AやR A Cに軽くみられているんじゃないかという感じが受けられる。今後このようなことがあって、もし発生した場合に、町長は、即町のトップとして以前の200%の気持ちを持って抗議に立っている気持ちはないのか、町長の考え方を。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

私も飛行機の遅延で、これまで度々遅れたり、重要な会議に出られなかったりということがございました。その遅れる度に電話で支店長に抗議したり、あるいは本社の専務に抗議したりしてはおります。

先ほど産業振興課長から答弁がありましたとおり金曜日も行ってきました。これはジェット便を2便体制を維持してくれということで口頭で今のままではとてもじゃないけど正常な運行はできないということで、それに対しても抗議をしてまいりました。

○ 議長 喜久里猛

7番喜久村等議員。

○ 7番 喜久村等議員

今後も継続して抗議や要請について頑張ってください。

次に、防風林の維持管理についてなんですが、美崎地域の一带の防風林、防潮林は何年か前に植林されたが、管理不十分でほとんどの木が雑草に覆われて枯れている。防風林、防潮林を植えても管理しないと育たないと思うが、その防風・防潮林がある程度の大きさになるまで管理事業の導入しないとだめだと思う。そこで久米島町保安林保育委託事業と

あるが、その内容とその導入ができないか。

○ 議長 喜久里猛

佐久田等環境保全課長。

○ 環境保全課長 佐久田等

ただいまの質問にお答えします。美崎地区の保安林につきましては、昭和47年の5月15日に保安林に指定されまして50年、51年、元年、平成2年の4カ年で整備をされております。その後、再度平成15、16、17、18年の4カ年改良事業等も行っておりますが、ご指摘のとおり植林しても、その後の2カ年は保育の事業、県が入れておりますが、やはり十分な樹木の選定もできていなかったのか、十分な機能は果たしていない状況です。

昨日、保安林の会計検査がございまして、県の担当課に対しまして、町長が、直接、同地区の保安林の樹木の選定も、その地区にあったものを選定して、再度久米島町の保安林の事業の導入も要望いたしております。そのへんも含めまして、やはり事業導入後の管理、そのへんも県に十分要望していきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

7番喜久村等議員。

○ 7番 喜久村等議員

これは要望の仕方なんです、防風林の品種について植林されているこの、今、植えている木で、高木5mか6mぐらいの伸びる木その品種は現在、防風林として植えられているかどうか。

○ 議長 喜久里猛

佐久田等環境保全課長。

○ 環境保全課長 佐久田等

現在、同地区におきましては、そういう高木が見あたらない状況でした。モクマオもほ

とんど枯れて一部にはユウナの木が生い茂って、それが一部防風林として機能しているところもございます。再度全面にアダンを植えるのか、次にモクマオ等高木を植えてさらにその後にもっと強いそれらが生長するまでにできる樹木を考えながら要望はしていきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

7番喜久村等議員。

○ 7番 喜久村等議員

今、木の品種だけで、次は工法について、例として美崎保全の会が北真謝原のところで植林した場所があるんですよ。そこには海側に盛土して山のように2mから3mぐらいの山を造って、その上にアダンを植える。そして下の低い所には高木になる木、モクマオとかいろいろそういう木を植えて、その現場を視察してから要望した方がいんじゃないですか。

○ 議長 喜久里猛

佐久田等環境保全課長。

○ 環境保全課長 佐久田等

その現場も確認してきましたので、今後、林業事務所の職員が来たときも同地区と一緒に視察して、そういう工法もあるということで調整していきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

7番喜久村等議員。

○ 7番 喜久村等議員

防風林、防潮林の植林管理はたいへん大事なことですので、今後10年、20年後の農業を考えると今、防風林、防潮林を多く増やして、そして守っていかなければなりません。

そこで町として、毎年「防風林の日」を設定して、町民の皆さんに防風・防潮林の啓発

を行ってはどうか。

○ 議長 喜久里猛

佐久田等環境保全課長。

○ 環境保全課長 佐久田等

以前にも、そういう試みをやっておりますので、再度、また県南部林業事務所も巻き込んで、そういう取り組みができるか、また県南部林業事務所とも連携しながら取り組んでいきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

7番喜久村等議員。

○ 7番 喜久村等議員

これは毎年やった方がいいですよ。町民に認識を与えるために、町長の考え方をお伺いしたいので、ぜひ。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

防風林、防潮林というのはこれまで就任して以来ずっと毎年のように、県にお願いしてやってまいりました。ただ先ほど指摘がありましたとおり、やはり管理が行き届かないところとか、まず樹種の問題、いろいろ問題がございました。それでもやっぱり防風林を大事にするということを町民に啓蒙するということも非常に必要だと思っております。これからも先ほど課長がありましたように「防風林の日」あるいは「防潮林の日」というのを設定できれば県と一緒にやっていきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

7番喜久村等議員。

○ 7番 喜久村等議員

今後この防風林が育つような、そういう私たちでの養護の仕方をお願いしたいと思いま

す。以上で私の質問を終わります。

(喜久村等議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで7番喜久村等議員の一般質問を終わります。

休憩します。(午後4時11分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午後4時11分)

幸地猛委員から退席の要望がありましたので許可しました。

次に5番宇江原総清議員の発言を許します。

(宇江原総清議員登壇)

○ 5番 宇江原総清議員

私は3点質問をします。第1は鳥島射爆撃場の早期返還についてであります。最近、日本の国政情勢は特定秘密保護法や集団的自衛権問題で、いよいよ大政翼賛会で戦前回帰への足音が聞えてきます。国の専守防衛までは私は容認できるとしても、いよいよ戦争準備かとの感性にあります。島の人達20名の虐殺事件も忘れていると思われれます。このような情勢下で鳥島射爆撃場もこれから実弾演習が多くなるでしょう。町長、今年の9月の定例会で、次のとおり答弁をしております。

1つに、劣化ウラン弾は、低濃度の放射性物質であっても、放射性物質に変わりはないので、町民の健康状態に少しでも異常値が認められれば、国に要請したい。

2つ目は、劣化ウラン弾の未回収の一部は、砂の中に潜っているものもあると思われるので、引き続き環境調査をしたいという内容であります。

私はこの2点について、次の事を町長に伺います。

1点目について、本町の幼児等のガン発症を把握していますか。福島県のある自治体では、児童の遺伝子診断を実施している地域もありますが、本町では考えていないでしょうか。

2点目について、放射性物質のホットスポットが考えられること。また米軍の爆弾投下によって、劣化ウラン弾の誘爆も考えられます。そこで、劣化ウラン弾を封じ込めるために町内のテトラポットを、鳥島の海底から積み上げ、後は島の復元は考えていないか答弁をいただきたい。

第2は、コンクリート護岸の撤去と潮害防備保安林等の植栽についてであります。河川等も含まれます。海岸のコンクリート護岸は、台風時に潮を吹き上げ、塩害を発生させ、山や防潮林及び農作物等に甚大な被害をもたらします。また、一方では、土中から水とともにミネラル（鉄、亜鉛、カルシウム、マンガン等）や腐植土が海へ運ばれるのを阻害しています。ミネラルや腐植土は、海の藻場や干潟などを育成、保全する役割があります。事例では、2009年7月の10チャンネルであります。水中のプロ、渋谷正信氏が、志摩の海（三重県）等の復活作戦で次のことを言っております。コンクリート護岸によって遮断された、陸と海に異変が起きた。陸から海に運ばれるミネラルや腐植土、腐葉土が海へ流れなくなり、ウニやアワビ等がいなくなった。水中工事で、鉄分や腐植土を与えたら海藻が増え、ウニやアワビ等が再生したとのことであります。このことから砂浜のない厳しい海岸は、傾斜の石積みに盛土し、築山を造る。石の間の目地には、クサトベラ、モンパノキ、ハマシタン等を植栽する。ミネラルや腐植土等の保全はもちろんオカガニやオカヤドカリの生

息場所ともなります。町長はこの工法をどう考えるのか伺います。

第3は、仲里漁港の一文字の撤去とシールガチの改修についてであります。仲里漁港入口は少しの悪い天候で船が出られない、危いと漁師は嘆いています。一文字堤防が原因と言っております。また、御願崎のシールガチも崩れかけている部分があります。この事からも塩害を発生させている一文字を撤去し、そのコンクリートの魂を崩壊がはじまっているシールガチに沈め、崩壊防止にした方が良くと思うが、伺います。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

（平良朝幸町町登壇）

○ 町長 平良朝幸

5番宇江原総清議員の質問にお答えいたします。鳥島射爆撃場の早期返還、この中の本町の幼児等のガン発症を把握しているかという件ですが、これにつきましては、久米島町の小児慢性特定疾患の内、小児ガンの発症状況は町独自のデータはありませんが、南部福祉保健所によりますと、平成24年度は5件の報告があります。

また、児童の遺伝子診断につきましては、現在、沖縄県で実施している市町村はないと報告を受けております。久米島町においても、現時点では実施する計画はございません。

引き続き、テトラポットで島の復元についてですが、この件につきましては、現時点ではテトラポットの海底からの積み上げは考えておりません。また、防衛局は毎年島の現況調査等を行い、年1回町に報告することになっています。その中で、島の現状復元等について要請していきたいと考えております。

コンクリート護岸の撤去と潮害防備保安林等の植栽について、その中で石積工法についてですが、海の藻場の形成には陸地からの栄養分の供給が必要であるといわれており、石積護岸は護岸築堤前の自然に近い形で栄養分の供給を行なうため、また、オカガニ、オカヤドカリ等の生息、海と陸地の往来のためにも石積み護岸は有効な工法あると考えます。築山、植栽についてもオカヤドカリ等の生息、防潮の観点から有効な工法だと考えます。

仲里漁港の一文字の撤去、シールガチの改修についてですが、仲里漁港は県管理漁港であるため、町で判断することはできませんが、漁協の意向を把握し、県と調整をしてみたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

再質問します。まず1点目の第1の鳥島射爆撃場の早期返還についてであります、1点目について小児ガンの発症状況は南部福祉保健所の統計で平成24年度5件の報告があるということではあります、それは町の小児ということであるわけですね。

○ 議長 喜久里猛

山城保雄福祉課長。

○ 福祉課長 山城保雄

はい、町民であります。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

小児ガンの5件というのは1年度で多いとみるのか、少ないとみるのかということでもあります。また18年前の劣化ウラン弾が打ち込まれて以後、水痘症や小児ガンは何名、把握

されているか伺います。

○ 議長 喜久里猛

桃原秀雄総務課長。

○ 総務課長 桃原秀雄

現在、久米島の水痘症発症というのは現在久米島町では把握はされてはいません。また福祉課に問い合わせをしましたら、この実態はないということで報告は受けております。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

これは私も行動しますが、ぜひその実態というのは把握したいと、皆様方も積極的に把握していただきたく思います。児童の遺伝子診断については、町長は、現在、沖縄県で実施している市町村はないとして久米島町においても現時点で実施する計画はないという答弁をしております。その答弁からして、私は、他人事のようにしか聞こえておりません。アメリカ軍から劣化ウラン弾を打ち込まれたのは他の市町村ではありません。久米島町において劣化ウラン弾を打ち込まれたわけですよ。当時の琉大教授の矢ヶ崎克馬氏は、新聞やホームページでエアゾール化した劣化ウラン弾の放射能により、久米島はじめ慶良間諸島や沖縄本島も汚染されている可能性が高く、長期的にみれば原爆に劣らない環境汚染となる。また高濃度のウランが検出されたが、米側はその危険性を認めなかったと言っています。さらに劣化ウラン弾の場合、単発的な環境チェックで検出されるケースは低い、未回収の弾のことを考え、長期的な視点で考えればウランが腐食して土壌に溶け出し、草木や周辺海域に何らかの影響を与えないことは言えないと劣化ウラン弾に関する見解を述べ

ております。この見解からすれば、環境チェックが防衛局の単発的な調査ではいかに難しいかということが伺えます。また未回収の劣化ウラン弾が誘爆のみならず、腐食によっても環境に影響を与えるという。町長、矢ヶ崎克馬氏の環境汚染に関する見解をどう考えていますか。伺います。

○ 議長 喜久里猛

桃原秀雄総務課長。

○ 総務課長 桃原秀雄

先ほどの答弁で久米島町では、まだ診断を考えていませんということなのですが、やはり子ども達の乳児検診とか、小学校の検診とかそういった町民に関しては、健康診断等とそういった結果から現在のところ余り異常が見られないということで、現在のところはまだ検査は考えていないということでありませう。先ほど矢ヶ崎克馬先生ですか、その考えも、やはり劣化ウラン弾に対する考え方にもいろいろありまして、そのへんもまた私たちが再度いろいろ研究調査してまいりたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

これは危機管理意識の問題ですよ。町長、イラクでは湾岸戦争、イラク戦争の前と後の小児ガン発生状況は戦争の後の方が4倍も高くなっているのにアメリカ軍はフセイン政権が使った化学兵器の残留物であると、そういうことで劣化ウラン弾使用と小児ガンとの因果関係を否定しています。

また、アメリカ軍は、広島、長崎の原爆投下では、原爆による放射能と原爆病、ガンとの因果関係を否定していると。そして挙句の

果てに1946年の年が開けてから、厚生大臣通達でこう言うております。「広島、長崎の原爆被害はアメリカ軍の機密あり、何人も被害の実態について見たこと、聞いたこと、知ったことを話したり、書いたり、絵にしたり、写真に撮ってはならない。違反した者は厳罰に処する。」と、こういう命令をしているわけです。現在でもアメリカは内部被爆を大方否定しているわけです。内部被爆ですよ。

本町の鳥島射爆撃場における劣化ウラン弾実射についても当時のアメリカ、アームストロング研究所の調査結果では鳥島周辺への放射能汚染はないと、こういうことで否定をしているわけですよ。このようにアメリカ軍は事故の不利益に関わる事柄は否認、否定をする。特に劣化ウラン弾による放射能の人体被害や環境汚染を認めていないのが実情であります。

日本政府も歴史的に見て隠蔽体質国家、アメリカの隷属の国家体質を持っていると私は思っております。こういうことから見るとアメリカと日本政府の体質から見て鳥島射爆撃場の放射性物質による環境汚染の実態が見えて来ないのも当然のことですよ。日本政府が調査をしたけど異常はないという結果報告書を提出されても、それを鵜呑みにはできない理由が、そこにあるわけですよ。このような隠蔽体質に対しては、放射能に厳しい批判的な学者、専門家も加えた調査が必要であると。これは私は前々から言うております。それができないというのであれば、町民のガン検診を実施することですよ。少なくとも小児、児童の遺伝子診断は実施してほしいということでもあります。

18年前に劣化ウラン弾は1,500発余りも打

たれているから、これは町は国の責任において診断実施を強く要求すべきだと考えております。

町長に伺います。町長はそれでもアメリカや日本政府の隠蔽体質に疑問を持っていないのか町長の答弁を求めます。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

劣化ウラン弾の放射能の報告については毎年近海の魚介類を採取して、これやって報告がございます。これは我々にとってはそういう分析をされたデータというのは信用するしかないと思うんですね。国の隠蔽体質を疑問に感じないのかということと言われても私としては答弁のしようがございません。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

これは今述べたように歴史的にアメリカと日本政府は隠蔽してきたわけですよ。これ実態があるということなんで、町長、前回の定例会でもペトカウ効果というのを、私は紹介をしました。カナダ原子力委員会のホワイトシェル研究所、放射線の実験結果があります。液体の中に置かれた細胞は、高線量による頻回の反復放射よりも、低線量放射線を長時間、放射することによって容易に細胞膜を破壊することができる。また、アルファ線、ベータ線などの低線量放射線によって遺伝子が傷つけられる。それがそのまま受け継がれると何かの機会に突然変異を起こす。そしてガンなどの慢性疾患を起こす。生殖に関わる細胞なら代々子孫の生殖細胞に傷が引き継がれ何代目かの子孫に傷害を発生させる。発育する胎

児への脳障害は特に深刻だとかいうふうに説いています。

町長、私たちは特に胎児や子どもたちの健康を守っていかなければなりません。そして母親が安心して子どもを生めるような環境づくりをしなければならないと考えております。このような観点からも、まずは小人、児童の遺伝子診断の実施を強く要望しますが、町長どうですか。再、再度伺います。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

住民の健康診断につきましては、これまでも軍転協の中で優先事項として国に要請をしましりました。これについては、今、沖縄の基地が抱えているPCBの問題とか、いろいろな健康被害が出る物質が検出されたりとかということ、我々も軍転協と一緒に、これは国に要請をしております。ぜひこれが認められれば我々の所でも実施できるんじゃないかなというふうに思います。

それとただ以前も申しましたが、劣化ウラン弾と原爆投下の核爆発をあと福島原発事故ということは実質的に違うということですね。そこらへんを踏まないとこの議論というのはいつまでも辻褄が合わないということになります。例えば劣化ウラン弾も嘉手納弾薬庫に長期間保存されていたわけですが、今、宇江原議員がいうとおりになりますと、もう沖縄全土汚染されているということになりかねません。ですからそこらへん劣化ウラン弾というのは何たるものかということから議論を初めていけば、ぜひ、これは私が答弁したという意味も理解できると思います。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

ペトカウ効果でもそうですが、別の研究成果でも低線量の放射線で長いこと放射能を発すると短期間で大量の高度の放射能を浴びることよりも非常に細胞を破壊する力が強いと。こういうことを別の機関でも言われております。そういうことの意味から低線量問題はアメリカは認めていませんけれども、やはり西洋というようなものは、それは認めております。そういうようなことなども配慮して、ぜひ私は町長、小児、児童の遺伝子診断についてはよくよく検討して対応していただきたいと、町長がいくら軍転協で言っても一人相撲にしかありませんよ。どうして我々議会も含めて、みんな町民を巻き込んで、対応しないかと、そういった行動に疑問を私はもっているわけです。

次に、2点目の鳥島射爆撃場の海底から町内海岸にあるテトラポットを海の底から積み上げ復元する考えはないかという質問に対して、町長は、現時点での計画はないと答弁をしています。私、テトラポットこれはゆくゆく僕は撤去されるもんだとみております。それを海面に出ない程度に沈めて、その上から結局は砂岩よりもちょっと強度なコンクリートの1トンクラスの物を積み上げていくと昔あった山に戻すなどの復元するとかいうことの計画を持ち合わせていないかと、そうした方が私もいいと思っています。そして海浜植物をそこに植栽していく、そしたら、やや岩にくい込んでいる劣化ウラン弾等も封じ込めていくことができるわけですよ。そういう意味からも、その計画も考えていませんか。再度伺います。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

鳥島射爆撃場の返還の際には現状に復旧するという条項がございます。ですから私はテトラポットじゃなくても、本当の山にした方がいいんじゃないかなというふうに思います。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

三保の松原の富士山の文化遺産、これで撤去させられました。今していると思いますが、そういうような関係であとで、またこれはコンクリート護岸問題も含めて質問をいたします。そして私が心配しているのは、町長は安心感もって国を信用しきっていますが、私は国を信用していません。あの官僚連中、特にキャリア官僚、この人達は魔物なんですよ。そういう意味から国からほいと返されたら、そのままの現状のまま帰ってくるわけですよ。そういうことを十分に念頭において、私たちは鳥島の早期返還を勝ち取ると、同時に返還後の復元ビジョンまで掲示することですよ。そういうふうに私は考えております。町長、ぜひそういう方向でみんなの力を借りてもらいたい。

第2にコンクリート護岸の撤去等についての再質問をいたします。町長は石積護岸は有効な候補である。また築山植栽についてもオカヤドカリ等の生息、防潮の観点から有効な工法だとの考えを示していただきました。ぜひ所見のとおり実現をさせていただきたいと思います。

町長も今、工事が進められております大宜味村の塩屋湾堤防、これをご覧になったとの

ことであります。先だって、町長にも報告しましたが、真栄平建設課長と私もその塩屋湾堤防を視察いたしました。斜めの石積み、高さ2.5mに積み上げて、そして幅2mの歩道を造っている。そしてさらに2.5mの石積みをして、そしてその上に盛土をして、いわゆる築山を造っているということでもあります。そこには低木、中木、高木の植栽をすると、大宜味村の建設課長の説明がありました。私は石も1トンの石が使われて、私はすばらしい海岸、護岸造りだなどこういうふうに関心をいたしました。ただ冒頭に申し上げましたとおり石積みの目地に穴の方にクサトベラ、モンパノキ、ハマシタンを差し込んでいけばもっとすばらしい海岸護岸になると思います。県からも建設課長、一緒だったんですが、海岸護岸についてハザードマップを作成して優先順位について作成してくれと、こういうふうに言われました。このことについて町長と建設課長のコメントを伺います。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

今の石積工法でも、私も大宜見村へ行って埋立地を見て来ました。確かに石を積んであるんですが、傾斜がものすごく緩やかということが他の石積み工法と違っていたところで、もちろんその上に土砂を積んで、そこに木を植えているということは非常に理想的な部分だと思います。これにつきましては先ほど質問にありましてとおりにハザードマップを作成して優先順位をつけてという県の意向ですが、これについては早速、建設課で事業でできれば早速、進めていきたいと思えます。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建設課長。

○ 建設課長 真栄平建正

町長からもありましたように非常に緩やかな傾斜で、これ1段目が約3mそして小段の幅が3mそしてさらに2m上げまして天場がありまして、その上に側の方に築山を造って植栽するという事は非常に今までの直立護岸とは違った、そういった自然に優しい、あるいは観光資源として活用できるような工法ではなかったかというふうに感じました。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

今、建設課長からの説明もありましたが、今年の11月に県の農村整備課から、沖縄の特性にふさわしい海岸整備のあり方に関するアンケート調査が文書としてきております。この内容については、建設課長説明していただけますか。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建設課長。

○ 建設課長 真栄平建正

県の農林水産部の方からのアンケート調査でJVコンサルタントの方に委託されてアンケート調査が今後なされる予定であります。概要についてなんですが、復帰前後に整備されました直立護岸については、背後地の保護、防護その際優先に考えられてきております。しかし、こういった工法が地域住民の利用、亜熱帯特有の生態系保全、観光資源としての利用に支障をきたしている。今後、耐用年数経過に伴い、今後10年間で約2割の海岸について再整備の時期を迎えるであろうということ想定されております。

そして今後の海岸整備のあり方について、

親しみやすい海岸、亜熱帯特有の絶滅危惧種等の保全及び沖縄県の特殊な暑さ対策、環境保全等を目的とした沖縄の特性にふさわしい海岸の整備のあり方その検討をするということでの趣旨であります。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

そういった改修対象は40年前のものから優先にやるというようなことでありますが、私は被害を受けた場所、例えば、ふれあい広場の何回もコンクリート護岸を越波して地域住域一帯が冠水するというような被害状況が何回もあったそうです。それは被害者にも直接行って何回か行って聞きました。そういうようなものはどうか。それから例えば、新原、むこうの護岸の塩害はものすごいんですよ。あの宇江城岳、あれを越す場合もある。僕はそう見えています。そして上部の方、その中腹から上部の方が大方、大きなイタジとか松が立ち枯れしているんですよ。こういう状況から見るとそういったものの被害実態も含めて、40年前というような原点にせず、そのことを県に強く申し上げて、ぜひそういったところも、最優先させて、改修の工事に取り組んで活かせるようなことをお互いみんなで作っていかうということでもあります。こういうこともあります。襟裳岬の防潮林で農業やるのに20年、30年かかったみたいですね、植栽して、その農業や海を生かしていると。そして長野県川上村では特産のレタスで町おこしをし嫁さんが大変増えたと、徳島県上勝村では80才のおばあちゃん達が椿や楓の枝をネット販売して1千万円農家となったと。息子まで呼び寄せていると。宮崎県の綾町では森

の腐葉土を活用して野菜づくりをして天皇家へ献上しているわけですよ。これは全て自然と緑に関係するものであります。自然を基盤にすると農業、漁業、観光産業が活性化することは必然であります。田舎は田舎らしい景観、光景にすれば川上村、上勝村、綾町のようなすばらしい村づくりと産業の活性化に繋がるものだと、私は確信をしております。そしてワイファイをこれとどう結び付けていくかということも検討をしていただきたい。町長の得意な方ですから答弁をお願いします。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

川上村とか他の村が非常に農業によって非常に活性化している分、我々はそれは真似はできませんが、私どもには私どもの島の良いところがあるということで、もちろん良い自然環境に恵まれているということもそう。ほ場整備に恵まれているということもそうです。これ先ほどワイファイということができましたが、ワイファイの使い方というのは観光はもちろんのことですが、福祉分野、あるいはその中で産業の特に農業については地産地消の部分をそのワイファイを使って、やっていこうという目的であります。

ですから今産業と結びつくということでワイファイをやっているということで、ご理解をいただきたいと思います。これはそんなに難しい部分ではありませんので、今度そのシンポジウムがあって、それで町民にいろいろ自分たちの生活、あるいは産業に結び付けるような方策というのを啓蒙していきたいというふうに考えます。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

長野県の川上村で特産のレタス販売は、あれはケーブルネットを村長が推奨してやらせているんですよ。そういうなかたちで非常に活性化しているということでもあります。

次に、第3の一字の撤去とシールガチの改修についての再質問であります。私は、漁協の皆さんと再度お会いをして皆さんの声を聞きました。その結果、ちょっと荒れたときには三角波が立って堤防と接触事故も以前から発生している。堤防との接触事故ですよ。以前から発生しているということでもあります。この1カ月間でも2回の接触事故が発生して、その内1隻は未だもって漁に出られないというようなことでもありました。以前にもこれは漁業の理事会でも話しが出たようでもあります。その件について、その取り組むべき対応というものを建設課長、伺います。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正建設課長。

○ 建設課長 真栄平建正

県管理の漁港に仲里漁港はなっております。この整備につきましては町の方、または漁協の方いろんな意見を集めながら県の方は整備を進めているところであります。今回の整備についても機能保全ということで整備計画はなされているんですが、それについても去年から県の方で漁協、役場一緒になって情報を収集して、機能保全の整備やっていく予定であります。今回の一字につきましては、そういった3者の調整の中でも撤去についての要望等が漁協の方からはありませんでした。そして今後、漁協の方の考え方がもっとも重要ですので、そこでも漁協の方と調整を

図りながら県と調整してまいりたいと思いません。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

組合長も、私、お会いしてやったら撤去には賛成だということでもあります。シールガチが崩れかけているというようなことで、ぜひとも向こうの視察もしながら、どう対応すべきかということを集約していただきたいというふうをお願いをしておきます。

以上で私の質問を終わりますが、町長、言ったことは、ぜひ実行してください。

(宇江原総清議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで5番宇江原総清議員の一般質問を終わります。

以上で一般質問は終わりました。

本日はこれで散会します。

お疲れ様でした。

(散会 4時51分)

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

久米島町議会議長 喜久里 猛

署名議員（議席番号6番） 安村 達明

署名議員（議席番号7番） 喜久村 等

平成25年（2013年）

第8回久米島町議会定例会

2日目

12月18日

平成25年第8回久米島町議会定例会

会議録 第2号

招集年月日	平成25年12月18日 (水)			
招集の場所	久米島町議会議事堂			
開閉会日時 及び宣言	開会	12月18日 午前10時00分	議長	喜久里 猛
	閉会	12月18日 午後0時20分	議長	喜久里 猛
応招議員 出席議員 出席14名 欠席名	議席番号	氏名	議席番号	氏名
	1番	棚原 哲也	8番	島袋 完英
	2番	幸地 猛	9番	崎村 正明
	3番	平良 義徳	10番	饒平名 智弘
	4番	翁長 学	11番	山里 昌輝
	5番	宇江原 総清	12番	仲村 昌慧
	6番	安村 達明	13番	玉城 安雄
	7番	喜久村 等	14番	喜久里 猛
(不応招) 欠席議員				
会議途中退席議員	番		番	
開議後出席議員	番		番	
公務欠席議員	番		番	
	番		番	
会議録署名議員	8番	島袋 完英	9番	崎村 正明
職務のため会議に 出席した者	職名	氏名	職名	氏名
	事務局長	仲地 泰		
	書記	吉永 千枝美		
地方自治法第121条により説明のため議場に参加した者の職氏名				
職名	氏名	職名	氏名	
町長	平良 朝幸	教育課長	保久村 学	
副町長	大田 治雄	環境保全課長	佐久田 等	
教育長	比嘉 隆	建設課長	真栄平 建正	
総務課長	桃原 秀雄	産業振興課長	仲村渠 一男	
町民課長	平良 朝幸	農業委員会事務局長	上江洲 勝志	
プロジェクト推進室長	中村 幸雄	上下水道課長	津波 実	
税務課長	田端 智	消防長	上里 浩	
福祉課長	山城 保雄			
会計管理者	儀間 由紀			
行政改革推進室長	平良 明			

平成25年 第8回久米島町議会定例会

議事日程〔第2号〕
平成25年12月18日（水）
午前10時00分 開会

日程	議案番号	件名	頁
第1		会議録署名議員の指名(久米島町議会会議規則第120条)	89 p
第2	議案第60号	平成25年度久米島町一般会計補正予算(第5号)について	89 p
第3	議案第61号	平成25年度久米島町下水道事業特別会計補正予算(第3号)について	109 p
第4	議案第62号	平成25年度久米島町水道事業会計補正予算(第2号)について	110 p
第5	議案第63号	久米島町火災予防条例の一部を改正する条例について	111 p
第6	議案第65号	久米島町税条例の一部を改正する条例について	113 p
第7	議案第64号	久米島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	114 p
第8	議案第66号	マンホール形式ポンプ自家発電設備工事請負契約について	114 p
第9	議案第67号	あらたに生じた土地の確認及び字の区域の変更(編入)について	116 p
第10	議案第68号	仲里中学校12号棟改修建築工事請負契約について	117 p
第11	発議第11号	道州制導入に断固反対する意見書について	118 p
第12	決議第2号	「しまくとぅば」の普及促進に関する宣言決議について	119 p
第13		閉会中の議員派遣について	121 p
		閉会	121 p

(午前 10時00分 開議)

○ 議長 喜久里猛

おはようございます。会議を開く前にご報告します。本日内山幹雄様、智子様が議会傍聴の申し出がありましたので許可しました。

これより本日の会議を開きます。本日の議事日程は予めお手元に配布したとおりであります。

日程第1 会議録署名議員の指名

○ 議長 喜久里猛

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第120条の規定によって、8番島袋完英議員、9番崎村正明を指名します。

日程第2 平成25年度久米島町一般会計補正予算(第5号)について

○ 議長 喜久里猛

日程第2、議案第60号、平成25年度久米島町一般会計補正予算(第5号)についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。
大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

おはようございます。それでは議案第60号、平成25年度久米島町一般会計補正予算(第5号)の概要について申し上げます。

予算書の最初のページをお開きください。

歳入歳出それぞれ1千620万4千円を増額し、総額79億9千29万4千円といたします。予算書の4ページ目をお開き下さい。

歳入歳出の主な内容についてご説明いたし

ます。歳入につきましては、国庫支出金を2千877万円計上しております。主な内容といたしましては、6ページになりますが、保育所運営費、国庫負担金が151万9千円、安心子ども基金事業が289万2千円、更生医療支援費、国庫負担金が421万7千円、障害者自立支援事業、国庫負担金が400万円、児童手当交付金が722万9千円、地域の元気臨時交付金が1千202万2千円、育成医療費、国庫負担金が11万3千円となっております。

続きまして、国有提供施設等所在市町村助成交付金が319万8千円の増となっております。

次に、県支出金では保育所運営費、県負担金が64万5千円、安心子ども基金事業県負担金が315万円、障害者医療費県負担金が210万8千円、障害者自立支援事業県負担金が200万円、児童手当交付金負担金が114万3千円。

予算書の7ページ目をお開き下さい。新規就農一貫支援事業、県補助金として718万円、久米島空港管理委託料として332万1千円計上しております。また、震災等緊急雇用対応事業の県補助金993万円を減額しております。また、県支出金では、地域農業水利施設ストックマネジメント事業第1地区において事業料の見直しに伴い、県補助金を6千196万2千円を減額し、同事業の仲里中部地区へ3千80万円を計上しております。

次に、寄付金として久米島町ふるさと寄付金300万円を計上しております。予算書では8ページになります。

次に、繰入金としてふるさと納税基金からの繰入金23万7千円を計上しております。

次に、諸収入では、行幸啓史の販売料として42万円、平成24年度児童手当国庫交付金精

算に伴う追加分として233万9千円、平成24年度保育所運営国交負担金の清算にともなう追加分として228万7千円、同じく平成24年度保育所運営費負担金の精算に伴う追加分として114万3千円。平成24年度後期高齢者医療広域連合への負担金の精算償還金として一般会計及び特別会分として29万6千円、平成24年度沖縄県国民健康保険連合負担金の返還金として30万4千円を計上しております。

次に、地方債では、地域農業水利施設ストックマネジメント事業の見直しに伴い公共事業等債を460万円減額しております。

予算書の9ページになりますが、歳出では総務費962万3千円計上してあります。主な内容として、謝名堂誌発刊にかかる補助金として100万円、財政調整期金積立金339万5千円。

予算書の12ページ目になりますが、比嘉公民館建設にかかる概略設計費用として150万円、具志川改善センター管理事業費として110万円、ふるさと給付金積立金として300万円を計上しております。

続いて、民生費では3千19万5千円を計上しております。主な内容としまして、障害者総合支援給付事業にかかる扶助費として800万円、更生医療費事業にかかる補助費として700万円、児童手当交付金として951万円、子ども子育て支援システム構築事業にかかる委託料として289万2千円、法人保育園支援補助金として211万3千円を計上しております。

予算書の15ページをお開き下さい。次に、衛生費では1千388万3千円を計上しております。

主な内容としましては、19ページ目になりますが、環境美化推進事業にかかる賃金を193万円、燃料費を38万円、備品購入費を102万

円計上しております。また湧水対策費にかかる経費として水道事業会計への繰出金492万4千円。

予算書の22ページ目をお開き下さい。乾電池の処分に要する経費として425万9千円を計上しております。その他クリーンセンター及びリサイクルセンターの運営にかかる費用をそれぞれ追加計上しております。

続きまして予算書の23ページをお開き下さい。農林水産費ではマイナス1千726万6千円の減額補正となっております。主な内容としましては、農地管理事業における平成27年度事業概略設計業務にかかる委託料として300万円を計上しております。また地域農業水利施設ストックマネジメント事業第1区であります、その請負費6千830万5千円を減額し、同事業の仲里中部地区において3千500万円を追加計上してしております。

25ページになりますが、沖縄県の一括交付金事業として久米島町就農一貫支援事業として718万円。

次の26ページになりますが、町内の枯れ松撤去にかかる経費として60万円。

その次の27ページで、鳥島漁協周辺の転落防止柵の取り替え事業として160万7千円を計上しております。

次、予算書の28ページ目になりますが、商工費では707万5千円を計上しております。主な内訳としてはバーデハウス久米島施設修繕にかかる費用として312万2千円、指定管理委託料の追加分として201万5千円。

次の29ページになりますが、観光対策推進事業として、久米島観光協会に対する補助金を150万円。

その次の30ページになりますが、久米中学

校の開校に伴うバス停の設置経費として220万8千円、電気自動車充電器設備工事費として、173万円を計上しております。

予算書の31ページにないりますが、土木費では707万3千円を計上しております。主な内容としては、奥武島道路整備にかかる概略設計業務委託の経費として157万5千円。

下水道事業特別会計への繰出金として、28万7千円を計上しております。また空港管理費において空港管理委託料の追加内示分で備品購入費207万7千円を計上しております。

予算書の34ページをお開きください。消防費で消防デジタル無線整備事業にかかる旅費7万7千円、潜水土機材リース料として20万8千円などを計上しております。

次の35ページになりますが、教育費ではマイナス258万5千円の減額補正となっております。主な内容としては、県の震災等緊急雇用対応事業を活用して実施予定であった学校ICT支援配置事業でマイナス545万7千円の減額となっております。

その他、40ページ目になりますが、中学校管理運営事業では球美中学校普通教室の机及び椅子を購入するための備品購入費で390万1千円を計上しております。

また、41ページになりますが、仲里中学校9号棟改築事業にかかる設計委託料において対象面積の増加による増額分として147万1千円を計上しております。その他各幼稚園、小学校、中学校における光熱水費等を予算内で組み替えを行っております。

49ページ目になりますが、交際費では繰上償還に要する経費の不用額としてマイナス3千179万6千円を減額計上をしております。以上が平成25年度久米島町一般会計補正予算

(第5号)の主な概要となっております。

平成25年12月18日提出

久米島町長 平良朝幸

ご審議よろしくお願いたします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

4番翁長学議員。

○ 4番 翁長学議員

歳出の方で23ページの2目の農業振興費の中で、干ばつ渇水対策事業があります。今年の干ばつによって大分農家の皆さんも苦勞していたんですが、主にキビの干ばつ渇水だと思うんですが、トラックで散水していたんですが、この台数なんかどのぐらいの台数が農家の方にこの散水事業として提供されたんでしょうか。

それともう1点、歳出の25ページで、久米島町新規就農一貫支援事業とありますが、その内容も教えていただきたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

ただいまのご質疑にお答えいたします。今年7月から大干ばつが始まりまして、それに対してサトウキビ、甘味資源作物緊急増産対策事業という事業がございまして、その事業を活用して、かん水事業を行いました。8トン積みのトラックで延べ4,059台のかん水を行っております。これに対して1台あたり5千円で4,059台かけまして約2千29万5千円の総事業費となっております。それに対して8

割が国庫補助金で1千546万2千円が補助金となっております。消費税の分につきましては、これも地元負担で、これはサトウキビ振興協議会が負担をしております。消費税が96万6千42円これはサトウキビ振興協議会の負担で残りの2割相当額が386万7千200円、これが地元の負担となりまして、その内訳が久米島製糖さんが237万6千200円、あと久米島町、JAそれからサトウキビ生産組合、生産者がそれぞれ50万円の負担となっております。この予算計上されている分は町の負担分としての50万円となっております。

それから新規就農一貫支援事業の内容につきましては、これについては、今「人・農地プラン」の中で新規就農者に対する支援金がございます。これは45才までの年齢の方で新たに農業を始める方に対して、農業が定着するまでの5年間は150万円、生活費ではないんですが、その支援をするという制度がございます。これが新規就農支援、それに合わせてやはり新たに農業を始める場合どうしても機械や設備が必要になってきますので、その機械導入や、あるいはその施設の導入に対する補助ということで今回はトラクターと付随するアタッチメント、例えば芋の堀取り機であるとかロータリーであるとか、そういった物の一式を支援するものでございます。

○ 議長 喜久里猛

4番翁長学議員。

○ 4番 翁長学議員

今の新規就農の支援事業、何戸の農家が対象になってますか。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

これは1人の方に対する支援でございます。

○ 議長 喜久里猛

1番棚原哲也議員。

○ 1番 棚原哲也議員

26ページ、枯れ松撤去作業予算として60万計上されております。これ以前に枯れ松が大分増えているということで調査したと思うんですが、松食い虫ではないという報告もありましたが、最近では非常にこの比嘉の一本松の西側だいぶ枯れ松が広範囲に広がっているように思われます。それから登武那覇の後ろ側、その一帯もだいぶ枯れ松の本数が増えているように感じますが、この60万の予算で対応可能かどうかお伺いしたいと思います。

それと次のページの27ページ、漁港建設費の謝名堂川コンクリート撤去処分99万余り、これは謝名堂川、昨年ですか、仲里小学校から下手の方は整備も終わっていると思いますが、その場所について確認したいと思います。

それとあと1件、その次の28ページの方でバーデハウス管理運営事業、この修繕料として312万2千円計上されておりますが、修繕関係がどういうものなのか、そこの3点をお伺いしたいと思います。お願いします。

○ 議長 喜久里猛

佐久田等環境保全課長。

○ 環境保全課長佐久田等

まず1点目の枯れ松の撤去作業についてご説明いたします。町内いたる所に、枯れ松が目立ちますが、以前にも指摘ございました。その件について、また、町内から新たに5カ所ぐらいからサンプルを採取して県の森林資源研究センターに送りまして、分析結果が出しました。昨日結果が届いておりまして、や

はり今回も松の線虫等々、分析結果、久米島町にはまだ松食い虫が入っていないという報告が届いております。しかし目立ちますので、今回うちの環境保全課の環境美化班の作業員で、日程を調整しまして、3月までに撤去できる分は全て撤去しようということで、現在、進めております。また、次年度以降も予算を計上しまして、うちの作業班で撤去できる分は随時、町内、枯れ松、撤去していこうと考えています。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正建設課長。

○ 建設課長 真栄平建正

27ページの漁港建設費、謝名堂川コンクリート撤去処分場所なんですが、これにつきまして、棚原議員から質問がありましたBG横のコンクリート殻、その撤去、当初880㎡予定していたんですが、中の方に大分埋まっているということで、その分の追加分、場所は一緒です。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

28ページの観光費のバーデハウス久米島管理事業の修繕費についてご説明をいたします。これについては主にバーデプールのテラス外側デッキの所に板張りの床と丸形のプールございます。その周辺が手すりになっていますが、主にこの手すりが塩害で腐食していますので、その補修の部分と、あと一部床のデッキの取り替え、そしてデッキの床の一部取り替え、それからインバータこれはモーターを制御するものなんですが、そのインバータの取り替えとなっています。大きいのは周辺の手すりの取り替えとデッキの張り替えと

なっています。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

22ページ、廃電池処理事業、これは委託料となっていますが、委託先、それから積算根拠をお願いします。

30ページ、バス停設置工事、これは設置場所は何処か、何カ所なのか1カ所なのか2カ所なのか。

それと46ページ、環境共生型観光地づくり支援事業、工事費が119万減になっていますが、せっかく取った予算を減にして、印刷費にまわすということになってはいますが、この工事箇所はもう施工なくていい場所なのか、以上3点。

○ 議長 喜久里猛

佐久田等環境保全課長。

○ 環境保全課長 佐久田等

乾電池の処理費について委託料についてご説明申し上げます。県内で、この処理を搬送、委託できる会社が県内に1社しかございません。会社名がアサヒプリテック株式会社、沖縄県から福岡まで船で運びまして、そこから陸路で神奈川の横須賀に運びます。国内でそこ1カ所で処理できますので、その分にかかる委託となります。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

それでは30ページのバス停の設置工事なんですが、これにつきましては中学校の統廃合につきまして、その通学路となります嘉手苅、儀間、山城それから仲中前の4カ所となっております。

46ページの博物館費の環境共生型観光地づくり支援事業、これにつきましてはホテル館の直ぐ隣の木道、その自然観察をするルートに木道を設置する工事でございますが、その工事がかたまりまして、その分の不用額でございます。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

再度30ページのバス停設置につきましては、今回、中学校統合することなんです、それ以外については計画されていないわけですか。それとも実施する場所がないんでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

これ以外の場所につきましては主に観光拠点施設の周辺を中心に空港からイーフに至る間、それからそれ以外の島内の観光拠点地の史跡の近くを中心に年間3基ぐらいずつを今整備していく予定でございます。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

せっかくこういったかたちで継続して実施しますので、例えば町の新町建設計画、それののっけて、あるいは過疎、辺地そういったかたちで年次的に、ちゃんとした計画ののっけて実施すべきではないのかなと思っております。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

整備にあたって過疎債、辺地債を使う場合

はご指摘のとおりですね、その過疎振興計画ののっけてやっていくわけですが、今回は観光関連施設を中心に一括交付金を使って、今整備をしていこうかなと考えております。従って一括交付金の長期計画の中のにのっけて順次整備を進めていきたいと考えております。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

まず歳出の12ページと22ページ1点目で、改善センターの電気使用料12ページと22ページのクリーンセンターの運営費の電気使用料、当初の予算では改善センターが490万2千円、それとクリーンセンターが1千667万2千円、今回改善センターの110万円、クリーンセンターの方が206万4千円の増額の補正が出ておりますが、最初の見積があまかったのかどうかわかりませんが、その説明をお願いします。

次に、歳出の41ページで、仲里中学校の校舎の改修工事なんです、今回、約1千200万の補正であがっていますが、前回の補正では工事費が1千800万、仮設校舎の設置費が1千684万1千円、その諸々含めて2千887万円の補正があがっていたんですが、1千202万円の増額の根拠をお願いしたいと思います。以上2点お願いします。

○ 議長 喜久里猛

保久村学教育課長。

○ 教育課長 保久村学

ただいまの質問にお答えします。12ページの具志川改善センターの電気料でございますが、当初予算で490万2千円を計上しています。当初、前年度の決算では600万4千円の支出があります。平成25年度当初の段階で100万余

り落としたかたちで財政と調整していただき、今回やるなかでやっぱり前年並みということで、今回予算を計上して補正であげています。

それと41ページの仲里中学校12号棟改修事業につきまして、今回、補正の方でこちらはあがっていない部分です。それにつきましては、11月の臨時補正の方で計上しています。

○ 議長 喜久里猛

佐久田等環境保全課長。

○ 環境保全課長 佐久田等

クリーンセンターの電気料についてご説明申し上げます。当初予算ではだいたい前年度の予算を勘案して計上しておりますが、満額の予算措置はされておりました。今回残り12月から3月までの実績4月から11月までの実績プラス、残りの不足分を今回計上しております。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

改善センターの電気使用料については当初予算のときに前年度並みの計上をすべきだったんじゃないかなと思います。

仲里中学校12号棟校舎の改修工事費1千202万円、今回は増額ではないということですか。

○ 議長 喜久里猛

保久村学教育課長。

○ 教育課長 保久村学

今回の補正であがっているのは、下の9号棟の147万1千円です。

○ 議長 喜久里猛

平田明行政改革推進室長。

○ 行政改革推進室長 平田明

ただいまの41ページ、事業費の補正ではな

くて、4号補正が終わった時点で、国の方から「地域の元気臨時交付金」という国庫の交付金がありまして、どういう性格かといいますと、地域の経済活性化とか、雇用創出の為の臨時的な交付金として、安部内閣が緊急経済対策として打ち出しております。追加される公共投資の地方負担が大きいため予算編成の遅延という状況の中から地方の資金調達に配慮し、本対策の迅速かつ円滑な実施ができるよう地方公共団体が作成した地域の元気交付金実施計画に基づく事業に用する費用に対し、国の交付金を交付することによって地域経済の活性化と雇用の創出を図る目的として交付金を使用されております。

そこで用途としましては町の単独事業、あるいは建設公債の対象となる国庫補助対象の地方負担分があるんですが、前回、補正しました仲里中学校の12号棟に一般財源1千800万余りを投入していた関係で、その財源振り替えということで、1千200万予算出しております。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

はい、わかりました。私もちょっと勘違いしていました。財源振り替えということで理解したいと思います。

あと1点、仲里中学校の12号棟の改修工事と関係しますが、前回、仮校舎の設置工事、1千684万1千円、これはまあできていますが、前に教育委員会で確認したときに、この仮校舎はリースであると今見れば立派な基礎も造られて、確認したら当初は使用料で計上するということであったんですが、今、工事で発注して島外の業者が受注したようです。その

点については教育委員会と確認して理解はしているんですが、この基礎工事とプレハブのリース料の工事の割合ですね、わかればお願いしたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

保久村学教育課長。

○ 教育課長 保久村学

仲里中学校のプレハブ工事につきまして、前に工事として発注しています。当初プレハブの使用料ということでプレハブリース使用料の方で計上していましたが、金額的に工事の方が妥当ということで工事に回しています。そのプレハブのリース料金とそれから基礎工事の部分の割合につきまして、今、資料を持ち合わせていませんので、あとでまた説明したいと思います。

○ 議長 喜久里猛

玉城安雄議員の質問は本件に関する質疑は既に3回行いましたが、会議規則第55条、但し書きの規定によって特に発言を許します。

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

最後の質疑です。今回、使用料ということで予定して、その後工事ということになってそのまま発注業者も島外のリース会社というかたちになって、話を伺っております。できるならば基礎工事とリース割合を勘案して地元メリットがある工事でしたら、ぜひそこらへん審査していただいて、地元、優先で発注するようにお願いしたいと思います。以上終わります。

○ 議長 喜久里猛

11番山里昌輝議員。

○ 11番 山里昌輝議員

11番山里です。2点ほど質問させていただ

きます。まず28ページ、商工費のこれの観光費、バーデハウス先ほどの質問と重複するわけですが、修繕費のことなんですが、バーデハウスそのものは以前よりいろいろ物議をかもしだしてきておるわけなんです、町民の方々にとっては、今やなくてはならない大事な施設だと、いわゆる医療費の軽減にまで繋がっていく部分があるわけですので、これは不可欠な施設として認識しておるわけなんです、この両者の安全確保のために、今しがた、手すりとか床とかの改修などという答弁がありましたが、前に私はこのプールサイドにあるモニター、その他諸々の当初から取り付けられた機器が破損して動かないもの、そのまま取り付けされていると設置されたまま、これは島外、県外から来る皆さんが、日本唯一ですので深層水を活用した施設は、みんながすごいだらうなということで来た、けれども、そこにあるモニターが全く稼働していない、見苦しいので撤去しなさいと、前担当課長にその話をしたことがあります。

すぐ修理しますと、あのすぐ修理がどれだけ経ってきたか、これは現課長の方で確認しながらやっていただきたいと思います、これはもしやらないのであれば、あれ架台から外したらむしろいいんです。ある物も含めて、これの伊勢志摩の方には、表層水を活用したプールがあります。いろいろプロ野球選手とか、いろんな方々が使って非常に好評だったんですが、これはもう20年以上なるんでしょうね。しかし向こうにはリラクゼーションスポット、いわゆる癒し空間を作ったりメニューがいっぱいあるんですよ。ただししかし久米島はメニューはあまりにも少なすぎるよと、置かれたモニターが稼働していないんで

すよと。私は2回ぐらい聞かされたことがあります。今回の修繕費には入っていないかもしれないです。これ早急にやることをぜひお願いしたいなと思っておるんですが、担当課長で答弁をお願いしたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

ただいまご指摘の古い健康管理システムにつきましては、プールの側に直づけでやっぱり機器が設置されているということで、どうしても水分塩分が入ってコンピューターそのものが長持ちしないということでございます。それも既に撤去してあります。今年度の一括交付金を使いまして健康管理システムを新たに整備してあります。既に納品されて完成しておりますが、新しいモニターはそのガラスの外側に50インチの大型モニターを置いて、それを見てやるようなかたちで整備されております。その健康管理システムの運動メニューが十分かどうか、実際まだ体験していないんですが、それはまた不十分なところがあれば追加で、また健康管理システムの内容の充実を図っていきたいと考えております。既に今年度で新たに整備済ということでございます。

○ 議長 喜久里猛

11番山里昌輝議員。

○ 11番 山里昌輝議員

どれぐらい設備ができるか、楽しみにしていきたいと思っております。

それとあと1点、これはたぶんに苦言を呈することになるでしょう。東北楽天が久米島でキャンプをはって以来、すごい効果が上がってきたと大変な好評を得ております。メデ

ィアで取り上げられるは、島外、県外の皆さんが楽天のキャンプがあるから久米島はすごいでしょう？ 忙しいでしょう？ 大変でしょう？ これがもう決まり文句で、我々もついつい調子にのってすごいですよと、申し上げてきました。

ただいま現在どうなのか、島の経済に潤いをもたらす云々は私は二の次でいんじゃないかなと思っているわけなんです、この対応ぶりです。島外の場合に警備会社とか、そういうところがあるんで、そこに球団が委託して警備会社を要所要所に、張り付けて管理しているとキャンプ中は、ないのでいたしかたのない部分もあるわけですが、行政の職員が日常の業務をさしおいて、いかにも球団の職員かのように向こうにキャンプ期間中ずっと張り付けている職員がいますね。町長、どうですか。これ非常に見苦しいです。また役場はそれほど暇なのかと、この職員1人、2人いれば彼らは彼女たちは行政にいらなくてもいいのか。そういうことを思うときもあります。これは行政の職員が輪番制で要所要所で安全管理も含めてなんです、これは当番制でやっているのは、これはやむを得ないです。またやってあげないといけないと思います。当番制で行くのは自分の日常の業務をこなしながら、何時何時当番、組まれているから行ってきますということでやっているのは、私も関わったこともありますので、よく知っているわけなんです、始まるやいなや最後まで、ずっと最後まで、ずっと張り付けている職員が中にいますね。総務課長ご存じですか。これは、やめてほしい。

我々は住民のサービスのために行政に採用されて日常業務、デスクワークも含めてやっ

ているわけですが、自分の席を空けて球場にしかも事務所の中に入りながら、張り付けてずっとそこにいる。居座っている。これは私一人じゃないです。役場はあんなに暇なのかという一般の住民もいます。

これはやがてまた来る春のキャンプに向けて、これは人事は総務課長の方で管理しているはずですから管理職会議を開くなりして、こういったのは辞めてほしい。これは今この問題を取り上げて、こんなにきつい言い方をした議員の皆さんいないわけなんです、私が皆さんを代弁します。このことはぜひ何とかしてほしいと、そういうふうに思って、この問題を取り上げておりますが、どうでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

山里議員はプロ野球対応事業関連でいいんですか。予算審議の中の。ページとしては40ページのプロ野球対応事業費でしかできないんだけど関連として。

○ 議長 喜久里猛

休憩します。(午前 10時41分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午前 10時42分)

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

ご指摘のとおり、職員はいます。ただ離島は離島特殊事情がございます。例えば、練習場の内部のボランティアですと沖縄本島内では大学生募集すればいくらでも来ます。離島で久米島町でそれを募集しようと思ったかなかなかいない、従って数名は沖縄本島から連れてくるというかたちになります。あと警備についても、警備はその他の対応についてもボランティアや、あるいは業者に委託という

ことが、なかなか島内ではないわけでございまして、それを沖縄本島から連れて来るとどうしても当然割高で、球団としてはキャンプのコストが高くつくわけであります。そういうことで球団のキャンプを誘致する当初から町の方ができるだけボランティアを集めて支援要員を配置してきたという流れがあるものだと思っております。

それを、じゃあ、みんな委託でやれということになりますと、当然コスト高、球団としてはなりませんので、これがキャンプの継続にプラスに働くかマイナスに働くかという判断もしなければいけないと思います。

ただ、ご指摘のとおり、また特定の職員がずっと張り付いているというのはやはりその人の業務に支障がでてくると思いますので、そこはキャンプの主管課である環境保全課そして総務課と調整して対応していきたいと考えています。

○ 議長 喜久里猛

11番山里昌輝議員。

○ 11番 山里昌輝議員

私が申し上げたいのは、役場の職員みんな撤退させてくださいということではないんです。ただし相手は企業です。収益性を伴うキャンプもしたい。そういう思いも何処かにあるでしょう。経費を削減しながらと、これは誰しもわかることなんです、しかし久米島にキャンプをはりに来るからには出血も覚悟で来てもらわんといけない。それなりに町長を中心に久米島町は最大限、皆さんを歓迎してサービスは提供しております。これで足りないのかと私は申し上げたいです。

他市町村にあちこちで沖縄キャンプをはっているわけですが、あちこち私は情報を収集

しました。久米島町ほど至れり尽くせりのサービスをしているところはないです。だから行政の職員はできる限り一般業務に専念しながら、その傍らローテーションでこれは協力はしてあげるべきです。

ただ特定の職員をずっとキャンプ期間中そこではり付けているということは、私はよく行きますので、行かなければ目につかないでしょうが、目につくもんだから、これではまずいなと思っている次第です。今後これから何年続くかしらないですが、そのところは少し協議して改善の余地があるんじゃないかなと思っています。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

3点ほど説明をいただきたいと思います。まず12ページのふるさと寄付金、これを基金に回しているんですが、例えば、これ貰えばなしなのか久米島町は。最近はその金額によってかもしれませんが、お返ししているところが大分ありますね、市町村で。要するにその特産品を、例えば寄付してもらったら久米島町の特産品、クルマエビだとか、それから泡盛だとか、お味噌だとか、そういうふうな特産品を送って、お礼に代えとか、その金額の一部からわずかな金額で、そういうこともやっているかどうかお伺いします。

それから次24ページのストックマネジメント事業、これが県支出金、半分に減らされているんですが、その事業の内容を仲里地区となっていますが、どのへんでどういう事業を行うのか説明してください。

それから25ページ新規就農一貫支援事業というのがありますが、これも具体的にグルー

プなのか個人でも受けられるのか、具体的に説明してください。この3点です。お願いします。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

ただいまの島袋完英議員の質問にお答えします。ふるさと納税の寄付金、寄付者に対するお礼といいますか、5年間、高額納税をした方を久米島に招待して、いろいろ観光イベントなど、久米島に招待するというようなことを規定の中で決めています。来年その5年に達する方が3名おりますので、来年の祭りとか、ハワイアンフェスティバルが9月頃、実施されるんですが、その時期に合わせて招待したいということで、課内で話し合っているところです。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正建設課長。

○ 建設課長 真栄平建正

地域農業水利施設ストックマネジメント事業について説明したいと思います。

第1地区が大田地区、だるま山の公園のこの南側一帯、その一帯において減圧弁の設置が主です。畑かんの破裂が水圧が高いために相当数、出ているということで、その水圧を調整するために減圧弁、そして建屋それを設置しております。仲里中部につきましては、同じように減圧弁、建屋の設置工事であります。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

25ページの新規就農一貫支援事業についてご説明をいたします。先ほども一通り説明を

いたしました。まず農政の現在の課題といたしましては、やっぱり農業後継者が育たないということが非常に全国的な共通課題となっております。農業後継者が育たないことが即農業の生産の減少、生産力の低下に繋がって農業の衰退になっていくということから、それを防ぐために、この就農初期の支援をやっていこうというのが、この沖縄県新規就農一貫支援事業の目的と申しますか、概要でございませう。新規初期就農時において、例えば助成対象機械となるトラクターとか、あるいは選別機とか、あるいはトラクターに付けるいろんな作業のアタッチメントがございませう。あるいは収穫機械等を新たに就農する場合、初期段階において、それを投資しないといけないわけですから、それを積極的に支援していくというのが、その新規就農一貫支援事業の内容でございませう。

補助率ですが、補助率は80%の補助率でございませう。あと金額については1千万円を限度として、あるいは1千万円を限度として1千万を超える場合は、その8割ですから800万円を限度に助成していくものでございませう。今回の予算の内容につきましては、トラクターこれは30馬力のトラクターですが、トラクターと、そしてこの前方に付けるバケット、それから芋の掘取り機、それからマルチロータリとか、野菜の自動収穫機とかそういったアタッチメント全て含めたものとなっております。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

もう一度、ふるさと納税ですが、今の説明でこういうのも計画をしているんだというの

はわかりますが、5年間納めてもらった人というんですが、それもいいかと思いますが、やはりそういう人を島に呼んで、島のことを口コミで宣伝してもらおうのもできると思うんですけど、私はやっぱり小口でも金額いくらからはいくらぐらいの贈り物をしようと、地元の特産品を送ってあげるのも、なお良い効果があるんじゃないかというふうに思います。それも検討していただきたいと思います。

それからストックマネジメント、この事業も、いま聞いてあちこちにコンクリートの小さい建屋ができていますね。それかなと思ったんですが、それなのかその回答と、それから今の産業振興課の説明でわかるんですが、これは個人でもいいのか、法人でないといけないのか。個人でもいいのかお願いします。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正建設課長。

○ 建設課長 真栄平建正

島袋議員からあります建屋、ストックマネジメント事業の実施した減圧弁であります。それは現在、土中に減圧弁設置されているところについては、これは地上に建屋を造って移し替えという事業も含まれております。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

この事業の場合は個人でも可能です。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

ただいま、提案がありました特産品の贈呈も含めて、ランクもいろいろあると思うんで

すが、そのあたりも検討していきたいと思
います。

○ 議長 喜久里猛

他に質疑ありませんか。

7番喜久村等議員。

○ 7番 喜久村等議員

今の同僚議員が言った新規就農者事業につ
いてですが、もう一回、確かこれは4名ぐら
いの応募で審査通ったのは1人だけの現在の
スタートなのか、4名ぐらいの、前申し込み
があったはずなんです、それで審査通った
のは現在1人ということなんです、この説
明。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

今現在、青年就農給付金、若者が新たに農
業をやろうということで、「人・農地プラン」
の青年就農給付金の給付を受けているのが現
在5名、今、申請中の者が2人いて、合わせ
て7名いますが、その中の1人目ということ
になります。実際また農業を初めていってし
ばらくしないと、自分が何を必要なのかとい
うのができませんので、今後、次々に出て
くると思います。例えばハウスを造ったりビ
ニールハウスを造ったり平張りを造ったり中
には畜舎という方もいるでしょうし、ハウス
か、畜舎か、機械かということになりますの
で、そういったメニューがございますので、
人それぞれ必要な物を選定をして、それを申
請をして認められた場合に、これをこうする
ということになりますので、これが今回、第
1号になります。

○ 議長 喜久里猛

7番喜久村等議員。

○ 7番 喜久村等議員

人間に対する支援がありますよね。1人15
0万とか、あれはまだ受けられていないとい
うことなんですか。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

青年就農給付金を受けている方が、今現在
5名は受けていらっしゃるということで、そ
の5名は必要な物があれば申請すればだいた
いできます。あと申請中があと2人いるとい
うことです。

○ 議長 喜久里猛

7番喜久村等議員。

○ 7番 喜久村等議員

中身の資料なんか貰うことができますか。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

可能です。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

3点、質問をいたします。土地改良関係と
それから林業振興事業関係、バーデハウス関
係、その3点について、まず1点目の土地改
良関係24ページ、これは仲里土地改良区適正
化事業負担補償賠償関係で12万等が出されて
支出されておりますが、この関係で今月の12
日に具志川、仲里両土地改良事務所が合併し
たように聞いてます。具志川だけの。そうい
うような負担事業というか関連があるかもし
れませんので、合併状況をどうなっているか
ということでありませぬ。

そして26ページの林業振興事業関係で枯れ

松撤去作業ということで60万計上されておりますが、先ほどの答弁がありましたように新たに5カ所のサンプルを取って県に送ったと、その結果、松食い虫ではなかったというようなことでありますが、それに関して2点、質問をいたします。真謝のクミバル、ここの方の松もだいぶ立ち枯れをしておりますが、当地は湿地帯なんで、そこもサンプルを送って検査させたのかどうかということが1点。

2点目は、そういった立ち枯れしている松材とかチップ材として堆肥にすべきじゃないかと思っておりますが、どうかということと。

それと関連して、仲原家、今、改修工事をやっておりますよね。その件でフクギの枝の切り出しもやっております。それはどういふふうな活用のされ方をしているのかと、つまりはチップパーとして堆肥に活用しているのかということです。

3点目のバーデハウスの件ですが、28ページ、この件は修繕費で312万ということで計上されております。これは前々から私も指摘したとおり、バーデハウスの場合には機械室の造りが非常にまずいということも合わせて対応策をお願いしたいわけですが、塩害が強いと、そして金属物であれば腐植が激しい、それにあわせて砂が飛んでくる。以前、視察やったときもだいぶ、塩があちこち積もっていたと機械室の中が、こういうようなこともありまして、それとの関連で、畳石界隈の階段式のコンクリート護岸の撤去と、それとこれは町の景観条例というようなことも合わせて、しかも今回、農林水産部の農村整備からきております護岸の見直しということも合わせて、そういったところのフラット化する。例えば今、申し上げましたような環境保全課

とプロジェクト推進室、そういったもののフラット化して対応はできないものかというようなことも合わせて伺います。

そういったものを今申し上げましたように、この塩害による腐植というのもだいぶ激しいものがある。そして階段式の護岸というのが、景観条例においてどう見るかということなども合わせて答弁をお願いいたします。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

24ページの土地改良関連ですが、今回、具志川土地改良区と南部土地改良の合併の予備調印が12月12日に行われております。26年4月1日合併目指して、これから諸手続を進めていく段取りになっております。

それから28ページのバーデハウスの修繕関係につきましては、ご指摘のとおり、まず海岸の近くであるということと、あとバーデハウスそのものが深層水、要は海水を扱うということで非常に腐食については通常の機械よりは非常に早いというのが現状でございます。

塩害対策についても、その機械の使う材質やあるいはご指摘のあった機械室の構造等についても随時改善できるところは改善するように取り組んでいきたいと考えております。

○ 議長 喜久里猛

佐久田等環境保全課長。

○ 環境保全課長 佐久田等

林業振興費の枯れ松の撤去についてご説明します。宇江原議員がおっしゃっていた場所のサンプルはまだ送っておりません。今後また別の所のサンプルも随時送って検査に出す

予定しておりますので、それと合わせてサンプルを採取して送っていきたいと思います。

そして枯れ松撤去したものは、重機等で出せる分につきましては、我々、県の指導がありまして、土中深く埋めるか、焼却するか、そしてその場所から撤去できない部分につきましては、その場所である程度の大きさにカットしまして、そしてビニールで覆い被せて、そこでまた薬剤を散布しまして1カ年間保存するようにしております。そういうわけでありまして、チップにして堆肥に使用するということは、今、環境保全課では考えておりません。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

仲原家のフクギの剪定、保存活用事業の一貫で裏の小さな森を剪定しておりますが、業者請負をしておりますが、その処分先までは担当に確認して、あとで説明申し上げたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

再度質問しますが、土地改良関係について、やはり合併、仲里も含めて合併した方がいんじゃないかというような感じがいたします。

そしてもう一つはカンジンダムの太陽光電気の活用はどのようなかたちでなされているか。進捗状況をまず伺います。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正建設課長。

○ 建設課長 真栄平建正

カンジンダムの太陽光発電につきましては、県の方で補助事業で実施することになっ

ております。400ワットの収入としましては約1千600万を見込んでおります。その分については電気料、揚水に用する電気料あるいは土地改良区の維持管理等に充てる収入になると思います。事業年度は今年度です。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

2点目の枯れ松撤去作業にかかるものに対しては、これは焼却か埋めて、それから薬剤を捲くというようなことのようにですが、その木をそのまま、チップ材で細かく刻んで堆肥に使えないかということなんです。これもやはり虫のマツノザイセンチュウの再生になるのかと、もしならなければ、やっぱり堆肥にチップ材として細かく刻んでから堆肥にした方がいいんじゃないかと、熱を70度以上に持たせばほとんどの虫が死ぬというようなことも聞いておりますので、その対応策は考えているのかということをお答え求めます。

○ 議長 喜久里猛

佐久田等環境保全課長。

○ 環境保全課長 佐久田等

現在、町の委託している堆肥センターにそのチップをする機械があれば、それは産業振興課長と調整して可能かと思いますが、その機械がなければチップにすることができませんので、またあるかないかというのは、産業振興課長の方から答弁をお願いしたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

次年度、破碎機の導入を予定しています。ただその導入する破碎機の能力によって、それ

が堆肥に直ぐ使えるのか使えないのかということもありますので、それを見て検討していきたいと思っています。過去にカンジンダムのチップを使って、その破砕機の粒が荒いもんだから未だかつて残っているんですよ堆肥の中に、腐食しなくて残って非常に評判が悪くて、中断した経緯もございますので、それも踏まえて、新たに導入する破砕機がどれぐらい細かくできるのかということも含めて検討していきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄副町長。

○ 副町長 大田治雄

ただいま、産業振興課長から答弁ありましたが、カンジンダムで私も担当課長をしている時分なんです、あの松をチップにして畑に還元したらシロアリが発生したという農家の報告等があつて、それは畑に還元するものには好まないということがありました。これは堆肥化できるかどうかは別として、畑に入れるのは農家としてはいやがるというのが事実です。

○ 議長 喜久里猛

宇江原総清議員の本件に関する質疑は既に3回になりましたが、会議規則第55条但し書きの規定によって特に発言を許します。

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

このチップーについてですが、皆さん方の破砕したものについては、その方法について非常にまずいやり方をしているんですよ。シロアリが発生しないような完熟した堆肥を作ればいいわけですよ。だから私は沖縄市にありますチップを使って、堆肥として販売している所も視察してくれと、前々から何年も

前から言ってきたわけですが、そういうこともしない。だから破砕機を使用した堆肥というのはシロアリ発生とかというようなものはやり方しだいなんです。そういうことをもっと研究して対応していただきたいというふうに思います。

○ 議長 喜久里猛

6番安村達明議員。

○ 6番 安村達明議員

30ページの、この前議運のときに聞いたんですが、電気自動車充電器設備工事と、それから次のページの5の道路整備事業が入っているんですが、その説明をちょっとやってもらえますか。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

それでは30ページの路線バス運営費の電気自動車充電器設備工事についてご説明をいたします。今回、沖縄県が電気バスのEVバスの実証事業で使ったバスが2台ありますが、その内の1台を町に無償で譲って貰うことになりました。今ある大型の外見がぼろぼろになっているバスを変えて、主に空港線で運用したいと考えております。電気自動車ですから当然それを譲っていただいた電気バスを充電する充電器が必要になってきますので、その設置費、工事費となっております。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

31ページ、奥武島の道路整備概略設計なんですが、これは奥武島の東側に未舗装の道路があるんですが、延長としては約530m、そして、いま舗装されている農道から西側の海

岸に抜ける道の延長、これは260mなんです
が、そこの概略設計です。農道の整備は建設
課の方で実施するんですが、この舗装の理由
が12月13日の新聞報道にありました自動車の
自動走行実験、そこのフィールドとして提供
するということで、今予定しております。

○ 議長 喜久里猛

6番安村達明議員。

○ 6番 安村達明議員

今の道路工事についてなんですが、東奥武
に続くと言ったらバーデハウスありますよ
ね。そこから本旧道から東奥武に抜ける小さ
な道路も入っているわけですね。あの道路事
態はその状態でアスファルトできるんです
か。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正建設課長。

○ 建設課長 真栄平建正

今回の概略設計で、そういった部分も含め
て可能かどうかあるいは拡幅が必要かどう
か、これも含めて概略設計の中で検討してい
くということで、今回、予算補正計上してお
ります。

○ 議長 喜久里猛

6番安村達明議員。

○ 6番 安村達明議員

久米島で走行実験をするという声が出たも
んですから、そのための整備ということにな
るわけですね。たいへん良いことだと思いま
すよ。

それから先ほどバス1台提供してもらって
やるということなんですが、このバスの性能
自体はどのようなものか、大体わかっており
ますか。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

県が1年間、実証事業を沖縄本島内でやっ
てきております。私も1回そのルートに乗せ
ていただきました。非常に静かに乗っている
お客さんの皆さんから好評でした。ただ馬力
が何馬力かと言われても、エンジンの馬力と
異なりますので即答はできません。

○ 議長 喜久里猛

安村達明議員の本件に関する質疑は既に3
回となりましたが、会議規則第55条但し書き
の規定によって特に発言を許します。

6番安村達明議員。

○ 6番 安村達明議員

僕はどういう馬力とか聞いていないんです
よ。充電したらどのぐらいの距離を走行す
るかということです。その場所2カ所と言っ
ておりましたよね。これは要するに奥武島と空
港線だったら、どこどこに設置するといふこ
とになっているんですか。その走行距離がわ
からないと、どここの場所に設置している
のかわからんもんですから。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

充電器の設置場所はバス営業所1カ所だけ
です。1カ所だけで十分、空港往復は可能で
す。距離は、いま正確には覚えていませんの
で、後ほど、その資料を提供いたします。

○ 議長 喜久里猛

他に質疑ありませんか。

10番饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

3点ほど、10ページの謝名堂誌発行にかか
る補助金の説明と、もう一つは31ページの道

路維持管理費のその件と、もう一点は、消防本部34ページの備品購入がマイナスになっていますので、これ購入しなくなった理由と何を購入しなかったかをお聞きしたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

桃原秀雄総務課長。

○ 総務課長 桃原秀雄

ただいまの饒平名議員の質問にお答えします。謝名堂誌発刊にかかる補助金100万円計上しておりますが、謝名堂は平成16年度に謝名堂誌編集委員会をしまして編集もほぼ整えまして、今年の1月ぐらい謝名堂誌の雄志の皆さんが町を訪れまして補助金の要請をしております。町としまして要請を受けまして、この総事業費の皆さんの支出計画書を提出させまして、総事業費の約20%を上限ということで、20%上限で金額にしまして100万円を上限として補助しましょうということに決まっております。

上限100万円なんですけど、それも出来上がりまして、その実績報告をしまして、その中であまり繰越が多ければ、それも勘案して補助しましょうということで今100万円を計上しております。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正建設課長。

○ 建設課長 真栄平建正

31ページの道路維持管理事業ですが、この場所につきましては、宇嘉手苧地内、儀間から高校へ曲がる手前に井戸があるんですけど、その県道から町道への取り付け道路、その部分が段差がついてしまっているものですから歩道の間、その歩道を切り下げするための費用です。

○ 議長 喜久里猛

上里浩消防長。

○ 消防長 上里浩

消防施設費18節についてお答えします。この50万3千円につきましては、防衛施設周辺民生安定事業で水槽付き消防ポンプ自動車を購入しました。当初予算が4千712万5千円で契約の時点で4千586万4千円で残がでましたので、その残については組み替えて普通旅費の方に7万7千円、そして中間検査の方、そして公課費重量税の方に9万200円、それから役務費の方に2万1千円、そして火災救急強化事業使用料、賃借料に組み替えをしております。この50万4千円というのは入札残でありまして、入札残については組み替えしております。

○ 議長 喜久里猛

10番饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

まず総務課に、各字が字誌を作るのに何件かこういう補助をしたことありますか。今回が初めてですか。

それと建設課、維持管理、あれは県道なんですけど、銭田漁港の前の最近一周道路造りましたよね。その継ぎ目のジョイントが相当水が溜まっているんですよ、それも冠水して前の係には話しているんですよ。それ全然改善されていないものですから、この場で言っているんですよ。それと消防はもうわかりました。それで総務課に。

○ 議長 喜久里猛

桃原秀雄総務課長。

○ 総務課長 桃原秀雄

今まで字誌、部落誌が約6部落、昭和54年から平成15年、宇西銘、約6部落が作っております。その中で平成15年度に宇西銘誌が発

刊されまして、盛大に祝賀会も行っていますが、平成15年の字西銘誌に100万円の補助金が出されております。それを基準としまして上限100万というかたちで今進めているところであります。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正建設課長。

○ 建設課長 真栄平建正

確か銭田橋の近くで、向こうにつきましては一部、約50mぐらい県道工事が今ストップしております。これ銭田の橋の付け替え工事におきまして、その取り付け道路、町道の取り付け道路があるということで、その調整で今その部分が残っているような状況です。この部分については、この水の滞水がないようなかたちで県の事業の中でできるようなかたちで調整していきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

10番饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

総務課わかりました。次に、建設課、ずっと事業がでるまで、そのままの状態ということでよろしいですか。水溜まった状態で、県が事業を出すまでは今の状態が続くということではないですか。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正建設課長。

○ 建設課長 真栄平建正

現場をまだはつきり確認していないものから、現場状況を確認しまして、危険性あるいはこの滞留、水がだいぶ支障あるそういった部分であること等も勘案して、町の方で単独で対策を取るか、県の方で単独で対策を取ってもらうか、そこを調整していきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

29ページの観光振興事業の中で、久米島観光協会に観光対策推進事業として150万円計上していますが、その事業内容についてお伺いします。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

補助金150万これにつきましては、今現在当初予算で1千万円の観光対策推進事業ということで計上されていますが、それに追加をするものでございます。これについては今回いろんなイベントが多かったということと、レゲエの「ワンラブ久米島」ですか、そのイベントもその事業の中で実施した関係で、他の一般活動費に使われていますので、その分がかなり窮屈になっていましたので、その分を補助、追加で補助するものであります。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

これと関連して観光推進についてお伺いします。町では観光推進をするためにいろんなイベントをもっております。特に1月の第3土日にやる「のんびりウォーク」そしてその後の「桜まつり」それから3月か4月に「シュガーライド」、8月の「町まつり」それから10月の「久米島マラソン」その他いろんなイベントがありますが、それらのイベントは観光客に喜んで貰える、そして感動を与えることによってリピーターが増えてくると思いますが、1点気になることがありまして、実は昨日の事務局からいただいた日程を見ると

1月の25、26日に桜まつりが日程が設定されております。この桜まつりの日程については当然、桜の一番の見頃、ピーク時を予想して日程を予想するものと思いますが、その日程でピークになるのかどうか非常に心配です。これまで統計的にどうだったのか、その日程をどういう基準で日程を設定したのか、お伺いします。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

まず、桜まつりの日程については、町の方で設定するのではなくて観光協会の方で事業計画を作って設定するわけなんですけど、ご指摘のとおり桜まつりという内容であれば、桜のピークに合わせるのが一番効果的だと思いますが、町で他のいろんな行事がございますので、当然いろんなボランティアが必要になってきます。ですからその行政との兼ね合いで今の日程になっておるものだと、私は理解をしております。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

そこが一番気になる場所なんです。スタッフの問題で中途半端な咲いている桜を見せてがっかりさせてはいけません。本当に一番感動を与えて、そうすることによって観光客が増えて来る。久米島町の桜まつりは、これから非常に僕は伸びていくと期待しています。多くの桜が植えられています。そしてクメノサクラ、これからクメザクラ、そういったのも増えてくると、まつりの回数もまだ浅いです。これから伸びていく可能性のある久米島の桜まつりが観光客にがっかりす

るような桜まつりになってはいけないと、これから告知すると思うんですが、この日程を、本当にその日程が見どころの桜になるのかどうか、そこも検討していただいて、やっていかなければいけないんじゃないかなと思います。町長いかがですか。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

ただいま振興課長から説明がありましたけど、ただ以前も沖縄の4大桜まつり、久米島、名護、本部、あと今帰仁ありますが、その私が思うには、その日程に重ならないようにという思いで多分やったと思うんですね、しかしながらやっぱり仲村議員がおっしゃるとおり、やはり2月に入ってから満開の時期に見て貰いたいという思いはあります。これから我々としても観光協会、向こうの意見も聞きながら指導をしていきたいと思っています。

○ 議長 喜久里猛

他に質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第60号、平成25年度久米島町一般会計補正予算（第5号）についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第60号、平成

25年度久米島町一般会計補正予算（第5号）については、原案のとおり可決されました。

○ 議長 喜久里猛

休憩します。（午前 11時35分）

○ 議長 喜久里猛

再開します。（午前 11時39分）

先ほどの回答の中で建設課長から若干訂正があるようですので、建設課長、訂正して下さい。

○ 建設課長 真栄平建正

先ほど宇江原議員からカンジダムの発電量についてのご質問があったんですが、400ワットということでお答えしましたが400キロワットの間違いでございます。訂正いたします。

日程第3 平成25年度久米島町下水道事業特別会計補正予算（第3号）について

○ 議長 喜久里猛

日程第3号、議案第61号、平成25年度久米島町下水道事業特別会計補正予算（第3号）についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

（大田治雄副町長登壇）

○ 副町長 大田治雄

議案第61号、平成25年度久米島町下水道事業会計補正予算（第3号）の概要について申し上げます。

予算書の1ページをお開き下さい。平成25年度久米島町下水道事業特別会計補正（第3号）の予算概要は歳入歳出それぞれ288万7千円を増額し、総額を4億2千805万7千円と定める。

主な概要といたしまして、予算書の4ペー

ジをお開き下さい。歳入としましては、3款1項繰入金で288万7千円を増額となっております。

予算書の7ページ、歳出としましては、下水道事業費の11節需用費で組み替えにより凝集剤と薬剤費を17万5千円減額、燃料費を17万5千円増額。修繕料で中継マンホールポンプ場の非常用発電機装置修繕、下水道宅地柵設置工事のため254万2千円を増額、13節委託料で清水浄化センター改築実施設計に伴うコンクリート劣化調査のため89万5千円を増額、2款公債費の23節、償還金利子及び割引料で、償還金利子として45万円を増額。

予算書の9ページ、3款予備費で修繕料への組み替えにより100万円の現額となっております。以上が主な概要であります。

平成25年12月17日提出

久米島町長 平良朝幸

ご審議よろしく申し上げます。

（大田治雄副町長降壇）

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第61号、平成25年度久米島町下水道事業特別会計補正予算（第3号）についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第61号、平成25年度久米島町下水道事業特別会計補正予算(第3号)については、原案のとおり可決されました。

日程第4 平成25年度久米島町水道事業会計補正予算(第2号)について

○ 議長 喜久里猛

日程第4号、議案第62号、平成25年度久米島町水道事業会計補正予算(第2号)についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

平成25年度久米島町水道事業会計補正予算(第2号)の概要をご説明申し上げます。

3枚目の1ページ目をご覧ください。第3条予算、収益的支出の1項営業収益3目その他営業収益に150万円の増、渇水対策費として2項営業外収益、2目他会計補助金492万4千円の増となっております。

2ページをご覧ください。収益的支出について渇水対応への費用を要したため予算第1項営業費目の1目源水及び浄水費の増額、4目総係費の上限額においては3月までの見込みによる組み替え予算額を計上しております。

3ページをご覧ください。4条予算、資本的支出、1項建設改良費、1目水道施設整備において施設維持管理に使用いたします。車両の老朽化に伴う新規交換費として120万円の増額の補正予算を計上しております。4条資本的収入額が資本的支出額に不足する額5千4

29万6千円は、過年度分損益勘定留保金4千915万1千円、消費税資本的収支調整額514万5千円で補填をいたします。

資料としまして、実施計画、資金計画、貸借対照表と添付してございます。よろしくご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

よろしくご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

10番 饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

断水の件なのですが、今後の見通しとしてはどうですか。

○ 議長 喜久里猛

津波実上下水道課長。

○ 上下水道課長 津波実

断水についてですが、今現在、具志川の方から送っている状況で、これで何とか賄ってはいます。ただ具志川の方も厳しくなっておりますので、その間ずっと去年並の雨が降りまして、これ以上もし悪くならなければ断水しないですむと思うんですが、もしこれ以上悪化してきた場合に断水する可能性もあるかと思えます。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第62号、平成25年度久米島町水道事業会計補正予算(第2号)についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第62号、平成25年度久米島町水道事業会計補正予算(第2号)については、原案のとおり可決されました。

日程第5 久米島町火災予防条例の一部を改正する条例について

○ 議長 喜久里猛

日程第5号、議案第63号、久米島町火災予防条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第63号、久米島町火災予防条例の一部を改正する条例。

上記議案を提出する。

平成25年12月17日提出

久米島町長 平良朝幸

久米島町火災予防条例の一部を改正する条例。久米島町火災予防条例の一部を次のように改正する。大枠の中で左側が改正前、右側が改正後となります。

なお条文の朗読については割愛したいと思いますが、下線の引かれた箇所が今回の改正部分になります。

提案理由

消防法施行令の一部を改正する政令が公布されたこと等に伴い久米島町火災予防条例の一部を改正する必要がある。

これがこの条例案を提出する理由であります。ご審議よろしくお願いたします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

3番平良義徳議員。

○ 3番 平良義徳議員

火災報知器が義務づけられていると思うんですが、これまで久米島町ではどのぐらいの火災報知器を設置したんでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

上里浩消防長。

○ 消防長上里浩

火災報知器の設置率につきましては久米島町で49%です。参考までに100%の地域が渡名喜村、与那国町、座間味村が87.5%です。沖縄県でワーストと言ったら失礼ですが、普及率が低い所が栗国村の2.0%、伊是名村の15%、竹富町の30%です。県の普及率が平均して67.5%ですので、久米島町が49%、若干平均よりも設置率が少ないです。

○ 議長 喜久里猛

3番平良義徳議員。

○ 3番 平良義徳議員

以前は火災報知器をピーアールよくやっていたんですが、最近はこういった推進がないようなんですが、これからこういった計画はあるのでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

上里浩消防長。

○ 消防長 上里浩

現在、火災予防週間、春と秋の週間に推進運動を実施しております。それから独居老人の防火診断、そのときも実際に火災報知器がないところは指導しております。独居老人等については福祉課とタイアップして実質的な補助で設置できる場所もありますので個数に限定はありますが随時設置する予定であります。

○ 議長 喜久里猛

3番平良義徳議員。

○ 3番 平良義徳議員

それから今ニュース等でもご存じのようにホテル火災とか多いですね。久米島町でも各事業所においては防火管理者をおきなさいという規則があると思いますが、そのへんまだ久米島町の各事業所の方は100%防火管理者の講習等の資格があるのでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

上里浩消防長。

○ 消防長 上里浩

防火対象物の建物の中で防火管理者の専任届け出があります。設置時にはどうしても必要ですので、設置時には防火管理者の専任がされているんですが、そのあと人事異動とか退職したとか、そういうことで一時期、防火管理者がいない実情もでておりますが、その部分については把握して随時指導して管理者をおかしております。実際に事故等がおこっておりますのは、新築時等は消防設備の点検がありますので、ほとんど事故等はありません。その後の維持管理、適宜毎日の防火管理の業務を怠っていて、設備が不十分のため火

災報知の報知ができなかったとか、そういう実情があつて事故に遭遇しているような状況です。実際、この前の福岡市の病院火災につきましても、実際機能する防火ドアはあったんですが、その周囲に植木鉢があつて植木鉢が支障になつて防火ドアが閉まらなくて、それが1階から2階へと煙が延焼して十数名の犠牲者がでるといふ実情もあります。現実的にはそういう防火管理の日常業務の中での不手際での事故が多いのが現実です。

○ 議長 喜久里猛

平良義徳議員の本件に関する質疑は既に3回となりましたが、会議規則第55条但し書きの規定によって特に発言を許します。

3番平良義徳議員。

○ 3番 平良義徳議員

あと1点だけ、確認なんですが、学校におきましては、これは責任者といいますか、学校においては学校長、教頭以外の教員が防火管理者できるのでしょうか。ちょっと気になったものですから。

○ 議長 喜久里猛

上里浩消防長。

○ 消防長 上里浩

学校につきましては、監督的管理的地位の立場の方ということで、校長もしくは教頭となっております。その間、実際人事異動等で資格者がいない場合については適切な方が教育委員会の方から補助的に資格を取る間は責任者となつてもらふ場合もあります。

○ 議長 喜久里猛

他に質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第63号、久米島町火災予防条例の一部を改正する条例についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第63号、久米島町火災予防条例の一部を改正する条例については、原案のとおり可決されました。

日程第6 久米島町税条例の一部を改正する条例について

○ 議長 喜久里猛

日程第6号、議案第65号、久米島町税条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

○ 議長 喜久里猛

休憩します。(午後 12時20分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午後 12時20分)

日程第6号、議案第65号、久米島町税条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

資料が前後なっているようですので65号をご説明申し上げます。

議案第65号、久米島町税条例の一部を改正する条例。

上記議案を提出する。

平成25年12月17日提出

久米島町長 平良朝幸

久米島町税条例の一部を改正する条例。久米島町税条例の一部を次のように改正する。この案についても、大枠の中で左側が改正前、右側が改正後となっています。下線の引かれた箇所が今回の修正部分となります。

それぞれ資料を開けまして、最後のページになりますが、提案理由であります。地方税法施行令の一部を改正する政令及び地方税方施行規則の一部を改正する省令の公布に伴い久米島町税条例の一部を改正する必要がある。

これがこの条例案を提出する理由であります。本文については割愛したいと思います。

ご審議よろしくお願います。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第65号、久米島町税条例の一部を改正する条例についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第65号、久米

島町税条例の一部を改正する条例については、原案のとおり可決されました。

日程第7 久米島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

○ 議長 喜久里猛

日程第7号、議案第64号、久米島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。
大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

久米島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例。

上記議案を提出する。

平成25年12月17日提出

久米島町長 平良朝幸

久米島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例。久米島町国民健康保険税条例の一部を次のように改正する。左側が改正前、右側が改正後となっております。条文の朗読は割愛し、下線の引かれた箇所が今回の改正内容部分であります。

最後のページをお開きください。

提案理由

地方税法施行令の一部を改正する政令及び地方税法施行規則の一部を改正する省令の交付に伴い久米島町国民健康保険税条例の一部を改正する必要がある。

これがこの条例案を提出する理由であります。ご審議よろしく申し上げます。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第64号、久米島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第64号、久米島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例については、原案のとおり可決されました。

日程第8 マンホール形式ポンプ自家発電設備工事請負契約について

○ 議長 喜久里猛

日程第8号、議案第66号、マンホール形式ポンプ自家発電設備工事請負契約についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第66号、マンホール形式ポンプ自家発電設備工事請負契約について、マンホール形式ポンプ自家発電設備工事請負契約について、下記のとおり請負契約を締結したいので地方自治法第96条第1項第5号の規定により、議会の議決を求める。

記

1. 契約の目的 マンホール形式ポンプ自家発電設置工事
2. 契約の方法 指名競争入札
3. 契約の金額 5,0872,500円
4. 契約の相手方

住所 沖縄県島尻郡久米島町字仲泊641
番地

商号 (株) ひらた産業

氏名 代表取締役 平田青太郎

平成25年12月17日提出

久米島町長 平良朝幸

提案理由

マンホール形式ポンプ自家発電設備工事の請負契約の締結については、久米島町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第2条の規定により議会の議決を得る必要がある。

これがこの条例案を提出する理由であります。

次のページには請負契約の資料を添付しております。

その次が位置図であります。

なお今回の入札については、7社を指名しそのうちのひらた産業さんが請負比率99.22%で落札しております。

ご審議よろしく申し上げます。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

1番 棚原哲也議員。

○ 1番 棚原哲也議員

このマンホール形式ポンプ自家発電設備工事なんですが、今回、計画されているのが3カ所、謝名堂2カ所、それから真泊地内ということであるんですが、これは陸上、マンホール式ということではあるんですが、上物ができるわけでしょうか。上物ができるのであればその坪数とか、建てる場所が町有地なのか、または私有地を買収するのか、確認したいと思います。それとこの3カ所以外に将来的に、また新たに随時設置予定があるのか、そこまでお願いします。

○ 議長 喜久里猛

津波実上下水道課長。

○ 上下水道課長 津波実

ただいまの件についてお答えします。このマンホールポンプの非常用設備の件に関しましては、現在、各マンホールのところにポンプがついています。これは現在、通常の電気で動いているんですが、停電時に動かなくなって結局汚水を送れなくなります。そのために停電した場合でも送れるような非常用発電設備それを設置することになります。そのものが約高さが2m20、横が1m40cmで幅が約90cmぐらい、コンパクトな形でのボックス型の形になりますので、面積的にもそんなに必要はありません。それを直ぐ設置して、その発電機と、そして制御盤一体型になった設備がありますので、その用地についても非常に小さい面積になりますので、町有地の道路の植栽柵そこに設置する予定であります。

将来的に他の所、今から作る所も一応は儀間からのものもありますが、そこの方もポンプ設置する所については、その発電設備を作ることになると思います。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。

○ 議長 喜久里猛

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第66号、マンホール形式ポンプ自家発電設備工事請負契約についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第66号、マンホール形式ポンプ自家発電設備工事請負契約については、原案のとおり可決されました。

日程第9 新たに生じた土地の確認及び字の地域の変更(編入)について

○ 議長 喜久里猛

日程第9号、議案第67号、新たに生じた土地の確認及び字の地域の変更(編入)についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第67号、新たに生じた土地の確認及び字の地域の変更(編入)について、地方自治法第9条の5第1項の規定により公有水面の埋め立てによって、次の表の左欄に掲げる土地が新たに本町の区域内に生じたことの確認及び同法第260条第1項の規定により、当該土地を同表右欄に掲げる。字の区域に編入す

るため議会の議決を求める。

位置が久米島町字嘉手苅地内841番地の1、841番地の5及び同地に接する国有海浜地の地先公有水面。面積が857.14㎡。久米島町字嘉手苅地内であります。

平成25年12月18日提出

久米島町長 平良朝幸

提案理由

公有水面埋立により、本町の区域内に新たに土地が生じたので地方自治法第9条の5第1項及び同法第260条第1項の規定に基づき議会の議決を得る必要がある。これがこの議案を提案する理由であります。

次ページに平面図が添付されております。平面位置図です。その次が実測平面図が添付されております。ご参考をお願いいたします。

ご審議よろしく願います。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第67号、新たに生じた土地の確認及び字の区域の変更(編入)についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第67号、新たに生じた土地の確認及び字の地域の変更（編入）については、原案のとおり可決されました。

日程第10 仲里中学校12号棟改修建築工事 請負契約について

○ 議長 喜久里猛

日程第10号、議案第68号、仲里中学校12号棟改修建築工事請負契約についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

（大田治雄副町長登壇）

○ 副町長 大田治雄

議案第68号、仲里中学校12号棟改修建築工事請負契約について、仲里中学校12号棟改修建築工事について。

下記のとおり請負契約を締結したいので地方自治法第96条第1項第5号の規定により議会の議決を求める。

記

1. 契約の目的 仲里中学校12号棟改修建築工事
2. 契約の方法 指名競争入札
3. 契約の金額 64,260,000円
4. 契約の相手方

住所 久米島町字宇根438の3

商号 (株)儀間建設

氏名 代表取締役 儀間清

平成25年12月18日提出

久米島町長 平良朝幸

提案理由

仲里中学校12号棟改修建築工事請負契約の締結については、久米島町議会の議決に付す

べき契約及び財産の取得または処分に関する条例第2条の規定により議会の議決を得る必要がある。これがこの議案を提出する理由であります。

次のページに工事請負契約の写しを添付しております。

なお今回の入札については業者9社を指名しそのうちの儀間建設が99.76%で落札しております。

ご審議よろしく申し上げます。

（大田治雄副町長降壇）

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

3番平良義徳議員。

○ 3番 平良義徳議員

工期が3月いっぱいですよ、それで仲里中学校は3月は閉校式とそれから開校式、新生球美中学校に変わって、開校式があろうかと思いますが、そのときやはり地域の方々がたくさん来るとお思いますので、その閉校式と開校式の日には業者の方に工事、危険ですので工事を止めるようお願いできませんか。

○ 議長 喜久里猛

保久村学教育課長。

○ 教育課長 保久村学

ただいまの仲里中学校12号棟におきましては、教室の改修工事となっております。新年度から統合しました新しい教室となります。工期につきましては3月31日を予定してまして、仲里中学校の閉校式は3月22日を予定しています。開校式につきましては4月6日を予定しています。ですので3月22日の閉校式のとときには工期の期間中ですので、その日は業者

の方と調整して、閉校式に支障のないように
工事を行いたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。

○ 議長 喜久里猛

これで審議を終わります。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第68号、仲里中学校12号棟改
修建築工事請負契約についてを採決します。

本案は、原案のとおり採決することに賛成
の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第68号、仲里
中学校12号棟改修建築工事請負契約について
は、原案のとおり可決されました。

日程第11 道州制導入に断固反対する意見
書について

○ 議長 喜久里猛

日程第11、発議第11号、道州制導入に断固
反対する意見書についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

3番平良義徳議員。

(平良義徳議員登壇)

○ 3番 平良義徳議員

発議第11号

平成25年12月18日

久米島町議会議長 喜久里猛殿

提出者 久米島町議会議員 平良義徳

賛成者 久米島町議会議員 翁長 学

道州制導入に断固反対する意見書

上記議案を別紙のとおり、会議規則第14条
の規定により提出します。

提案理由

我々町村議会は、平成20年以来、全国大会
においてその総意により「住民自治の推進に
逆行する道州制は行わないこと。」を決定し、
本年4月には「町村や国民に対して丁寧な説
明や真摯な議論もないまま、道州制の導入が
決定したかのごとき法案が提出されようとし
ていることは誠に遺憾である。」とする緊急
声明を行った。さらに、7月18日には、「道
州制は絶対に導入しないこと。」とする要望
を決定し、政府・国会に対し、要請してきた
ところである。

しかしながら、国会においては道州制導入
を見直す法案等の提出の動きが依然としてみ
られ、我々の要請を無視するかの動きを見せ
ている。

これらの法案は、期限を区切った導入あり
きの内容となっており、再編された「基礎自
治体」は、現在の市町村や都道府県に比べ、
住民と行政との距離が格段に遠くなり、住民
自治が衰退してしまうことは明らかである。

よって、道州制の導入に断固反対し本案を
提出する。

あて先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣

内閣法第九条の第一順位指定大臣、

内閣官房長官、総務大臣・内閣府特命担当
大臣（地方分権改革）・道州制担当大臣

道州制導入に断固反対する意見書

我々町村議会は、平成20年以来、町村議会
議長全国大会において、その総意により、「住
民自治の推進に逆行する道州制は行わないこ
と。」を決定し、本年4月15日には、全国町

村議会議長会が「町村や国民に対して丁寧な説明や真摯な議論もないまま、道州制の導入が決定したかのごとき法案が提出されようとしていることは誠に遺憾である。」とする緊急声明を行った。さらに、7月18日には、「道州制は絶対に導入しないこと。」とする要望を決定し、政府・国会に対し、要請してきたところである。

しかしながら、与党においては、道州制導入を目指す法案の国会への提出の動きが依然としてみられ、また、野党の一部においては、既に「道州制への移行のため改革基本法案」を第183回国会へ提出し、衆議院内閣委員会において閉会中審査となっているなど、我々の要請を無視するかの動きを見せている。

これらの法案は、道州制導入後の国の具体的なかたちを示さないまま、期限を区切った導入ありきの内容となっており、事務権限の受け皿という名目のもと、ほとんどの町村においては、事実上の合併を余儀なくされるおそれが高いうえ、道州はもとより再編された「基礎自治体」は、現在の市町村や都道府県に比べ、住民と行政の距離が格段に遠くなり、住民自治が衰退してしまうことは明らかである。

町村は、これまで国民の生活を支えるため、食料供給、水源涵養、国土保全に努め、伝統・文化を守り、自然を活かした地場産業を創出し、住民とともに個性あるまちづくりを進めてきた。それにもかかわらず、効率性や経済性を優先し、地域の伝統や文化、郷土意識を無視してつくり上げる大規模な団体は、住民を置き去りにするものであり、到底地方自治体と呼べるものではない。多様な自治体の存在を認め、個々の自治体の活力を高めるこ

とが、ひいては、全体としての国力の増強につながるものであると確信している。

よって、本町議会は、道州制の導入に断固反対する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成25年12月18日

沖縄県久米島町議会

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣

内閣法第九条の第一順位指定大臣

内閣官房長官、総務大臣

(平良義徳議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

本案については質疑を省略したいと思いますが、ご意義ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから発議第11号、道州制導入に断固反対する意見書についてを採決いたします。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方举手願います。

(举手全員)

○ 議長 喜久里猛

全員举手です。従って、発議第11号、道州制導入に断固反対する意見書については可決されました。

日程第12 「しまくとぅば」の普及促進に関する宣言決議について

○ 議長 喜久里猛

日程第12号、発議第2号、「しまくとうば」の普及促進に関する宣言決議についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

4番翁長学議員。

(翁長学議員登壇)

○ 4番 翁長学議員

決議第2号

平成25年12月18日

久米島町議会議長 喜久里猛殿

提出者 久米島町議会議員 翁長 学

賛成者 久米島町議会議員 山里昌輝

「しまくとうば」の普及促進に関する宣言決議

上記議案を別紙のとおり、会議規則第14条の規定により提出します。

提出理由

私たちの暮らす沖縄は、日本本土とは異なる言語圏を形成しており、「しまくとうば」は県内各地の暮らしの中で語り継がれ愛着をもって使われてきたことばで、地域の固有の文化遺産である。しかしながら過去の標準語励行教育を通じ使用が制限された歴史がある。最近では話すことはもとより、聞くこともできない世代が増加しているため、沖縄の貴重な言語文化の喪失につながりかねないことが危惧されている。

私たちは、脈々と伝えられてきた伝統文化「灯」を消さぬよう「しまくとうば」の価値を再確認し自信と誇りをもちながら次世代へと継承していく責務があると考えます。そして普及促進を図り、「しまくとうば」に対する関心と理解を深め、生活の中で「しまくとうば」に親しめるようあらゆる努力をすることを宣言し、本案を提出する。

平成25年12月18日

沖縄県久米島町議会

「しまくとうば」の普及促進に関する宣言決議

私たちの暮らす沖縄は、日本本土とは異なる言語圏を形成しており、ユネスコの世界文化遺産に指定された琉球組踊や琉球舞踊、芝居、島唄、エイサーなどの内外に誇れる独自の郷土文化を開花させてきた。これらの彩り豊かな郷土文化を支え土台となっているのが「しまくとうば」である。

「しまくとうば」は、過去の標準語励行教育を通じ使用が制限された歴史があり、最近では話すことはもとより、聞くこともできない世代が増加しているため、沖縄の貴重な言語文化の喪失につながりかねないことが危惧されている。

このような中、平成18年沖縄県議会は「しまくとうば」を次世代へ継承していくため、「しまくとうばの日に関する条例」を制定、これに基づいて沖縄県は9月18日を「しまくとうばの日」と定めた。

私たちは、本条例の趣旨に基づき、脈々と伝えられてきた伝統文化の「灯」を消さぬよう「しまくとうば」の普及促進を図り町民一人一人が「しまくとうば」に対する関心と理解を深め、生活の中で「しまくとうば」に親しめられるようあらゆる努力をすることをここに宣言する。

以上、決議する。

平成25年12月18日

沖縄県久米島町議会

(翁長学議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

本案については質疑を省略したいと思いますが、ご意義ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから決議第2号、「しまくとぅば」の普及促進に関する宣言決議についてを採決いたします。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方挙手願います。

(挙手全員)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、決議第2号、「しまくとぅば」の普及促進に関する宣言決議については可決されました。

日程第13 閉会中の議員の派遣について

○ 議長 喜久里猛

日程第13号、閉会中の議員の派遣についてをお諮りいたします。

本件については沖縄県離島振興市町村議会議長会の議員研修会及び沖縄県町村議会議長会主催の議員研修会に閉会中の議員派遣をしたいと思います。

これに対してご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○ 議長 喜久里猛

異議なしと求めます。

従って、閉会中の議員派遣については、決定されました。

○ 議長 喜久里猛

以上で本日の議事日程は全て終了しまし

た。

12月17日から開会しました本定例会は予定されておりました全議案が議員各位並びに執行部のご協力により、無事終了することができました。ここに感謝申し上げます。

これをもちまして、平成25年第8回久米島町議会定例会を閉会します。

お疲れ様でした。

(午後0時20分 閉会)

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

久米島町議会議長 喜久里 猛

署名議員（議席番号8番） 島袋 完 英

署名議員（議席番号9番） 崎 村 正 明